



公立大学法人 **和歌山県立医科大学**

教育研究開発センター 事業実績報告書

令和3年度



目 次

組織図	
刊行にあたって	

1. 教育研究開発センター

規程・要項

(1) センター規程	
(2) 運営委員会委員	
(3) 部会委員	
(4) 教育研究開発センター業務方針	

2. 遠隔講義の取組み

遠隔講義サポーター導入の報告	
----------------	-------

3. 令和3年度事業実績

1. 医学部

開催した部会一覧	
開催したFD一覧	
ベストティーチャー賞・ベストクリニカルティーチング賞	
学生カルテ	
臨床実習共通評価表	
和歌山SPの会	
学生自主カリキュラム	
教育研究開発センター担当講義	
山梨大学120周年祭スライド	

2. 保健看護学部

開催した委員会一覧	
開催したFD一覧	
学生自主カリキュラム	

3. 薬学部

開催した委員会一覧	
-----------	-------

開催したFD一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

4. 感染症医療人材養成事業

事業概要、本校の取組み及び購入したシミュレーター一覧・・・・・・・・

5. ウィズコロナ時代および新たな医療に対応できる医療人材育成事業

事業概要、本校の取組み・・・・・・・・・・・・・・・・

4. 臨床技能研修センター

(1) 運営規程・・・・・・・・・・・・・・・・

(2) 利用方法・・・・・・・・・・・・・・・・

(3) 備品一覧・・・・・・・・・・・・・・・・

(4) 利用実績・・・・・・・・・・・・・・・・

5. ホームページの案内

◆ 教育研究開発センターホームページ・・・・・・・・

◆ 臨床技能研修センターホームページ・・・・・・・・

自己評価委員会

運営委員会

教育研究開発センター

2020年4月

センター長(学長が指名する本学の教授)

副センター長(センター長が指名する医学部及び保健看護学部の専任教員)

教育研究開発部門

教養教育部門

部門長
(センター長兼務)

副部門長
(部門長が指名する
本学の専任教員)

1. 教務 2. カリキュラム 3. 分析・評価

教育研究開発部門部会

カリキュラム専門部会: カリキュラムの実施体制
カリキュラム編成・改善、開発
カリキュラム全般、その他

臨床技能教育部会: 臨床技能教育の方針及び研究
臨床技能教育全般、その他

教育評価部会: 大学教育の評価方法の研究
学生の評価方法の研究
教員の授業評価、その他

FD部会: 授業内容・方法の改善及び開発
セミナー、講習会及び教員研修の企画・実施
授業改善全般、その他

部門長
(センター長が指名する
本学の教養担当専任教授)

副部門長
(部門長が指名する
本学の専任教員)

1. 医学部および保健看護学部の教養教育に係る企画、立案及び実施
2. 医学部および保健看護学部の教養カリキュラムに実施体制及び講義・講師の調整
3. その他部門の目的を達成するための事項

教養教育検討委員会

部門長(委員長)、副部門長(副委員長)、
部門を組織する教授

医学部長、保健看護学部長、教育研究開発センター長
その他部門長が必要と認めたもの

令和3年度実績報告書の刊行にあたって

教育研究開発センター長 村田 顕也

2019年12月に中国湖北省武漢市での原因不明の肺炎の集団発生から始まり、世界的な大流行に至った新型コロナウイルス感染症は、令和3年度も本学の教育に多大な影響を及ぼしました。2021年4月5日には、大阪・兵庫・宮城の3府県に緊急事態宣言に準じる措置である「まん延防止等重点措置」が始めて適応されました。新型コロナウイルス感染症の第4波の影響をうけ4月中旬には学内でも感染者数が増加し、授業形態も対面授業に遠隔授業を併用せざるを得ませんでした。また、附属病院での医学部・保健看護学部の学生実習も実施が困難となりました。6月下旬にようやく全学年対面での講義・実習が再開となりましたが、7月初旬からは第5波、2022年早々からは第6波が次々と押し寄せてきました。

新型コロナウイルス感染症対策会議での決定をもとに「実習と試験はできるだけ対面で」の原則で3学部とも授業形態を対面・遠隔と細かく切り替えながら対応いたしました。非常に変則的なスケジュールの講義形態のなか、教員の先生方のご尽力により何とか1年を終えたのが実状です。ただ、登校機会の減少にともない、学生同士の交流が疎遠になり、人間関係構築や学生間の学力格差が顕著になりました。医学部学外実習については、外部病院や福祉施設を訪問する1年生の夏の早期体験実習と冬の地域福祉実習、障害者施設や保育園を訪れる2年生の地域実習は感染のリスクを考慮して中止し、補講で対応しました。6年生の選択制臨床実習も学外実習の期間を限定して実施いたしました。

本学は、文部科学省の令和2年度補正予算による「感染症医療人材育成事業」に採択されました。総額1億円を超える事業でしたので、令和3年度は3学部共同で利用できるシミュレータの新規購入やスキルスラボのAVシステムの拡張を行いました。医学部では、6年生対象の臨床実習後OSCEと4年生対象の臨床実習前OSCEの時期が丁度コロナ第5波、6波に一致しましたが、本事業で整備した備品を利用し対応することができました。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、学生による患者の直接診察や患者・家族との医療面接の機会は大幅に減少しました。「患者接触」というリアルさの欠如は、学生の自発的な興味に基づく細やかな観察力や臨床での実践的能力の育成の妨げとなります。幸いなことに、文部科学省の令和3年度補正予算「ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業」の事業計画が医学部・薬学部とも採択されました。VRや遠隔システムを利用した「和歌山県立医科大学の特色ある医療人育成教育」を開発して参ります。3学部を有する医療系大学としての教育の改革が進むように事業を展開していきたいと思っております。

コロナ感染の影響はまだまだ継続すると推測されます。今後とも皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

和歌山県立医科大学教育研究開発センター規程

制 定 平成18年4月1日和医大規程第14号
最終改正 令和3年3月29日和医大規程第103号

(趣旨)

第1条 この規程は、和歌山県立医科大学組織運営規則（平成18年4月1日和医大規則第4号）第22条の規定に基づき、和歌山県立医科大学教育研究開発センター（以下「センター」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 センターは、和歌山県立医科大学（以下「本学」という。）における医学・保健看護学・薬学教育の研究、開発、企画及び評価方法の研究並びに入試制度の研究を行うことにより、本学の医学・保健看護学・薬学教育活動の円滑な推進と不断の改善に寄与することを目的とする。

(組織)

第3条 センターには、センター長及び副センター長を置く。

2 センター長は、学長が本学の教授のうちから指名する。

3 副センター長は、センター長が指名する医学部、保健看護学部及び薬学部の専任教員をもって充て、その任期は3年とする。ただし、再任を妨げない。

4 副センター長は、センター長の業務を補佐し、センター長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 センターには、教育研究開発部門と教養教育部門を置き、各部門に部門長及び副部門長を置く。

6 教育研究開発部門長は、センター長が兼務し、教養教育部門長は、センター長が指名する本学の教養担当専任教授をもって充て、その任期は3年とする。ただし、再任を妨げない。

7 各部門の副部門長は、当該部門長が指名する本学の専任教員をもって充て、その任期は3年とする。ただし、再任を妨げない。

8 各副部門長は、当該部門長の業務を補佐し、部門長に事故があるときは、その職務を代理する。

(業務)

第4条 センターにおいては、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 医学・保健看護学・薬学教育システム全般に関わる研究、開発及び企画
- (2) 医学・保健看護学・薬学教育の内容・方法及び授業改善（FD）に関わる研究、開発及び企画
- (3) 医学・保健看護学・薬学教育のカリキュラムに関わる研究、開発及び企画
- (4) 医学・保健看護学・薬学教育の臨床技能教育に関わる研究、開発及び企画
- (5) 医学・保健看護学・薬学教育の評価方法の研究

- (6) 入試制度の研究
- (7) その他センターの目的を達成するため、必要な事項
(教育研究開発部門)

第5条 教育研究開発部門に次の各号に掲げる部会を置く。

- (1) カリキュラム専門部会
- (2) 臨床技能教育部会
- (3) 教育評価部会
- (4) F D部会

2 部会に関し必要な事項は、別に定める。

(教養教育部門)

第6条 教養教育部門の組織及び運営について必要な事項は、別に定める。

(自己評価等)

第7条 センターは、和歌山県立医科大学学則（平成 18 年和歌山県立医科大学規則第 1 号）第2条の定めるところにより、センターに係る点検及び評価（以下「自己評価」という。）を行い、その結果を公表する。

2 前項の自己評価については、本学の職員以外を含めた者による検証を受けるよう努めるものとする。

3 第1項の自己評価を行うため、和歌山県立医科大学教育研究開発センター自己評価委員会（以下「自己評価委員会」という。）を置く。

4 自己評価委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(教育研究等の状況の公表)

第8条 センターは、センターの教育研究及び組織運営の状況について、定期的に公表する。

(運営委員会)

第9条 センターに、和歌山県立医科大学教育研究開発センター運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置き、センターの教育又は研究に関する重要事項を審議させる。

2 運営委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(庶務等)

第10条 センターの庶務は、事務局学生課において処理する。

(雑則)

第11条 この規程に定めるもののほか、センターに関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

1 この規程は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

2 第3条の規定にかかわらず、令和2年4月1日からの任期については、令和3年3月31日までの1年間とする。

附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

和歌山県立医科大学教育研究開発センター部会長等会議運営要項

制 定 平成18年7月1日 和医大教研開セ要項第1号
最終改正 令和 2年4月1日

(趣旨)

第1条 この要項は、和歌山県立医科大学教育研究開発センター運営委員会規程第7条第2項の規定に基づき、部会長等会議の組織、運営等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(部会長等会議)

第2条 部会長等会議は、次の各号に掲げる者で組織する。

(1) センター長

(2) 各部会長

(3) その他センター長が必要と認めた運営委員会委員

2 センター長は、部会長等会議を招集し、その議長となる。

3 部会長等会議は、運営委員会の要請に基づき、各部会相互に連携または調整が必要とされる事項及び特定の審議事項を審議する。

(要項の改廃等)

第3条 この要項に疑義が生じた場合の解釈及び改廃は、センター運営委員会において行う。

(庶務等)

第4条 この要項に関する庶務は、事務局学生課において処理する。

附 則

この要項は、平成18年7月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和2年4月1日から施行する。

教育研究開発センター運営委員会委員

(令和3年度)

委員長	村田 顕也	教育研究開発センター長
	三上 幸夫	教育研究開発センター 副センター長
	岩村 龍子	教育研究開発センター 副センター長
	伊東 秀文	医学部長
	森岡 郁晴	保健看護学部長
	太田 茂	薬学部長
	中田 正範	学生部長
	平井 秀一	入試センター長
	島 秀之	事務局 事務局長
	高橋 麻衣子	教育研究開発センター 助教

センター部会委員

(令和3年度)

◆ カリキュラム専門部会

部会長	村田 顕也	教育研究開発センター長	
副部会長	森岡 郁晴	保健看護学部長	
	安原 智久	薬学部 教授	
医学部委員	廣田 麻子	教養・医学教育大講座	教授
	平井 秀一	教養・医学教育大講座	教授
	森川 吉博	解剖学第2講座	教授
	改正 恒康	生体調節機構研究部	教授
	山田 源	遺伝子制御学研究部	教授
	北野 雅之	内科学第2講座	教授
	伊東 秀文	神経内科学講座	教授
	神人 正寿	皮膚科学講座	教授
	中尾 直之	脳神経外科学講座	教授
	井篁 一彦	産科・婦人科学講座	教授
	廣西 昌也	紀北分院総合内科学	教授
	上野 雅巳	地域医療支援センター長	教授
	森 めぐみ	教育研究開発センター	助教
保健看護学部委員	森岡 郁晴	保健看護学部長	
	井上 みゆき	保健看護学部	教授
	岩村 龍子	保健看護学部	教授
	岡本 恭子	保健看護学部	学長特命教授
	辻 あさみ	保健看護学部	教授

	服部 園美	保健看護学部	教授
	前馬 理恵	保健看護学部	教授
	増田 匡裕	保健看護学部	教授
	水越 正人	保健看護学部	教授
	水田 真由美	保健看護学部	教授
	宮井 信行	保健看護学部	教授
	山口 雅子	保健看護学部	教授
	山本 明弘	保健看護学部	教授
	池田 敬子	保健看護学部	准教授
	山東 資子	保健看護学部	准教授
薬学部委員	太田 茂	薬学部長	
◆ 臨床技能教育部会			
部会長	加藤 正哉	救急・集中治療医学講座	教授
副部会長	森岡 郁晴	保健看護学部長	
	須野 学	薬学部 教授	
医学部委員			
OSCE 部会	村田 顕也	教育研究開発センター長	
	園村 哲郎	放射線医学講座	教授
	井口 幹崇	内科学第 2 講座	准教授
	中西 正典	内科学第 3 講座	准教授
	柑本 康夫	泌尿器科学講座	准教授
	西林 宏起	脳神経外科学講座	准教授
	田中 才一	眼科学講座	准教授
	水本 一弘	医療安全推進部	准教授
	森 めぐみ	教育研究開発センター	助教
CBT 部会	中田 正範	学生部長	
	村田 顕也	教育研究開発センター長	
	藤吉 朗	衛生学講座	教授
	西尾 真智子	微生物学講座	教授
	山田 源	遺伝子制御学研究部	教授
	中西 正典	内科学第 3 講座	准教授
	山野 貴司	内科学第 4 講座	講師
	川井 学	外科学第 2 講座	准教授
	西 理宏	病態栄養治療部	准教授
	南 佐和子	総合周産期母子医療センター	准教授
	山本 景一	情報基盤センター	准教授

	森 めぐみ	教育研究開発センター	助教
保健看護学部委員	森岡 郁晴	保健看護学部長	
	岩村 龍子	保健看護学部	教授
	岡本 恭子	保健看護学部	学長特命教授
	辻 あさみ	保健看護学部	教授
	水田 真由美	保健看護学部	教授
薬学部委員	太田 茂	薬学部長	

◆ FD 部会

部会長	森岡 郁晴	保健看護学部長	
副部会長	村田 顕也	教育研究開発センター長	
	須野 学	薬学部 教授	
医学部委員	山田 源	学生部長	
	廣田 麻子	教養・医学教育大講座	教授
	井原 義人	生化学講座	教授
	藤井 隆夫	リウマチ・膠原病科学講座	教授
	森 めぐみ	教育研究開発センター	助教
保健看護学部委員	森岡 郁晴	保健看護学部長	
	井上 みゆき	保健看護学部	教授
	岡本 恭子	保健看護学部	学長特命教授
	山口 雅子	保健看護学部	教授
	山本 明弘	保健看護学部	教授
薬学部委員	太田 茂	薬学部長	

◆ 教育評価部会

部会長	村田 顕也	教育研究開発センター長	
副部会長	森岡 郁晴	保健看護学部長	
	安原 智久	薬学部 教授	
医学部委員	平井 秀一	教養・医学教育大講座	教授
	茂里 康	教養・医学教育大講座	教授
	井原 義人	生化学講座	教授
	改正 恒康	生体調節機構研究部	教授
	山本 信之	内科学第3講座	教授
	伊東 秀文	神経内科学講座	教授
	中尾 直之	脳神経外科学講座	教授
	山田 宏	整形外科科学講座	教授

原 勲	泌尿器科学講座	教授
保富 宗城	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	教授
森 めぐみ	教育研究開発センター	助教
高見 茂	京都光華女子大学	学長
首藤 太一	大阪市立大学総合医学教育学	教授

保健看護学部委員

柳川 敏彦	保健看護学部長	
岩村 龍子	保健看護学部	教授
辻 あさみ	保健看護学部	教授
橋爪 洋	保健看護学部	教授
池田 敬子	保健看護学部	准教授
上野 美由紀	保健看護学部	講師
谷野 多見子	保健看護学部	講師
太田 茂	薬学部長	

薬学部委員

◆ 教育研究開発センター自己評価委員会
委員長

伊東 秀文	医学部長	
森岡 郁晴	保健看護学部長	
太田 茂	薬学部長	
平井 秀一	入試センター長	
中尾 直之	病院長	
中田 正範	学生部長	
森 めぐみ	教育研究開発センター	助教
首藤 太一	大阪市立大学総合医学教育学	教授

大江 嘉幸

前和歌山市教育委

高大接続

- 1) 県内外高校訪問
教員＋学生課学務班＋卒後臨床研修センター＋在校生
- 2) ときめきサイエンスによる研究室見学と和歌山医大紹介
- 3) 予備校講演会と予備校との連携（河合、駿台）

入学試験

- 1) 本年度試験の解析（4月中に入試制度検討部会あり）
- 2) 本年度試験の総括（昨年度との相違）
 - 1次合格者と2次合格者の関連
 - 1次試験、2次試験の最終合格の寄与度
- 3) 入試制度検討（入試制度検討部会）
 - 推薦入試のあり方
 - 入試枠のあり方
 - 入学試験問題作成のあり方
 - 他大学の入試の検討

（基盤）

遠隔講義サポート

- 1) 3学部の Teams 枠作りなど運営基盤構築
- 2) 1年生への試験配信
- 3) 授業録画講義の保存方法（Stream からの変更）
- 4) Moodle 連携

カリキュラム編成

現講義とコアカリキュラムの過不足の検討

- 1) コアカリキュラムに基づく全授業コマ数の検討
- 2) コマ数に基づくカリキュラム改編
横断的講義・縦断的講義（学年・科目を超えて）
プロフェッショナリズム教育を高学年にも
倫理教育（1年 倫理 5－6年臨床倫理）

講義システム（Post コロナ）

ICTを踏まえた講義形態の検討

- 1) Moodle の活用方法
- 2) コンピューター資料配付

学生成績管理システム構築

- 1) 教務学務システムとの連携
- 2) 学生カルテの作成
- 3) 共通評価表の電子化

教養部門

- 1) 3 学部合同講義（ケアマインド）
- 2) Early Exposure の共同化
- 3) 情報処理講義支援

（実務）

成績不良者対策

各学年留年者の特性解析（入試から見直す）

- 1) 問題学生の早期発見 出席システムの導入
- 2) 留年生フォローシステム（担任制の教科）
- 3) 各学年下位 20 人対応方法（各科目でのリメディアル教育）

国家試験対策

講義実習関連

- 1) CBT 問題新作問題検討（3 月）
- 2) Post CC OSCE の独自課題作成（5－6 月）
- 3) Post CC OSCE 運営（7 月）
- 4) 6 大学試験問題作成（4－9 月）
- 5) 医学概論 I と Early Exposure の連携（4－7 月）
- 6) Pre CC OSCE（本試験・再試験）
学生・教員説明会
- 7) 高齢者福祉施設研修（2 月－3 月）
- 8) 基礎配属 e ラーニング、報告会

感染症人材育成事業

- 1) シミュレーター整備
- 2) スキルラボ活用方法検討
- 3) OSCE 室カメラ設置

和歌山 SP の会

- 1) 組織運営（メンバーコントロール）
- 2) SP 標準化問題
- 3) OSCE 反省会と意見交換会
- 4) 勉強会

遠隔講義の取り組み

遠隔講義サポーター制度導入の報告

教育研究開発センター
特別研究員 平野隆則

本学では令和2年5月から Microsoft Teams（以下、Teams）を使った遠隔講義を始めた。導入にあたり、同サービスの運用支援を専門に行う ICT システムコンサルティング企業と契約し、チームや運用設計、マニュアル制作などの支援を受けた。これに加え、紀三井寺キャンパスでは基礎教育棟3階のゼミ室（4室）を遠隔講義スタジオ（図1、以下、スタジオ）と位置付け、専用のノートパソコン（図4）を設置した。スタジオの設置や運用に関して当センターで技術支援を行った。同様に三葛キャンパスと伏虎キャンパスでは、講義室に機材を設置し、配信を行っている。

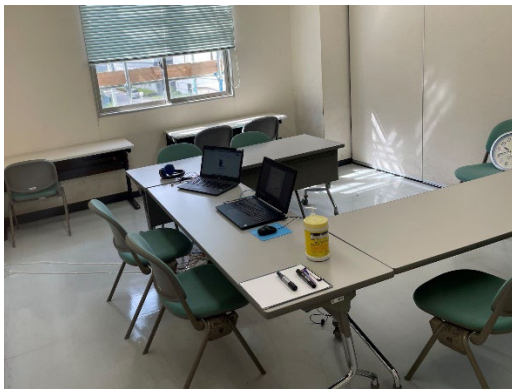


図1（左） 紀三井寺キャンパスの遠隔講義スタジオ（医学部3年用）



図2（右） 三葛キャンパスのサポーター控室

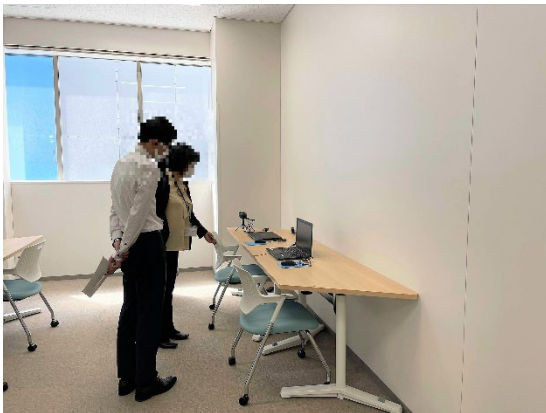


図3（左） 伏虎キャンパスの遠隔講義スタジオ



図4（右） 紀三井寺キャンパスの遠隔講義スタジオの受信PC（左）と配信PC

これに合わせ、当センターの提案で人的支援として遠隔講義サポーター（以下、サポーター）制度を導入した。同制度では、本学学生課と委託契約を結んだビジネスパートナー企業が支援人員 1 名を遠隔講義スタジオに配置（図 5、図 6）する。令和 2 年度 5 月時点では、政府が県域を越える移動を控える呼び掛けを行った影響もあり、和歌山県内の事業者 Teams の支援を求めたが、要件を満たす事業者を見つけることはできなかった。そこで、「Zoom などの遠隔会議サービスの利用経験者」と要件を緩和し、再度、県内事業者を募り、地元企業と契約した。



図 5（左） 令和 2 年度の遠隔講義開始直後の紀三井寺キャンパス廊下のサポーター席

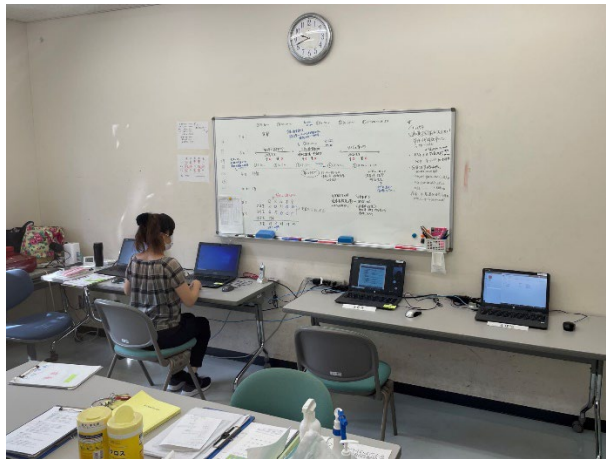


図 6（右） 遠隔講義スタジオに隣接するサポーター控室

契約事業者から派遣された人員は Teams 未経験者が多かった。このため、当センターがサポーターの教育係を担い、本学の遠隔講義の実施方法を覚えてもらった。令和 2 年から Teams の利用者は世界規模で急増し、それに伴う仕様変更やクライアントソフトウェアのバージョンアップが頻繁に行われた。これらの日々代わる環境の変化や機材の不具合などを当センターが対処し、スタジオに訪れた教員（図 7）にはサポーターがついて支援することで、遠隔授業を継続することができた。



図 7 スタジオから 3 学部の学生に配信する教員

サポーター勤務時間

8時30分～17時30分（各学部講義時間に準じる）

講義開始時間の20分前からスタジオを解錠する。

合計勤務時間（抜粋）を表1に示す。

表1 遠隔講義サポーター勤務時間表（抜粋）

	合計時間	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
2021年1月	93		21	35	37	
2021年3月	91	37	33	21		
2021年4月	154	14	30	40	40.5	29.5
2021年10月	152	8	38.5	40	30	35.5
2022年1月	78		36	35	7	
2022年3月	123	32	35	28	28	

サポーター勤務実績の一例（医学部の勤務報告より抜粋）

2021年1月29日 スタジオ配信5件、事前準備訪問3件、
問い合わせ5件（訪問1、電話4）

2021年4月時点の勤務実績の一例

2021年4月28日 スタジオ配信9件、自室配信7件、オンデマンド1件

2021年10月28日 スタジオ配信3件、自室配信2件、
問い合わせ2件（訪問1、電話1）

サポーターの主な業務は以下の通り。

- スタジオの解錠・施錠、予約管理
- 遠隔講義開始時の教員の操作支援
- 教員の事前操作確認、事前収録の補助
- 教員からの問い合わせ対応
- 学外からの接続する教員の接続の支援
- 自宅から接続する学生への技術支援
- 配信映像のモニタリング、音声チェック
- 会議スケジュール、資料アップロードの事前確認
- 会議スケジュールの代行
- 講義資料のアップロードの代行

- 録画データの編集
- トラブル発生時の初期対応、情報収集、検証
- 機材セッティング、各種調整、メンテナンス
- 各種マニュアル作成

サポーター制度の利点

学外事業者による契約のため、欠員発生時に人員補充がある。3 学部が同一事業者を採択したため、課題共有などが円滑に行える。教員にとって対面で相談でき、すぐ回答が得られる窓口を設置することで当日の講義対応が円滑になった。専属スタッフ配置により、スタジオの予約が容易となる。特に担当する講義が年に 1～2 回のみの臨床科教員からはサポーターの支援を得ることで、短時間で遠隔講義が実施できることもあり、教員からの評価が高い。教育研究開発センターおよび事務担当者の負荷軽減につながる。

サポーター制度の課題

学外事業者との契約に基づき勤務するため、契約時間外の対応ができない。人員は 5 人～8 人ほどが交代で担当するため、同じ事を何度か伝える必要があり、教育コストが比較的高い。時期により、担当人員が入れ替わるため、スキルが定着しない。また、入札により事業者を決定するため、事業者が交代する際には再度の研修が必要になるだろう。

サポーター制度の継続

同制度は、多くの教員にその必要性が認められ、今年度も継続された。特に医学部の臨床科教員は、講義の直前まで病院での勤務をすることもあり、事前準備が十分にできないことから、サポーターが準備の一部を補うことができた。また、学外の教員の講義では、本学の遠隔講義の手順説明や当日の操作支援など、対面・遠隔の両方での支援が必要となった。スタジオにサポーターを配置することで、これらの教員が円滑に授業を始めることを可能にした。保健看護学部も同様に継続した。

本年度のサポーター制度を振り返って

制度の導入当初は、遠隔講義導入時のみの特別対応と位置付け開始したが、現場の教員からは継続を望む声が強くあり、令和 2 年度は 3 月まで延長した。本年度も 1 年を通して契約を結んだ。教員にとって遠隔講義という環境にあっても、学生の教育に専念できる環境構築に寄与できた。振り返れば、障害対応や Teams の仕様変更など、毎週のように想定外の業務が発生したが、システムコンサルティング企業とサポーター事業者の協力で講義を継続することができた。次年度は変化する感染症の状況に応じた業務内容の見直し、スキルの習得などに取り組む必要がある。引き続き、同制度は必要になるだろう。

令和3年度事業実績

医 学 部

開催した部会一覧

教育評価部会

第1回

開催日時：令和3年11月8日（月）

議 事：・卒業試験の合否判定について

- ・令和3年度 CBT の合否判定基準について
- ・令和4年度医学部履修要領について
- ・ベストティーチャー賞及びベストクリニカルティーチング賞の推薦について
- ・令和2年度の授業評価結果について

第2回

開催日時：令和3年12月6日（月）

議 事：・卒業試験（再試験）の合否判定について

- ・令和4年度医学部履修要領について

第3回

開催日時：令和4年2月1日（火）

議 事：令和4年度医学部履修要領の一部変更について（メール審議）

カリキュラム専門部会

第1回

開催日時：令和3年11月5日（金）

議 事：・令和4年度カリキュラムについて

- ・新規授業 WG について
- ・留年生が受けられない授業への対応

自己評価委員会

開催日時：令和4年3月25日（金）

議 事：・令和2年度事業実績報告書について

医学教育分野別評価部会

開催日時：令和 3 年 6 月 29 日（火）

議 事：・年次報告書（案）について（メール審議）

F D 部会

開催日時：令和 3 年 6 月 21 日（月）

議 事：・F D の本年度計画について

- ・共用試験（OSCE・CBT）について
- ・医学教育モデル・コア・カリキュラムに基づく
本学カリキュラムの分析について
- ・今年度卒業試験の概要について
- ・遠隔講義での授業方法の工夫
- ・医学教育モデル・コア・カリキュラムから
医師国家試験出題基準までの全体の流れについて

開催したFD一覧

開催日時：令和4年2月28日(月)

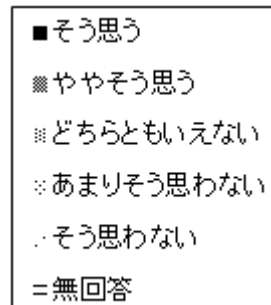
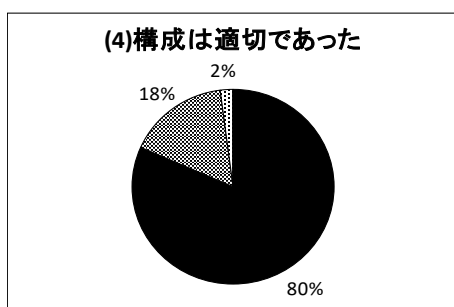
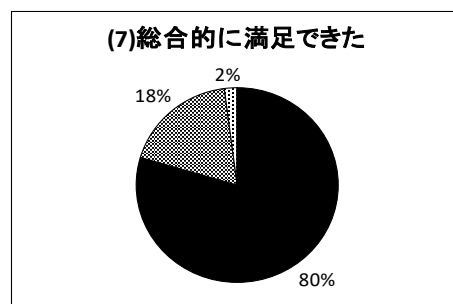
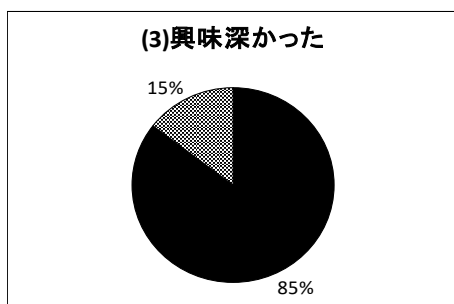
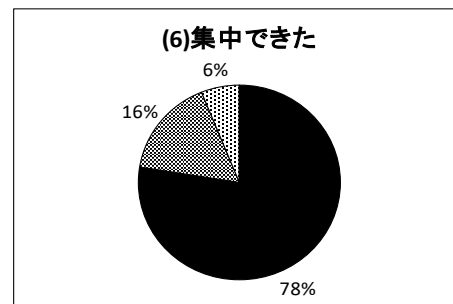
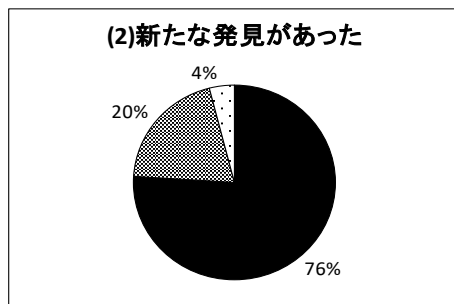
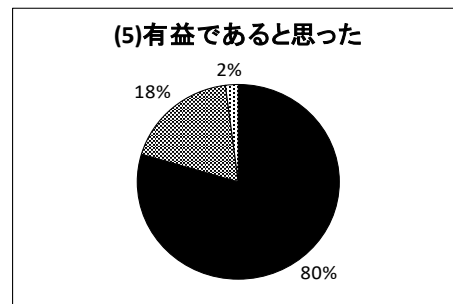
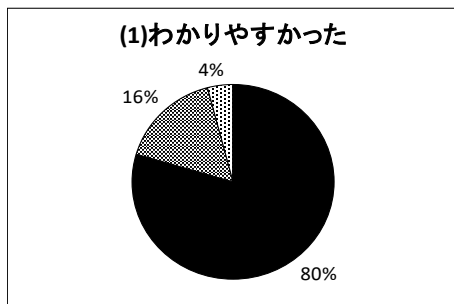
演 題：共用試験（OSCE・CBT）について

講 師：教育研究開発センター

センター長 村田 顕也 先生

参加者数：教員 50 名

FD 終了後に実施したアンケートの結果



開催日時：令和4年3月23日(水)

演 題：本年度卒業試験の概要について

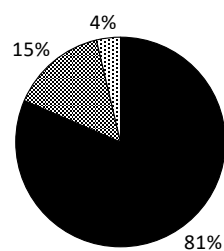
講 師：教育研究開発センター

センター長 村田 顕也 先生

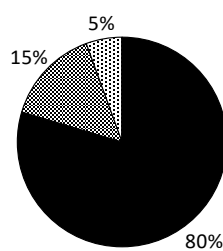
参加者数：教員 54 名

FD 終了後に実施したアンケートの結果

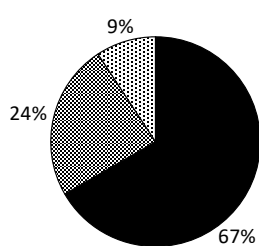
(1)わかりやすかった



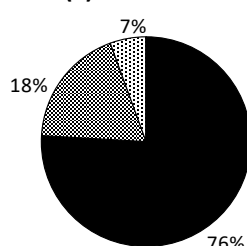
(5)有益であると思った



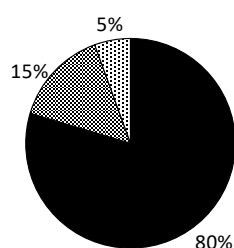
(2)新たな発見があった



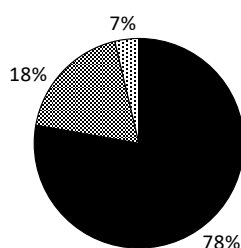
(6)集中できた



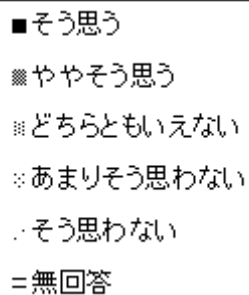
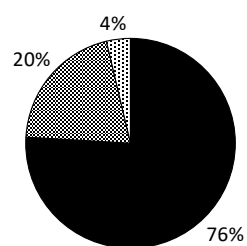
(3)興味深かった



(7)総合的に満足できた



(4)構成は適切であった





令和2年度ベストティーチャー賞及びベストクリニカルティーチング賞

和歌山県立医科大学医学部の教育活動に貢献した教員及び診療科に対してそれぞれベストティーチャー賞及びベストクリニカルティーチング賞を授与し、もって本学医学教育の向上に資することを目的とする。

令和2年度ベストティーチャー賞

教養部門	教養・医学教育大講座 生物学 A	森田 強 講師
基礎部門Ⅰ	生化学講座 生体分子の構造と機能Ⅱ	井内 陽子 助教
基礎部門Ⅱ	病理学講座 病因と病態	中西 雅子 講師
臨床部門	人体病理学講座 病理診断学	松崎 生笛 助教



令和2年度ベストクリニカルティーチング賞

診療部門	麻酔科学	
個人部門	麻酔科学	谷奥 匡 助教

学生カルテの運用報告

教育研究開発センター
特別研究員 平野隆則

当センターでは、平成 26 年度より附属病院内システムで臨床実習中の医学部学生が指導医と共有できる文書管理システム「学生カルテ」を医療情報部の協力を得て、運用している。本学附属病院では、学生は電子カルテを閲覧できるが参照権限のみを付与し、運用している。学生の書き込みや誤操作が本番環境に影響を与えることを完全に防ぐことができる。一方で学生の学びのためには電子カルテの情報を参照しながら記入できる環境があることが望ましい。紙面を用いた指導医とのやり取りは流出の恐れがあるため、当センターでは学生カルテの利用を推奨している。

平成 30 年度に富士フイルム社「Yaghee (ヤギー)」からファインデックス社「DocuMaker (ドキュメーカー)」に移行した。例年、臨床実習開始前に当センターが研修を実施する。

ドキュメーカーでの学生カルテ記載(図 1)は、ワークフローを使うことで複数人の指導医や学生宛にドキュメントを送付でき、共同編集やコメントなどが可能になった。一方でワークフローを作成しなければドキュメント作成ができず、操作を誤る学生が増加した。このため、平成 31 年度より、実機を操作できる環境を用意し、研修を実施している。また、学生が臨床実習中に携帯する冊子「臨床実習要領」内に手順の項を設けている。

ドキュメーカー

ファイル(F) ウィンドウ(W) 設定(S) 連携システム(X) ヘルプ(H)

患者番号: 90000001 テスト 90000001 女 昭和 50 年 7 月 9 日 (41 歳) 小児科 書類日付 2016 / 12 / 5 編集状態 記載

ツール 直接記載 計算 自然言語 読紙追加 読紙削除 印刷プレビュー 患者プロフィール編集 患者情報の更新 描画 100% 1 / 1

ワークフロー 1号紙表示

学生用症例カルテ

出席番号: 学籍番号: 学生氏名: 作成者 作成日: 2016 年 12 月 5 日

患者氏名: テスト 90000001 よみ: テスト 90000001 年齢: 41

<学生記入欄>

【主観的情報 (Subjective)】

【客観的情報 (Objective)】

【評価 (Assessment)】

【計画 (Plan)】

ワークフロー詳細 依頼済 / 学生記載... 印刷のみ 依頼せず保存 医師へ承認依頼 キャンセル

図 1 DocuMaker の学生カルテ画面

現システムの特徴は以下に示す。

- ・ 学生の書き込みはサブシステム上にのみ保管される。
- ・ 指導医以外の医療従事者に通知が出ない。
- ・ 電子カルテ側に学生カルテの情報は一切表示されない。
- ・ テンプレートは「症例カルテ」「サマリー」の2種を用意。

現システムの利点

- ・ 電子カルテ用端末でのみ動作し、学外へ持ち出せない。
- ・ 複数の指導医とドキュメントのやり取りが可能。

現システムの課題

- ・ 利用するために電子カルテ用端末が必要になる。
- ・ 操作研修に電子カルテ用端末が必要になる。
- ・ DocuMaker を利用しない医師には操作がわかりにくい。

以下、操作研修の資料（一部抜粋）。

1c. ワークフロー画面へ

DocuMakerが起動したらワークフロー画面へ

6a. カルテを作成する (演習)

今回は練習でPACSからMR画像を貼り付ける。

7. 指導医から差し戻しがあった場合

一覧に赤字で表示されるので開いて修正する

8. 完了したカルテの検索方法

指導医に承認されたカルテは詳細検索で確認できる。

e ラーニングサーバーを用いた臨床実習共通評価表運用報告

教育研究開発センター
特別研究員 平野隆則

当センターでは平成 31/令和元年度から e ラーニングサーバーを用いて、臨床実習・選択制臨床実習で共通評価表の運用を行っている。今年度、遠隔講義導入のため、新サーバーに移行し、システムを大幅にバージョンアップし、運用も大きく改善した。(図 1)

従来の共通評価表を紙面で集める方法は、集計や指導医への共有に時間がかかり、すぐにフィードバックができないことが課題になっていた。当センターが考案した Moodle データベース機能を用いた共通評価表システムでは、リアルタイムで学生の評価が確認でき、他科の指導医の評価を見ることができる。これにより、何らかの問題を抱えた学生の早期発見が可能になり、よりきめ細やかな学生のケアが可能になった。

令和 2 年度までは学内サーバーにシステム(図 2)を構築し、当センターが試験運用してきた。継続して運用するにはサーバーのメンテナンス、セキュリティー、ソフトウェアのアップデートなど保守業務など専門性を要する作業の負荷が大きく、課題だった。

令和 2 年度から遠隔講義が始まり、各教室にアカウントを配布した。これに伴い、教育リソースがクラウドサーバー上に保存されるようにシフトした。これらの教育を取り巻く環境の変化から、今年度から Moodle サーバーをクラウド上に移行し、パートナー企業に保守を依頼する運用に切り替えた。これに伴い、サーバー保守問題が解消し、毎年、最新のソフトウェアにアップデートされ、専門家に運用の助言を求められる体制へ移行した。



図 1 レスポンシブデザインに対応した新システム画面



図 2 令和 2 年度までの旧システム画面

新システム（クラウド）への移行の利点

- ・ 指導医が院外から評価できる。
- ・ 学外ネットワークとスマートフォン・タブレット端末に対応。
- ・ メンテナンスを学外の事業者へ委託。
- ・ 遠隔講義用アカウントでシングルサインオンの実現。
- ・ バックアップやアップデートを専門家に依頼しやすい。

新システム（クラウド）の課題

- ・ 遠隔講義アカウントの運用に伴い、一人 1 アカウントが実現できていない。
- ・ 多要素認証の導入。
- ・ ランニングコストが発生する。
- ・ インターネットにコンテンツを公開するため権利関係の配慮が必要。

今後の活用

クラウドサーバーへの移行に伴い、e ラーニングサーバー活用の幅が大きく広がった。従来は学内ネットワークからの利用が必須だったが、学生が自宅から利用可能になった。また利用の度にユーザー登録が必要だったが、遠隔講義アカウントと連携したことで、学生と教員のアカウント登録が省略できる。オンデマンド教材や資料共有、アンケートなどさまざまな用途に活用が容易になった。

世界的な感染症の流行など、有事の際にはクラウドサービスが利用不能になる事態も想定される。本学の独自のインフラとしての活用が期待できる。共通評価表も今後、改良を進め、よりシームレスな情報共有を目指していきたい。

和歌山SPの会

SP（Simulated Patient：模擬患者）は、医療従事者の研修などで患者さんの役をします。医療現場でのコミュニケーションを改善するために重要性が高まっており、ケアマインドを併せもった医療人教育を進めるためにも必要です。和歌山 SP の会は、平成 18 年度に設立され、臨床技能教育の効果を高めるよう研修を重ねています。

令和 3 年度の開催内容

	開催日時	内容
第 196 回研修会	令和 3 年 4 月 15 日(木)	令和2年度 Pre-CC-OSCE 医療面接 振り返り
第 197 回研修会	令和 3 年 5 月 27 日(木)	令和3年度 Post-CC-OSCE について
第 198 回研修会	令和 3 年 6 月 17 日(木)	令和3年度 Post-CC-OSCE 医療面接の練習
第 199 回研修会	令和 3 年 7 月 1 日(木)	令和3年度 Post-CC-OSCE 医療面接の練習
第 200 回研修会	令和 3 年 7 月 15 日(木)	令和3年度 Post-CC-OSCE 医療面接の練習
第 201 回研修会	令和 3 年 7 月 21 日(水)	令和3年度 Post-CC-OSCE 医療面接の練習
第 202 回研修会	令和 3 年 7 月 30 日(金)	令和3年度 Post-CC-OSCE 医療面接
第 203 回研修会	令和 3 年 10 月 14 日(木)	令和3年度 Post-CC-OSCE 医療面接 振り返り
第 204 回研修会	令和 3 年 11 月 18 日(木)	令和3年度 Pre-CC-OSCE 及び OSCE 直前医療面接について
第 205 回研修会	令和 3 年 12 月 2 日(木)	令和3年度 Pre-CC-OSCE 及び OSCE 直前医療面接の練習
第 206 回研修会	令和 3 年 12 月 16 日(木)	令和3年度 Pre-CC-OSCE 及び OSCE 直前医療面接の練習
第 207 回研修会	令和 3 年 12 月 20 日(月)	令和3年度 Pre-CC-OSCE 及び OSCE 直前医療面接の練習
第 208 回研修会	令和 3 年 12 月 23 日(木)	令和3年度 Pre-CC-OSCE 及び OSCE 直前医療面接の練習
第 209 回研修会	令和 4 年 1 月 4 日(火)	令和3年度 Pre-CC-OSCE 及び OSCE 直前医療面接の練習
第 210 回研修会	令和 4 年 1 月 7 日(金)	令和3年度 Pre-CC-OSCE 直前医療面接
第 211 回研修会	令和 4 年 1 月 7 日(金)	令和3年度 Pre-CC-OSCE 医療面接の練習
第 212 回研修会	令和 4 年 1 月 13 日(木)	令和3年度 Pre-CC-OSCE 医療面接

医学部 学生自主カリキュラムの取組み

質量分析法を用いた、分泌型・機能性・生理活性分子の探索

和歌山県立医科大学 医学部 2 年生

大藪晋太郎・西川恵介

指導教員 茂里康

研究目的

カエルは陸上・水中の異なる生活環境を行き来し、逞しく生き続ける特殊な能力を保持している。モリアオガエル (*Rhacophorus arboreus*) は非繁殖期には主に森林に生息するが、梅雨前後の繁殖期に生息地付近の湖沼に集まる。モリアオガエルの際立った特徴は、産卵形態である。メスは水面にせり出した木の枝に、卵塊（泡巣）を生みつける。メスの輸卵管から分泌された溶液を泡立てて作る泡巣に産卵し、オスはその卵塊に精子を注入し受精が完了する。泡巣の中には数百個の卵が詰まり、日時が経過するにつれ泡巣表面が乾燥し、数 cm の厚さのシート状の殻に変化する。殻のおかげで泡巣の内部は一定温度・湿度に保たれ、孵化したオタマジャクシは泡巣を餌として泡巣中で成熟する。つまり泡巣は、シェルター・ゆりかご・母乳でもある。その後オタマジャクシの分泌液により、泡巣は崩壊し、オタマジャクシは水面に落下し、水中生活後成熟しカエルとして森に戻る。そこで指導教員は、モリアオガエルの泡巣の特異的な性質に注目した。(i) 泡巣の主要タンパク質成分は何なのか？ (ii) 泡巣に抗菌等の特殊能力が備わっているのか？ (iii) なぜ長期間、泡巣として形態を保持しているのか？ (iv) 泡巣の保湿・恒温・酸素供給を維持している機能の源泉は？ そこで生化学的手法・質量分析法・次世代シーケンサー等の解析手法を駆使したところ、泡巣中に少なくとも 22 種類の新規タンパク質が存在し、それらのアミノ酸配列・遺伝子配列の解読に成功した（関連発表論文 1）。遺伝子データベースの相同性検索の結果、22 種類のタンパク質はそれぞれ、サーファクタントタンパク質・糖タンパク質・糖タンパク質結合タンパク・活性酸素分解酵素・プロテアーゼ阻害タンパク質・リボスクレアーゼ・抗菌タンパク質・IgG 結合タンパク質・色素タンパク質・細胞骨格結合タンパク質・サソリ毒素タンパク質と相同性が高い事が判明した。さらに還元剤で泡巣を処理すると、

泡から粘性の低い溶液に劇的に変化する事も見出した。またモリアオガエルのミトコンドリア DNA の配列も決定した（関連発表論文 2）。そこで日本に生息するアオガエル科のカエルの中で、比較的採集が容易なシュレーゲルアオガエルと、特定外来生物であり沖縄に生息しているシロアゴガエルと、これまでに解析を済ましたモリアオガエルのそれぞれの泡巣のプロテオーム解析・次世代シーケンサーを用いたトランスクリプトーム解析を行うことにした。

方法

(1)モリアオガエルは、大津市比叡平にお住いの久保田洋先生（京都大学・理学研究科・名誉教授）の自宅池に産卵に来る個体を再度利用した。シュレーゲルアオガエルは、オランダのライデン王立自然史博物館館長のヘルマン・シュレーゲル氏に由来する名前であるが、列記とした日本の固有種でモリアオガエルの姉妹種と考えられている。本州・四国・九州とその周辺の島に生息する。外見はモリアオガエルの無斑型に似ているが、やや小型で、虹彩が黄色いことで区別は可能である。水田や森林等に生息し、繁殖期には水田や湖沼に集まり、繁殖期はモリアオガエルよりも一月ほど早く、主に 4 月～5 月にかけてである。しかしモリアオガエルの産卵形態と大きく異なっている点は、モリアオガエルは湖沼等にある樹木の上部等に産卵するので、産卵場所が特定しやすい。しかしシュレーゲルアオガエルは、水田等の不特定な場所に産卵するために、採集がより難しい。そこで近畿大学・農学部・澤畠拓夫准教授にお願いして、近畿大学・農学部のキャンパス（奈良県奈良市中町 3327-204）での採集を試み、複数の個体と泡巣の採集に成功した。一方、異なる生息場所でのシュレーゲルアオガエルの捕獲も試みた。三重県上野森林公園（三重県伊賀市下友生 1 番地）の渡辺直人氏に依頼し、付近の水田でのシュレーゲルアオガエルの複数の個体と泡巣の採集にも成功した。一方特定外来生物であるシロアゴガエルは、琉球大学・教育学部・富永篤准教授に採集をお願いした。環境省・沖縄奄美自然環境事務所に所定の書類を提出・捕獲と短期間の飼育を承認して頂き、琉球大学内での動物実験計画の承認を頂き、シロアゴガエルの個体及び泡巣の採集を予定通り完了した。

(2) モリアオガエル・シュレーゲルアオガエル・シロアゴガエル泡巣のプロテオーム解析（タンパク質の網羅的検出）

モリアオガエル・シュレーゲルアオガエル・シロアゴガエルの産卵期直前のメスを捕獲し、実験室に移す。実験室でオスの介在無しに、産卵（泡巣産生）を行わせる。泡巣は、泡成分と卵とで構成されるが、泡成分だけを肉眼で分離し、冷凍保存する。その後泡巣は、アミノ酸分析・エドマン分解・各種質量分析を実施し、構成タンパク質のアミノ酸配列解析を行う。

(3) 次世代シーケンサー等を用いた、モリアオガエル・シュレーゲルアオガエル・シロアゴガエル泡巣構成タンパク質のトランスクリプトーム解析

シュレーゲルアオガエルと沖縄に生息する特定外来生物のシロアゴガエルの泡巣構成タンパク質の遺伝子を解析した。産卵前後のシュレーゲルアオガエルとシロアゴガエルのメスから泡巣を分泌する輸卵管 RNA を抽出し、これを次世代シーケンサーで解析した。その後、次世代 DNA シーケンサーから出力されたデータ（リード）を Trinity ソフトウェアでアッセンブルした後、得られたアッセンブル結果（コンティグ）を BlastX ソフトウェアなどにより相同性検索した。このことによって泡巣構成タンパク質遺伝子の塩基配列を決定するとともに、アミノ酸配列を明らかにした。さらに Bowtie2 ソフトウェアにより、それぞれのコンティグにマッピングされるリード数を計測し、輸卵管で発現する遺伝子の発現量を推定した。

(4) モリアオガエル・シュレーゲルアオガエル・シロアゴガエル泡巣構成タンパク質の発現

遺伝子を特定した泡巣由来のタンパク質を、大腸菌・酵母・アフリカツメガエル卵母細胞等のタンパク質発現系を用いて、発現・機能解析を実施した。

結果と考察

(1) モリアオガエル・シュレーゲルアオガエル・シロアゴガエルの産卵期直前のメスを捕獲し、オスの介在無しに、産卵（泡巣産生）を行わせ、泡巣中の泡成分だけを分離した。その後泡巣は、アミノ酸分析・エドマン分解・各種質量分析を実施し、構成タンパク質のアミノ酸配列解析を現在行っている。

(2) その結果、モリアオガエル泡巣の主要構成タンパク質 22 種類のオーソログのほとんどが、シュレーゲルアオガエルとシロアゴガエルにも存在することが示された。また、モリアオガエルとシロアゴガエルでは、Ranasumurfin, Hylaserpin, Superoxide dismutase (SOD), Vitelline membrane outer layer protein (VMOP) 等の遺伝子が共通して強く発現しており、これらが両種で共通する泡巣構成タンパク質の主要成分であることを窺わせた。一方で、シュレーゲルアオガエルではこれらの遺伝子の発現が弱かった。これはシュレーゲルアオガエルから RNA 抽出する時には、一過性に亢進する泡巣構成タンパク質の発現が収まっていたためだと推測された。また、モリアオガエルとシロアゴガエルの間でも大きく発現量が異なる遺伝子があった。例えば Onconase 遺伝子はモリアオガエル輸卵管で発現しているが、シロアゴガエルの輸卵管ではほとんど発現していない。これはそれぞれの種の生息、産卵環境の違いを反映しているのであろう。

(3) これまでのところ、モリアオガエル泡巣構成タンパク質の組換え体での発現を主として試みている。モリアオガエル輸卵管 RNA より RT-PCR により、Ranasumurfin, Hylaserpin, Superoxide dismutase (SOD), Vitelline membrane outer layer protein (VMOP), Fucoselectin, Keratin-associated protein (KAP) cDNA を単離し、これをアフリカツメガエル卵母細胞での発現に適したベクター pSD65 にサブクローニングした。その後、このコンストラクトから cRNA を合成し卵母細胞に注入して、培養上清に分泌されるタンパク質を SDS-PAGE 及び、ウェスタンブロッティングで検出した。Ranasumurfin と SOD はアフリカツメガエル卵母細胞においても効率よく発現し、培養上清中に分泌された。こうして取得した SOD タンパク質を酵素アッセイ系に供したところ、弱い酵素活性が認められた。Ranasumurfin と SOD については大腸菌での組換え体の発現を試みている。すなわち大腸菌の発現ベクター pET32 と pCold 2 にこれらの cDNA をサブクローニング

し、IPTG もしくは低温刺激によって発現誘導を試みた。Ranasumurfin についてはいずれのベクターを用いても大腸菌での組換え体の発現が認められなかった。一方、SOD については発現が認められたものの、インクルージョン・ボディーを形成して不溶化し、酵素活性は認められなかった。さらに、Ranasumurfin と SOD については酵母 (*Pichia pastoris*) での組換え体の発現も試みている。現在、酵母の発現ベクター pPICZ α にこれらの cDNA をサブクローニングし終えた段階で、今後、酵母でこれらのタンパク質の組換え体での発現が可能か検証したいと考えている。

まとめ

今回日本に生息するシュレーゲルアオガエルとモリアオガエル、さらに特定外来生物であり沖縄に生息しているシロアゴガエルの泡巣タンパク質について、プロテオーム解析・トランスクリプトーム解析・各種宿主系での発現解析を実施した。今後は台湾に生息するアオガエル科のカエルの泡巣の解析を行いたいと考えている。日本に距離的に近く、国土がコンパクト、泡巣（卵塊）を産生するアオガエル科のカエルの生息地が詳細に研究されている台湾には、シロアゴガエル属 2 種、アオガエル属 5 種の計 7 種が泡巣を産生するアオガエルとして生息している。日本台湾交流協会は、公式に国交の無い中華民国（台湾）との実務関係を処理するための日本の対台湾窓口機関である。本機関や外務省のホームページによると、2021 年 5 月 19 日から、台湾の有効な居留証を所持しない非台湾籍者の入境をしばらくの間停止し（台湾の在外事務所に特別入境許可を申請し、既に査証を得ている者も、同期間中の新規入境は認められない。）、また、台湾におけるトランジットを全面的に停止している。しかし新型コロナウイルス感染症の終息後に、速やかに研究を開始できると確信している。またモリアオガエル・シュレーゲルアオガエル・シロアゴガエルの 3 種のアオガエル科のカエル泡巣を詳細に解析できた事により、今後台湾に生息している、シロアゴガエル属 2 種、アオガエル属 5 種の計 7 種の泡巣の解析が円滑に進むことが期待できる。

(関連発表論文) (1) Shigeri, Y., et al. (2021) Identification of novel proteins in foam nests of the Japanese forest green tree frog, *Rhacophorus arboreus*. *Zool Sci.*, 38, 8-19

(2) Inagaki, H., Haramoto, Y., Kubota, H., and Shigeri, Y. (2020) *Mitochondrial DNA Part B*, 5, 3365-3366

リノール酸モデル反応系による柿・柑橘類等の抗酸化活性評価

和歌山県立医科大学 2 年生

朝間 結梨

山本 有美恵

指導教員 多中 良栄

目的

活性酵素やフリーラジカルによる酸化ストレスは動脈硬化をはじめ数多くの疾病の原因となると考えられている。酸化ストレスから生体を防御するシステムの一つとして抗酸化物質による活性酵素やフリーラジカルの捕捉・安定化がある。ビタミンCやビタミンE等を代表とする抗酸化物質は多くが食物として摂取されるものである。

本研究では柿や柑橘類等和歌山の名産品をサンプルとして、葉や皮等これまで抗酸化活性が明らかになっていない部位の抗酸化活性を測定し、成分との相関性を検討することを目的とする。

今回は柿の葉寿司や柿の葉茶に用いられる柿の葉について検討を行った。柿の葉は、中国では高血圧や内出血等の治療薬としても利用されてきた事もあり、その有効成分の探索にも注目が集まっている。柿の葉のビタミンCの含有量の多さは良く知られているが、脂溶性の抗酸化成分であるビタミンEの含有量も多いという認知度は低い。本研究では、リノール酸モデル反応系によりビタミンEに由来する抗酸化活性の評価を行った。

方法

1. サンプルの準備と保存

和歌山県農林水産総合技術センター果樹試験場かき・もも研究所にて栽培されている平核無（渋柿）の葉を7月上旬に採取し、密閉後冷凍保存した。

2. 測定試料の調整

- ① 葉柄と太い葉脈を除去した葉1枚（約5g）に、メタノール10mLを加えポリトロンホモジナイザーで磨砕し、遠心分離（1000回転/分、5分間）を行いその上澄み液をナスフラスコに回収した。残渣に再びメタノール10mLを加えて振盪後、遠心分離（1000回転/分、5分間）を行いその上澄み液を上記のナスフラスコに回収した。この操作をもう一度繰り返した。メタノールをロータリーエバポレーターにて濃縮した。水15mLを加えて溶解し、この水に酢酸エチル5mLを加えて抽出を行った。混合液を振盪後、遠心分離（1000回転/分、5分間）を行いその有機層（酢酸エチル層）を回収した。酢酸エチルでの抽出を3回繰り返し、集めた有機層（酢酸エチル層）に酢酸エチルを加えて20mLに定容した。この

溶液を抗酸化活性評価に用いる「柿の葉抽出液（酢酸エチル画分）」とした。残った水層も回収し、水を加えて 20 mL に定容した。この溶液を抗酸化活性評価に用いる「柿の葉抽出液（水画分）」とした。抗酸化作用の効果を比較するため、抗酸化剤、トロロックス 25 mg を酢酸エチル 100 μ L に溶解し、トロロックス原液とした。

② 試料溶液作成

抽出液、エタノール 10ml を合わせて試料溶液を作成した。抽出液とは上記の柿の葉を抽出物とした柿の葉抽出液（酢酸エチル画分）、柿の葉抽出液（水画分）、トロロックス原液のことである。③の反応溶液中の抽出物濃度がそれぞれ 60 ppm、600 ppm、900 ppm、1200 ppm となるように、添加する抽出液の量を 3 μ l、30 μ l、45 μ l、60 μ l とした。柿の葉の抽出物を入れないブランク溶液は、エタノールのみを用いた。

③ 2.5% リノール酸エタノール溶液作成

リノール酸 0.625ml とエタノール 24.4ml を合わせて作成した。

④ 反応溶液の作成

各試料溶液あるいはブランク溶液（①に記載）2.0ml、2.5% リノール酸エタノール溶液（②に記載）2.0ml、0.05M リン酸緩衝液（pH7.0）4.0ml、水 2.0ml、界面活性剤(Tween80)2, 3 滴を 50 mL 共栓付三角フラスコ中で混合した。各試料およびブランクについて 3 つのフラスコを作った。

⑤ リノール酸と評価対象物質の混合物（③に記載）を、一定温度（60℃）で数日間静置し、リノール酸の自動酸化により過酸化物質（ヒドロキシペルオキシド）を生成させた。

3. 過酸化物質の測定

リノール酸の自動酸化により生成する過酸化物質（ヒドロキシペルオキシド）の量をロダン鉄法により測定した。検出は吸光度計で経時的に吸光度（500 nm）を測定した。

① 0.02 mol/L の塩化第一鉄の 3.5% の塩酸溶液の作成

3.5% の塩酸溶液 5 ml に水を加え合計 50 ml の塩酸を作成した。作成した塩酸溶液 5 ml に塩化鉄を 0.2 g 入れ溶解した。吸光度測定溶液の作成

60 ppm 反応溶液の場合；2④の反応溶液 0.1 ml、75%エタノール 4.7 ml、30%チオシアン酸アンモニウム 0.1 ml を試験管に入れ、十分に攪拌した。

600 ppm 反応溶液の場合；2④の反応溶液を 0.05 ml、75%エタノールを 2.35 ml、30%チオシアン酸アンモニウムを 0.05 ml として調整した。

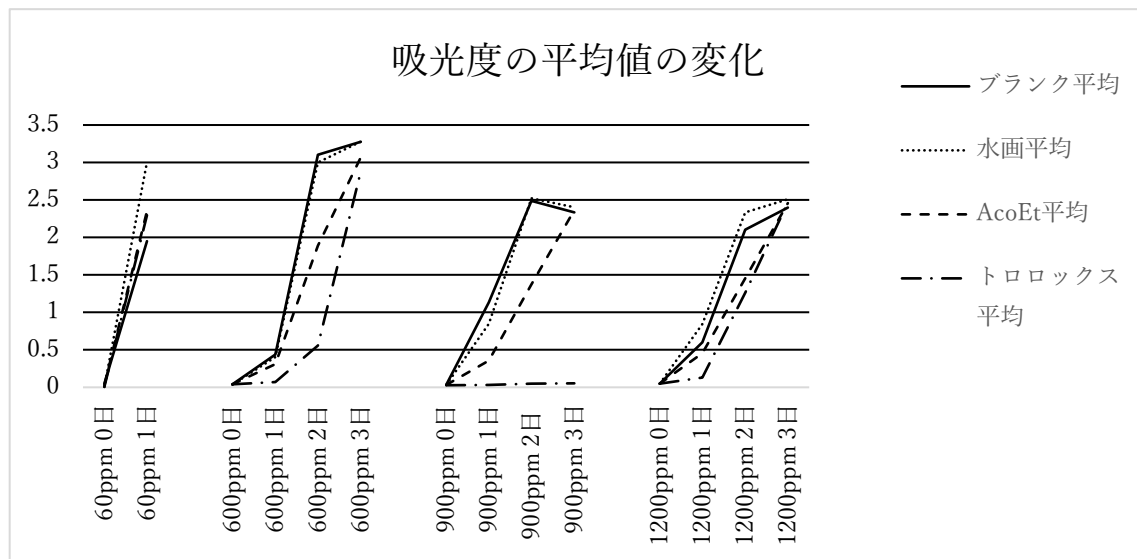
900 ppm、1200 ppm の反応溶液場合；2④の反応溶液を 0.05 ml、75%エタノールを 4.70 ml、30%チオシアン酸アンモニウムを 0.05 ml として調整した。

② ①で調製した塩化第一鉄の溶液 100 μ l を入れ、十分に攪拌し、3 分後に吸光度を測定した。吸光度を測定する際には各試料をピペットで吸い出しキュベットに入れた。初めにブランクを測定し、溶液自体の吸光度を測定した。その後各画分の吸光度を測定した。

4. データ解析とまとめ

得られたデータからブランク、水画分、酢酸エチル画分、トロロックスの平均の吸光度を計算した。得られた結果を Excel に記録し吸光度の推移を表した。その後解析を行った。

結果と考察



実験は抗酸化物質濃度 60 ppm から始めた。試料作製の翌日の時点で対照となる抗酸化物質のトロロックスを含めてすべての試料についてブランクと同程度に吸光度が上昇したことから抗酸化物質の濃度が薄すぎて酸化作用を示さず過酸化物質（ヒドロキシペルオキシド）がどれも同じように増加したと考えられたため、抽出液の量を 3 μ l から 30 μ l に変更し、抗酸化物質濃度 600 ppm の試料を作成した。

抗酸化物質濃度 600 ppm では、過酸化物質（ヒドロキシペルオキシド）の量を示す吸光度の上昇が、トロロックスで最も抑制され、次いで柿の葉抽出物の酢酸エチル画分で抑制されていることが確認できた。柿の葉抽出物の水画分は、抗酸化剤の含まれないブランクと同程度であることも確認できた。しかし、3 日目にはトロロックスや柿の葉抽出物の酢酸エチル画分の吸光度も上昇し、柿の葉抽出物の水画分やブランクと同程度になることから、明確な差を観測するためには、抗酸化剤の濃度をさらに多くする必要があると考えた。また 2 日目にはブランク、水画分の吸光度が 2.0 以上となったため吸光度測定溶液の濃度が濃すぎて正確に吸光度が測定できていない状態となってしまったため、吸光度測定溶液の濃度を調整する必要があると考えた。

以上をふまえて、吸光度測定溶液の作成の方法をもう一度見直し、抗酸化物質濃度 900 ppm および 1200 ppm で実験を行った。その結果、柿の葉抽出物の水画分は、抗酸化剤の含まれないブランクと同程度の吸光度を示し、リノール酸の酸化に対して抗酸化性を示さないことが確認できた。柿の葉抽出物の酢酸エチル画分は、柿の葉抽出物の水画分やブランクより吸光度の上昇が抑制され、リノール酸の酸化による過酸化物質（ヒドロキシペルオキシド）が抑えられていることが確認できた。柿の葉抽出物の酢酸エチル

画分の抗酸化効果は、脂溶性の抗酸化剤であるトロロックスよりは劣るものであった。ただし、抗酸化剤の添加量を増加させても、吸光度の上昇つまり過酸化物の生成の抑制効果が上がらないなど、原因が説明できない部分も残った。試料や溶液の調製方法を精査し、抗酸化剤の添加量や反応溶液の酸化条件など、条件を変えて実験を行う必要があると考える。

結論

リノール酸モデル反応系において、柿の葉抽出物の酢酸エチル画分が、柿の葉抽出物の水画分より高い抗酸化性を示すことが確認できた。従来より知られている柿の葉の抗酸化成分である水溶性のビタミンCは水画分に存在するものであり、有機層に含まれる脂溶性のビタミンEがリノール酸酸化に対し有効に働く抗酸化成分であることが示唆されたと考える。

教育研究開発センター 担当講義

【1年生】

■ ケアマインド

講義日程表 ※日程・内容は変更になることがあります。

No.	月日	曜日	時限	項目	担当	
1	R3.5.11	(火)	4	オリエンテーション	3学部合同	
2	R3.5.18	(火)	4	視覚障害(講義+GW)	保健看護学部	未定
3	R3.5.25	(火)	4	医療人類学(講義)	保健看護学部	山口
4	R3.6.1	(火)	4	医療人類学(和歌山の人々の暮らし)(講義+GW)	保健看護学部	未定
5	R3.6.8	(火)	4	がん(講義+GW)	保健看護学部	未定
6	R3.6.15	(火)	4	セルフメディケーション(講義)	薬学部	未定
7	R3.6.22	(火)	4	セルフメディケーション(GW)	薬学部	未定
8	R3.6.29	(火)	4	セルフメディケーション(発表)	薬学部	未定
9	R3.7.6	(火)	4	ダウン症	医学部	村田
10	R3.10.5	(火)	4	医療人類学(GW)	保健看護学部	山口
11	R3.10.12	(火)	4	医療人類学(発表)	保健看護学部	山口
12	R3.10.19	(火)	4	薬害B型肝炎	医学部	村田
13	R3.10.26	(火)	4	医学部(GW)	医学部	村田
14	R3.11.2	(火)	4	発表1	医学部	村田
15	R3.11.9	(火)	4	発表2	医学部	村田
16	R3.11.16	(火)	4	薬物乱用(講義)	薬学部	未定
17	R3.11.30	(火)	4	薬物乱用(GW)	薬学部	未定
18	R3.12.7	(火)	4	薬物乱用(発表)	薬学部	未定

■ 医学概論Ⅰ

令和3年6月～9月

■ 医学概論Ⅱ

令和3年9月～令和4年1月

■ 医療社会科学Ⅰ

令和3年4月～8月

■ 社会学

令和3年9月～令和4年1月

■ 医学入門

エスコート実習（令和4年2月1日）

地域福祉施設体験実習（新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止）

【2年生】

■ 医療社会学Ⅱ

令和3年4月～6月

■ 地域実習（新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止）

■ 病棟実習

事前説明（令和3年10月29日）

実習（令和3年11月25日、12月2日）

【3年生】

■ 病棟実習

事前説明（令和3年9月22日）

実習（令和3年9月28日、30日）

【4年生】

■ 東洋医学

令和3年9月～10月

■ 加齢と老化

令和3年9月～10月

■ 在宅医療

令和3年10月

■ 臨床実習入門

令和3年12月6日～17日、令和4年1月7日、11日

令和3年度 臨床実習入門時間割			※登校時に検温をします。 集合時間までに検温を済ませられるよう登校すること。 ※受付開始時間は集合時間の30分前から。			
		1限	2限	3限	4限	5限
12月6日 (月)	科目	医学研究に関する倫理指針・臨床研究法	守秘義務・診療録記載義務	共用試験について	医療面接Ⅰ	医療面接Ⅱ
	時間	8:50～10:00	10:10～11:20	12:20～13:30	13:40～14:50	15:00～16:10
	形式・場所	対面講義(臨床講堂Ⅰ)	対面講義(臨床講堂Ⅰ)	対面講義(臨床講堂Ⅰ)	対面講義(臨床講堂Ⅰ)	対面講義(臨床講堂Ⅰ)
	担当所属	臨床研究センター	法学	教育開発研究センター	教育開発研究センター	教育開発研究センター
12月7日 (火)	科目	医療安全	院内感染	臨床講堂Ⅰおよび 高度医療人育成センター5階 での自習を可とする	救急	
	時間	8:50～10:00	10:10～11:20		13:20～16:30 時間注意	
	形式・場所	対面講義(臨床講堂Ⅰ)	対面(臨床講堂Ⅰ)		実技指導(高度医療人育成センター2階、5階) 【グループ①②】高度医療人育成センター5階 大研修室 13:20集合 【グループ③④】高度医療人育成センター5階 大研修室 15:00集合 (※別紙スケジュール参照)	
	担当所属	医療安全推進部	感染制御部		救急部、看護部、消防	
12月8日 (水)	科目	動画にて自習(自宅学習)	動画にて自習(自宅学習)		頭頸部	
	時間				13:00～16:20	
	形式・場所				シミュレーター指導(高度医療人育成センター2階) 身体診察指導(高度医療人育成センター5階) 高度医療人育成センター5階 大研修室 ※集合時間はタイムスケジュール参照のこと	
	担当所属				シミュレーター指導:耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、眼科、内科学第1 身体診察指導:内科学第2、内科学第3	
12月9日 (木)	科目	動画にて自習(自宅学習)	動画にて自習(自宅学習)		胸部	
	時間				13:00～16:20	
	形式・場所				シミュレーター指導(高度医療人育成センター2階) 身体診察指導(高度医療人育成センター5階) 高度医療人育成センター5階 大研修室 ※集合時間はタイムスケジュール参照のこと	
	担当所属				シミュレーター指導:内科学第4、内科学第3、外科学第1 身体診察指導:内科学第2、腎臓内科学	
12月10日 (金)	科目	動画にて自習(自宅学習)	動画にて自習(自宅学習)		腹部	
	時間				13:00～16:20	
	形式・場所				シミュレーター指導(高度医療人育成センター2階) 身体診察指導(高度医療人育成センター5階) 高度医療人育成センター5階 大研修室 ※集合時間はタイムスケジュール参照のこと	
	担当所属				シミュレーター指導:泌尿器科、内科学第2、産婦人科 身体診察指導:内科学第1、外科学第2	
12月13日 (月)	科目	動画にて自習(自宅学習)	動画にて自習(自宅学習)		神経	
	時間				13:00～15:10	
	場所・形式				シミュレーター指導(高度医療人育成センター2階) 身体診察指導(高度医療人育成センター5階) 高度医療人育成センター5階 大研修室 ※集合時間はタイムスケジュール参照のこと	
	担当所属				シミュレーター指導:泌尿器科、内科学第4 身体診察指導:脳神経内科学、脳神経外科学、リハビリテーション医学	
12月14日 (火)	科目	動画にて自習(自宅学習)	動画にて自習(自宅学習)		バイタル	
	時間				13:00～15:10	
	場所・形式				シミュレーター指導(高度医療人育成センター2階) 身体診察指導(高度医療人育成センター5階) 高度医療人育成センター5階 大研修室 ※集合時間はタイムスケジュール参照のこと	
	担当所属				シミュレーター指導:腎臓内科学、内科学第4、脳神経内科 診察指導:血液内科学、麻酔科学	
12月15日 (水)	科目	動画にて自習(自宅学習)	動画にて自習(自宅学習)		基本的な手技1日目(採血・縫合・手指消毒・衛生的な手洗い)	
	時間				13:00～16:10	
	場所・形式				シミュレーター指導(高度医療人育成センター2階) 高度医療人育成センター5階 大研修室 ※集合時間はタイムスケジュール参照のこと	
	担当所属				採血:教育開発研究センター、外科学第1 縫合:整形外科、形成外科学 手指消毒・衛生的な手洗い:歯科口腔外科学、皮膚科学	
12月16日 (木)	科目	動画にて自習(自宅学習)	動画にて自習(自宅学習)		基本的な手技2日目(採血・手術手洗い・手袋・ガウン)	
	時間				13:00～16:35	
	場所・形式				シミュレーター指導(高度医療人育成センター2階) 高度医療人育成センター5階 大研修室 ※集合時間はタイムスケジュール参照のこと	
	担当所属				採血:教育開発研究センター、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 手術手洗い:脳神経外科学、整形外科 手袋・ガウン:外科第2、産科・婦人科	
12月17日 (金)	科目	小児身体診察	小児身体診察	臨床講堂Ⅰおよび 高度医療人育成センター5階 での自習を可とする	医療面接法(ロールプレイ)	
	時間	8:50～10:00	10:10～11:20		13:00～16:00	
	場所・形式	対面講義(臨床講堂Ⅰ)	対面講義(臨床講堂Ⅰ)		実技指導(高度医療人育成センター2階、5階) 高度医療人育成センター5階 大研修室 ※集合時間はタイムスケジュール参照のこと	
	担当所属	小児科学	小児科学		教育開発研究センター、リハビリテーション医学、内科学第3、麻酔科学、放射線医学	
1月7日 (金)	科目	医療面接法			カルテの書き方	
	時間	8:50～12:00			13:40～14:50	
	場所・形式	実技指導(高度人材開発センター2階、5階) 【出席番号1～56】 高度医療人育成センター5階 大研修室 8:50集合 【出席番号57～107】 高度医療人育成センター5階 大研修室 10:15～10:30集合 (※別紙スケジュール参照)			対面講義(臨床講堂Ⅰ)	
	担当所属	教育開発研究センター、神経精神科学、リウマチ・膠原病科学 放射線医学、小児科学、血液内科学、皮膚科学、内科学1			医療情報部	
1月11日 (火)	科目	自主学習				薬剤部
	時間					
	場所・形式					
	担当所属					

■ 共用試験（CBT、Pre CC OSCE）

学生説明会：令和3年12月6日

■ CBT

本試験：令和4年1月5日、6日

再試験：令和4年1月28日

■ Pre-CC OSCE

本試験：令和4年1月12日、13日

再試験：令和4年1月21日

評価者（教員）説明会：令和3年12月27日、令和4年1月7日

身体診察模擬患者（事務職員）説明会：令和4年1月6日、7日

■ 看護体験実習

令和4年2月1日～4日

【6年生】

■ Post-CC OSCE

本試験：令和3年7月29日、30日

再試験：令和3年8月5日

学生説明会：令和3年7月20日

評価者（教員）説明会：令和3年7月20日、21日

■ 卒業試験

1回目（学内試験）：令和3年9月15日、17日

2回目（関西公立私立共通試験）：令和3年10月20日、21日

再試験：令和3年11月22日



山东大学



山东大学
120周年校庆
120th Anniversary of
Shandong University
1901-2021



齐鲁医学院
QILU COLLEGE OF MEDICINE

120

Inheritance Innovation Cooperation Vision

传承 创新 合作 愿景

120th Anniversary of Shandong University

山东大学120周年校庆

World University Presidents' Forum on Medical Sciences

全球大学医学校（院）长论坛

October 12, 2021

Participants from World Universities

1. Mingyao Liu, Director, Institute of Medical Science, Professor of Surgery, Medicine and Physiology, Faculty of Medicine, University of Toronto

刘明耀, 多伦多大学医学科学研究院院长, 医学院外科学、医学和生理学教授

2. Kazuhisa Miyashita, President of Wakayama Medical University

Kazuhisa Miyashita, 和歌山县立医科大学校长

3. Hidefumi Ito, Dean of School of Medicine, Wakayama Medical University

Hidefumi Ito, 和歌山县立医科大学医学院院长

4. Kenya Murata, Professor, Center for educational research and Development, Wakayama Medical University

Kenya Murata, 和歌山县立医科大学教育研究与发展中心教授

5. Yamagata Kazuya, Dean of Faculty of Life Sciences, Dean of Graduate School of Medical Sciences, Dean of School of Medicine, Professor of Department of Medical Biochemistry, Faculty of Life Sciences, Kumamoto University

Yamagata Kazuya, 熊本大学生命科学学院院长、医学研究生院院长、医学院院长、生命科学学院医学生物化学系教授

6. Abramov A.Yu, Director of the Medical Institute, Peoples' Friendship University of Russia

Abramov A.Yu, 俄罗斯人民友谊大学医学院院长

7. Gushchina Yulia, Deputy Director for International Affairs, Medical Institute, Peoples' Friendship University of Russia

Gushchina Yulia, 俄罗斯人民友谊大学国际事务副主任、医学院副院长

8. Wai-Yee Chan, Pro-Vice-Chancellor/Vice President and Li Ka Shing Professor of Biomedical Sciences, The Chinese University of Hong Kong 陈伟仪, 香港中文大学副校长, 香港中文大学生物医学系教授

9. Robert Harris, Academic Vice President of Doctoral Education, Head of the International Council, Professor of Immunotherapy, Karolinska Institutet

Robert Harri, 卡罗林斯卡医学院副院长、国际理事会主席、免疫治疗系教授

10. Rolf Bjerkvig, Professor, Department of Biomedicine, Director of Norwegian Brain Tumor Network, University of Bergen

Rolf Bjerkvi, 卑尔根大学生物医学系教授

11. Brenda Hemmelgarn, Dean of the Faculty of Medicine & Dentistry, University of Alberta

Brenda Hemmelgarn, 阿尔伯塔大学医学与牙科学院院长

12. Dennis Kunimoto, Vice Dean Faculty Affairs of the Faculty of Medicine & Dentistry, University of Alberta

Dennis Kunimoto, 阿尔伯塔大学医学与牙科学院副院长

13. Xinmin Li, Professor of Psychiatry, Associate Dean, International Relations, Faculty of Medicine and Dentistry, University of Alberta 李新民, 阿尔伯塔大学医学与牙科学院副院长, 国际关系学院副院长, 精神病学教授

14. H. Dele Davies, Senior Vice Chancellor for Academic Affairs, Dean for Graduate Studies, University of Nebraska Medical Center

H. Dele Davies, 内布拉斯加大学医学中心副校长, 研究生院院长

15. Diana Eccles, Dean of the Faculty of Medicine, Professor of Cancer Genetics, University of Southampton

Diana Eccles, 南安普顿大学医学院院长、肿瘤遗传学教授

Participants from Shandong University (SDU)

1. Liming Fan, President of Shandong University

樊丽明, 山东大学校长

2. Fan Yi, Vice President of Shandong University, Dean of Cheeloo College of Medicine

易凡, 山东大学副校长, 齐鲁医学院院长

3. Chunhong Ma, Vice Dean, Cheeloo College of Medicine

马春红, 山东大学齐鲁医学院副院长

4. Qiji Liu, Vice Dean, Cheeloo College of Medicine

刘奇迹, 山东大学齐鲁医学院副院长

5. Fenglin Cao, Director of Office of Scientific Research and International Affairs, Cheeloo College of Medicine

曹枫林, 山东大学齐鲁医学院科研与国际交流办公室主任

6. Yuchun Tang, Deputy Director of Office of Scientific Research and International Affairs, Cheeloo College of Medicine

汤煜春, 山东大学齐鲁医学院科研与国际交流办公室副主任



Schedule

Time 时间	Topic(s) 主题	Speaker(s) 主讲人
SDU host by Qiji Liu 主持人：刘奇迹		
20:00-20:10	Opening Speech	Liming Fan 樊丽明
20:10-20:25	Openness, cooperation and innovation the way forward for medical education	Fan Yi 易凡
20:25-20:40	International medical research training and cooperation in the post-pandemic era	Mingyao Liu 刘明耀
20:40-20:55	Current Status and Future Prospects of Remote Lectures in Medical Education in Japan	MURATA Ken-ya, ITO Hidefumi, MIYASHITA Kazuhisa
20:55-21:10	The importance of strengthening cooperation between Kumamoto University and Shandong University	Kazuya Yamagata
21:10-21:25	Medical Institute of the RUDN University: development of international cooperation in the post-pandemic period	Abramov A.Yu
21:25-21:40	Medical curriculum in the era of post-genomics and big data analytics	Wai-Yee Chan 陈伟仪
21:40-21:55	How the Covid-19 pandemic will shape future research and education	Robert Harris
21:55-22:10	University of Bergen	Rolf Bjerkvig
22:10-22:25	International medical exchanges and cooperation in the post-pandemic era	Dennis Kunimoto
22:25-22:40	Transforming Healthcare Education with Emerging Technologies	H. Dele Davies
22:40-22:55	The University of Southampton response to the pandemic – examples from education, research and enterprise	Diana Eccles
22:55-23:00	Closing Speech	Fan Yi 易凡

Speakers

Shandong University

Fan Yi, Ph.D.

Vice President of Shandong University
Dean of Cheeloo College of Medicine,SDU
Professor, Department of Pharmacology, SDU
Director, State Key Laboratory of Crystal Materials
Executive Director of Chinese Pharmacological Society and Chairman of Renal Pharmacology Committee
President of Shandong Pharmacological Society



University of Toronto

Mingyao Liu, M.D., M.Sc.

Director, Institute of Medical Science
Professor of Surgery, Medicine and Physiology
Faculty of Medicine, University of Toronto
James & Mary Davie Chair in Lung Injury, Repair and Regeneration
University Health Network, University of Toronto
Head, Respiratory and Critical Care Group
Toronto General Research Institute





Wakayama Medical University

Miyashita Kazuhisa, Ph.D.

President of Wakayama-Medical University (WMU)
Professor, Department of Hygiene, WMU
Occupational Health Consultant
Medical instructor of Japan Society of Occupational Health
Occupational Health Physician



Wakayama Medical University

Ken-ya Murata, Ph.D.

Professor, Center for educational research and Development,
Wakayama Medical University
Professor, Department of Neurology, WMU
Japan Society for Medical Education (councilor)
Japanese society of Neurological Therapeutics (councilor)
Japanese Headache Society (councilor)



Wakayama Medical University

ITO Hidefumi, Ph.D.

Dean of School of Medicine, Wakayama Medical University (WMU)
Professor and Chair, Department of Neurology, WMU
Board Certified Neurologist
Board Certified Member of the Japanese Society of Internal Medicine



Kumamoto University

Kazuya Yamagata, M.D., Ph.D.

Dean, Faculty of Life Sciences
Dean, Graduate School of Medical Sciences
Dean, School of Medicine
Professor, Department of Medical Biochemistry,
Faculty of Life Sciences, Kumamoto University





Peoples' Friendship University of Russia

Abramov Alexey, M.D.

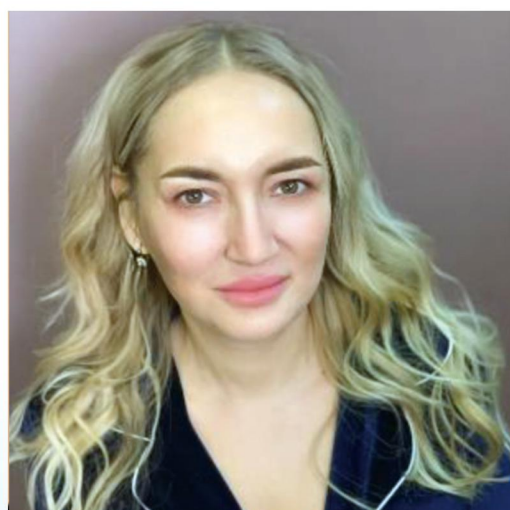
Director of the Medical Institute, RUDN University (Peoples' Friendship University of Russia)
Associate Professor, the Department of Public Health, Healthcare and Health Economics, Pirogov Russian National Research Medical University
Class II Active Advisor
Membership, Chairman Deans (Directors) Council of the Medical Faculties (Institutes) of the state universities of the Ministry of Education and Science of the Russian Federation.
Member of the Education Coordination Council "Healthcare and Medical Sciences" of the Ministry of Healthcare of the Russian Federation;



Chinese University of Hong Kong

Wai-Yee Chan, Ph.D.

Pro-Vice-Chancellor/Vice President of the Chinese University of Hong Kong (CUHK)
Li Ka Shing Professor of Biomedical Sciences, CUHK
Founding Director and Chair Professor of Biomedical Sciences, CUHK
President of Hong Kong Institution of Science
Council Member of the Shaw Prize Foundation
Director of the Board of Directors of the Hong Kong Genome Institute
Specialist of the Hong Kong Council for Accreditation of Academic and Vocational Qualifications



RUDN University

Gushchina Yulia, Ph.D.

Deputy Director for International Affairs, Medical Institute, RUDN University
Associate Professor, Department of General Clinical Pharmacology, Medical Institute, RUDN



Karolinska Institutet

Robert Harris, Ph.D.

Academic Vice President of Doctoral Education at Karolinska Institutet
Head of the International Council, KI
President of the international doctoral education organisation ORPHEUS
Professor of Immunotherapy in Neurological diseases, KI





University of Bergen

Rolf Bjerkvig, Ph.D.

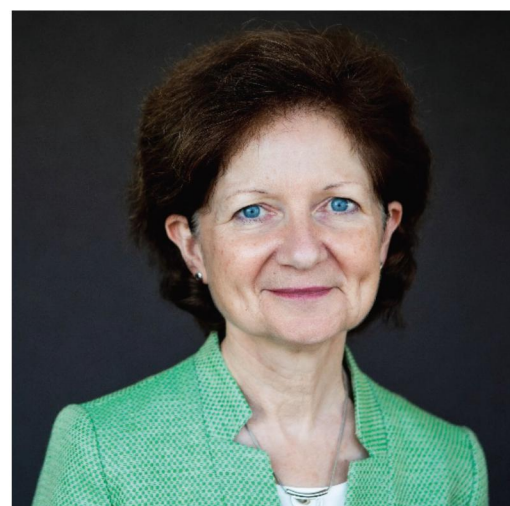
Professor, Department of Biomedicine, University of Bergen
Director, Department of Oncology, Luxembourg Institute of health
Head of Ph.D progress evaluation committee, Department of
Biomedicine, UiB Chairman, International Conference for Brain
Tumor Research and Therapy, Bergen, Norway
Honorary Professor, Shandong University, China
Member of the Society of Neuro-Oncology (USA)
Member of the European Society for Neuro-Oncology (EANO)
Co-founder and Board Member of the biotech company Cytovation



University of Alberta

Xinmin Li, MD, PhD, FRCPC

Associate Dean, International Relations, University of Alberta
Professor and Chair of Psychiatry, UoA
Capital Health Chair in Mental Health research
Faculty of Medicine and Dentistry, UoA



University of Alberta

Brenda Hemmelgarn, Ph.D., M.D.

Dean of the Faculty of Medicine and Dentistry, University of Alberta
Professor, Dept of Community Health Sciences
Vice-chair of the Alberta Health Services board of directors
Fellow of the Canadian Academy of Health Sciences
Alberta Science and Technology Leadership (ASTech) Foundation
Award for Outstanding Achievement in Health Innovation



University of Nebraska Medical Center

H. Dele Davies, M.D., M.S., MHCM

Senior Vice Chancellor for Academic Affairs, University of Nebraska
Medical Center
Dean for Graduate Studies, UNMC
Professor in pediatric infectious diseases and community health
Member of the National Preparedness and Response Science Board
(NPRSB)
Member of the Best Doctors of America
Fellow of the Infectious Diseases Society of America and Pediatric
Infectious Diseases Society
Member of the Alpha Omega Alpha National Honors Society



University of Alberta

Dennis Kunimoto, M.D.

Vice Dean Faculty Affairs of the University of Alberta' s Faculty
of Medicine & Dentistry.
Professor of Immunology and Molecular Biology, UoA
Medical director of the Edmonton Tuberculosis Clinic
Interim Dean in the Faculty of Medicine and Dentistry, UoA



University of Southampton

Diana Eccles, M.D.

Dean of Medicine, University of Southampton,
Professor and Chair of Cancer Genetics
Honorary Consultant in Clinical Genetics,
NHS consultant in clinical cancer genetics
Elected FRCP (short listed for the Goulstonian lectureship)
Healthcare Foundation Mid-Career Research Fellowship
Sir Patrick Forrest Prize (British Breast Group)
Chair of the British Breast Group
Chair of MRC Clinical Academic Research Partnership committee

令和3年度事業実績

保健看護学部

開催した委員会一覧

入試制度検討委員会

第1回

開催日時：令和3年4月14日（水）16：30

- 議 事：1. 副委員長の推薦について
2. 令和4年度入試日程について
3. その他

臨時（持ち回り）

決裁日時：令和3年7月5日（月）

- 議 事：1. 保健看護学部入学試験に係る追試験について

第2回

開催日時：令和3年10月11日（水）17：30

- 議 事：1. 成績開示について
2. その他

FD委員会

第1回

開催日時：令和3年4月21日（水）13：30

- 議 事：1. 副委員長の選出について
2. 令和3年度計画について
3. その他

第2回

開催日時：令和3年7月28日（水）11：00

- 議 事：1. 職位別意見交換会について
2. 教員による相互授業参観について
3. 小泉感染制御部次長講義アンケートについて
4. その他

第3回

開催日時：令和4年2月9日（水）16：00

- 議 事：1. 教員による相互授業参観の前期集計結果について
2. 臨床研究センター下川教授による統計セミナーアンケート結果について
3. 令和3年度FD活動に関するアンケート結果について
4. 「国際交流のあり方について職位別意見交換会」の進め方について
5. その他

第4回

開催日時：令和4年3月9日（水）16：00

- 議 事：1. 教員による相互授業参観の後期集計結果について
2. 令和3年度FD活動に関するアンケート結果について
3. 「国際交流のあり方について職位別意見交換会」の記録について
4. 令和3年度臨床研究センター出前研究相談について
5. 来年度に向けての申し送り事項について

FD委員会名簿

委 員 長—森岡 郁晴

副委員長—山口 雅子

委 員—岡本 恭子、橋爪 洋、山本 明弘、狗巻 見和、上田 伊津代、米島 望
田尻 雅也

開催したFD一覧

第1回

開催日時：令和3年5月7日（金）13：00

演 題：新型コロナウイルス感染症対策について

演 者：保健看護学部長 森岡 郁晴

第2回

開催日時：令和3年6月2日（水）13：00

演 題：新型コロナウイルス感染症対策について

演 者：保健看護学部長 森岡 郁晴

第3回

開催日時：令和3年7月7日（水）13：00

演 題：ワクチン接種後の対策（変異型を含めて）

講 師：感染制御部 次長 小泉 祐介

第4回

開催日時：令和3年8月4日（水）10：30

演 題：若手研究者のための科研費セミナー

講 師：URA 学長特命教授 倉石 泰

第5回

開催日時：令和3年8月4日（水）13：00

演 題：How to get 科研費セミナー

講 師：保健看護学部 教授 橋爪 洋、保健看護学部 講師 檜葉 雅人
URA 学長特命教授 倉石 泰

第6回

開催日時：令和3年9月29日（水）17：00

演 題：職位別意見交換会「コロナ禍の教育とコロナ後の教育について」

第7回

開催日時：令和3年10月6日（水）13：00

演 題：腰痛疫学の最近の進歩-Wakayama Spine Study を中心に

演 者：保健看護学部 教授 橋爪 洋

演 題：文献レビュー 重症心身障害児の成長に伴う身体変化による治療をめぐる意思決定支援

演 者：保健看護学部 講師 狗巻 見和

第8回

開催日時：令和3年10月29日（金）17：00

演 題：気遣いと心遣いー私の臨床活動からー

講 師：高野山大学文学部 教授 森崎 雅好

第9回

開催日時：令和3年11月10日（水）13：00

演 題：オンライン授業のスキルアップ

講 師：東京大学医学部附属病院22世紀医療センター

運動器疼痛メディカルリサーチ&マネジメント講座 特任准教授 岡 敬之

第10回

開催日時：令和3年12月1日（水）13：30

演 題：教育と臨床の協働による臨床実習指導者育成のための研修会の検討

演 者：保健看護学部 助教 米島 望

第11回

開催日時：令和4年1月5日（水）13：00

演 題：在宅で生活する重症心身障がいの子どもの絵本の読み聞かせによる親子のストレス評価

演 者：保健看護学部 助教 羽畑 正孝

第12回

開催日時：令和4年2月2日（水）13：00

演 題：実習指導者との協働によるシミュレーション教育を取り入れた学内演習プログラムの開発

演 者：保健看護学部 講師 山口 昌子

演 題：アクションリサーチにより作成した小児看護技術に関する資料の評価と新たな資料の開発

演 者：保健看護学部 助教 羽畑 正孝

第13回

開催日時：令和4年3月2日（水）13：00

演 題：職位別意見交換会「国際交流のあり方について」

看護統計セミナー

開催日時：第1回 令和3年7月30日（金）17：00

第2回 令和3年8月30日（月）16：30

第3回 令和3年9月27日（月）17：00

第4回 令和3年10月28日（木）17：00

講 師：臨床研究センター 教授 下川敏雄

発 行 し た 冊 子

保健看護学部では、令和３年度に以下の１冊の冊子（ＣＤ）を発行しました。

令和３年度保健看護研究Ⅱ報告書

令和３年度４年生による保健看護研究Ⅱの報告書（２０編）です。

発行年月：令和４年３月

編 集：和歌山県立医科大学保健看護学部

発 行 者：和歌山県立医科大学保健看護学部

保健看護研究Ⅱ報告書は、平成１６年の４年制大学への移行以来、毎年刊行されています。

令和３年度報告書は、保健看護学部第１５期生がほぼ１年間かけて取り組んだ報告書・論文を取りまとめたものであります。研究の過程において、自ら感じた疑問や問題をこれまで学んだ知識を活かして論理的な思考で解決方法を考えること、あるいは自ら主体的に取り組んでいることがわかる報告書です。（令和元年度から紙媒体でなくＣＤでの発行となりました。）

保健看護学部 学生自主カリキュラムの取組み

和歌山県の神社仏閣を巡り、産育儀礼を知る

和歌山県立医科大学 保健看護学部 4 年

井戸涼葉 佐藤理子 中野紗彩 古川千菜美

指導教員：山口雅子

1. 活動の目的

産育儀礼とは、①安産祈願②初宮参り③七五三のことを言う¹⁾が、これが神社仏閣で行われる理由や、古来から医療がすすんでいる現在においても、妊産婦・子育て中の親だけでなくお産に関わる職種の人が神社仏閣に参拝する理由を、神社仏閣の由来や神主さん・僧侶さんからの話から学ぶ。

2. 活動の方法

「和歌山県 安産祈願」と検索して挙げた神社を実際に訪問したほか、神主さん・住職さんへの対面・紙面でのインタビューの実施、通過儀礼や神社の歴史などの文献を用いた。

3. 活動の日程

日程	場所と内容
9 月 1 6 日 (木)	【午前】 熊野本宮大社への訪問 【午後】 湯川子安神社への訪問 安養寺への訪問
1 0 月 1 日 (金)	【午前】 慈尊院への訪問と住職さんへのインタビュー 【午後】 玉津島・塩竈神社への訪問と神主さんへのインタビュー 淡嶋神社への訪問
1 0 月 3 1 日 (日) ~ 1 1 月 1 日 (月)	【1 日 目】 乳大師への訪問 阿須賀神社への訪問 【2 日 目】 熊野那智大社への訪問

4. 安産祈願とは²⁾

安産祈願とは産育儀礼の一つで、妊娠 5 か月目の最初の戌の日に腹帯を巻き、安産を祈願する風習の事である。

腹帯とは、昔は妊婦の実家が贈るものとされていたが、現在はそのような決まりごとはなく、自分で買

ったり神社・お寺で用意されている場合もある。

戌の日は12日に1度やってくるが、安産祈願が戌の日に行われる理由は、戌（犬）は多産でありながらお産が軽いことから、「安産の守り神」として親しまれているからである。

5. 結果



①熊野本宮大社⁵⁾

熊野本宮大社は熊野三山（本宮・新宮・那智）の首位を占め、全国にある熊野神社の総本山である。夫須美大神、速玉大神、家津御子大神、天照大神、結びの神・祓いの神が祀られているため、「大願成就」の神社として多くの人が訪れている。

②湯川子安神社⁶⁾

湯川子安神社は、湯川氏が支配していたときに邸の一隅に明神社を祀っていたが、静岡県元官幣大社浅間神社のご分霊を亀山城内の明神社と共に勧請し、城主の湯川直春公が息女の安産を御祈願され、無事安産した。その後火事で全焼したものの現在の地に再興して子安神社を創設され、たくさんの方が参拝している。



祭神は木花咲耶姫命（このはなさくやひめのみこと）で、安産の神様として篤く信仰されて、安産祈願は戌の日に行われている。

代表の小池さんにインタビューをさせて頂いた。

・年間どのくらいの方が来られるか、多い時期はいつか：年間 400 組ほどが安産祈願に訪れる。時期は初夏から秋にかけてが多い。湯川子安神社では、戌の日にご祈禱を行っているが、特に大安と重なる戌の日に多い。

・どこから来られる方が多いか：妊婦本人が参拝の場合は和歌山県内（特に御坊市周辺）から来られる方が多く、ご家族が参拝される場合は和歌山県内だけでなく他府県から来られる方が多い。旦那さんが外国人の場合もある。

・安産祈願に来られる方の年齢層と男女比：年齢層は平均 28 歳（初産）で、10 代～40 代まで幅広く来られる。男性は付き添いで来られている。産婦人科の方や助産師がお参りに来られることもたまにある。



・コロナ禍でのご祈禱の人数の変化と以前と比べて変化したこと：新型コロナウイルス感染症流行下でもお参りに来られる方の人数に変化はみられていない。しかし、少子化の影響で昔と比べて約 20%減少している。

・行っているご祈禱の内容：湯川子安神社で行っているご祈禱は、安産祈願・御礼詣り・初宮詣り・七五三詣りである。

③安養寺

安養寺は 1200 年続くお寺で、弘法大師が開眼した不動明王・薬師如来・地藏菩薩が鎮座されており、子授け鬼子母神には多くの参拝者がある。また、奥の院は有田一の桜の名所で、本尊、妙見菩薩が鎮座され、開運・縁切りなど修行場として朝早くより参拝に来られる⁷⁾。

④慈尊院

弘仁 7 年 (816 年)、弘法大師は高野参詣の要所であるこの地に、表玄関として伽藍を創設したのが慈尊院の始まり。弘法大師の御母公が香川県から大師を尋ねようとしたが、大師は自ら女人禁制としていたため、山麓にある慈尊院へ迎えられた。そしてこの寺に母公を留ませ、高野山から月に 9 回訪ねられたことから、九度山町という町名がついたと言われている。



その後、承和 2 年 (835 年) に母公は 83 歳で亡くなった。大師は本尊の弥勒仏を篤く崇拝していた母公のために弥勒堂を建て、弥勒仏坐像を安置した。慈尊とは弥勒菩薩の別名で、母公が弥勒菩薩に化身されたとの信仰により、これより表向きに「慈尊院」と呼ばれるようになった。

慈尊院は、信仰の功德により本尊弥勒菩薩に化身された弘法大師の母公が眠る寺であり、また女性の高野山詣りは慈尊院までとの戒律から、“女人高野”と称されるようになった。現在でも、子授け・安産・育児や授乳などを願って、乳房型や絵馬を奉納し、長寿や良縁・病氣平癒を祈る女性の姿がみられる。

現在の安産祈願について、住職の安念清邦さんにお話を伺った。

- ・年間どのくらいの方が来られるか、多い時期はいつか：慈尊院には年間 100 人ほどが安産祈願に訪れ、特にお正月と 4 月に多い。
- ・どこから来られる方が多いか：和歌山県内から訪れる人が多いが、他のお参りを含めると全国から訪れている。
- ・安産祈願に来られる方の年齢層と男女比：年齢層は 30 歳前後が多く、男女比は女性：男性＝7：3 である。
- ・コロナ禍でのご祈祷の人数の変化と以前と比べて変化したこと：新型コロナウイルス感染症流行下でも訪れる人の人数にあまり変化はみられていない。
- ・行っているご祈祷の内容：慈尊院は乳がんの治癒や授乳を願って乳型の絵馬を奉納するため、毎年ピンクリボンの会で女優が講演に来られる（一昨年と昨年は中止）。

さらに、慈尊院の近くにお住まいで長年にわたり九度山町の母子保健推進員をされている狭間歌子さんにお話を聞かせて頂いた。母子保健推進員とは、安心して妊娠・出産・育児ができるよう、保健所や市町村の母子保健事業に積極的に協力し、保健所や市町村が行う各種サービスを妊婦や赤ちゃんを育てる保護者等に紹介したり、身近な相談者として活動するボランティアである。九度山町は母子保健推進員の導入が早く、日本だけでなく海外からも視察に訪れる人が多かったそう。また、妊婦さんと一緒に慈尊院に安産祈願のお参りに行くこともあったと仰っていた。

⑤玉津島神社・塩竈神社



塩竈神社は全国に13か所あり、和歌山県は9番目の神社である。和歌山県の塩竈神社の御祭神は鹽槌翁尊、祓戸大神四座である。「輿の窟」と呼ばれた岩穴に鎮座し、海の幸の神・安産・子授けの神として親しまれている。

鹽槌翁尊は、古事記の「海幸彦・山幸彦」の神話に登場する。兄の海幸彦から借りた釣り針を失くし兄の怒りにふれて困っている弟の山幸彦を助け、山幸彦は鹽槌翁尊の教えのままに龍宮の豊玉姫をお嫁にもらい、安産によって子どもを授かったことから、安産守護の神としても一般の厚い信仰を得ている。



- ・年間どのくらいの方が来られるか、多い時期はいつか：年間で訪れる人の数は具体的には不明ではあるが、たくさんの方が来られている。季節の偏りはあまりないが、戌の日が多い。
- ・どこから来られる方が多いか：和歌山県の方が多いが、近畿や遠方の方も来られることがある。
- ・安産祈願に来られる方の年齢層と男女比：年齢層は30代が多く、男女比は女性が多い（男性は後ろで待っている）。ただ、コロナ禍で妊婦さん本人がお参りするのを控え、旦那さんやご家族が来られることもある。
- ・コロナ禍でのご祈祷の人数の変化と以前と比べて変化したこと：新型コロナウイルス流行下でお参りに来られる方の人数に変化はないが、10～20年前と比較すると減少傾向にあり、少子化の影響があるのでは？
- ・行っているご祈祷の内容：塩竈神社では安産祈願、玉津島神社では七五三詣りを行っている。

⑥淡嶋神社^{4) 8)}



昔、神功皇后が三韓出兵からお帰りの際、瀬戸の海上で激しい嵐に出会った。沈みそうになる船の中で神に祈りを捧げるとお告げがあり、その通りに船を進めるとひとつの島にたどり着き、その島が友ヶ島である。その島には少彦名命と大己貴命が祀られていて、皇后さまは助けてくれたお礼の気持ちを込めて、持ち帰ってきた宝物をお供えになった。その後何年か経ち、神功皇后の孫にあたられる仁徳天皇が友ヶ島に狩りに来られ、お社を対岸の加太に移され、ご社殿をお建てになったのが加太淡嶋神社の起こりとされている。

御祭神は少彦名命、大己貴命、息長足姫命である。少彦名命は医薬の神様で、特に女性の病気回復や安産・子授けなどに霊驗あらたかと言われている。

⑦乳大師⁹⁾



乳大師は、岩陰に鍾乳石が垂れ下がっている形状を乳房に見立てており、その鍾乳石から水が滴っていることから、触れて祈ると乳の病気に効果がある・乳汁分泌が良くなるとされている。



実際登ったが、道に案内板などはなく陰しい道だったため途中で下山した。近くにある道の駅の方や通りかかった地元の方に聞いてみたところ、「乳大師の看板は知っているがどんな所かは知らない」「登りに来た人は見たことがない」と仰っていた。

乳大師について、藤井弘章先生（近畿大学文芸学部）にメールでお話を伺った。

先生は20年前に現地に行って調査を行ったそうで、

- ・この乳大師には乳の出ない女性がお参りをする。
- ・地元よりも他の地域からのお参りが多い。
- ・明治時代まではお祭りが行われていた。
- ・鍾乳石を搔いて持って帰る人もいた。

ということが歴史研究資料にも記載されている¹⁰⁾ことを教えていただいた。

⑧阿須賀神社¹¹⁾



阿須賀神社は主祭神が事解男命とし、このほか熊野三山の神々を祀っている。創立時期は不明であるが、境内からは弥生～古墳時代の集落遺跡や祭祀遺物が発見されており、古代から蓬萊山に対する信仰があったことがわかる。

ご神体である蓬萊山麓からは熊野の神々を仏として表現した多くの御正体が発見されており、神道と仏教が融合した日本独特の宗教観を知ることができる。熊野宗教の重要な拠点の一つであり、境内には多くの文化財が残されている。2016年に世界遺産に追加登録された。

新宮市医療センターで助産師をされている山本恵さんによれば、地元の人も助産師さんも子授け・安産祈願のために阿須賀神社を訪れているようであった。

⑨熊野那智大社¹²⁾

熊野那智大社は御祭神は熊野夫須美大神で、日本で最初の女神である「伊弉冉命」を主神とし十二柱の神々をお祀りし、全国に鎮座する約四千余社の熊野神社の御本社であり、熊野三山の一社である。

那智山の信仰の始まりは、神倭磐余彦命が那智の瀧を神として祀られたことに始まり、仁徳天皇の御代にここにお社を移した。

御祭神の夫須美神は「むすび」＝「結」で願望成就の信仰であり、一時期「結宮」と呼ばれ、人の縁だけでなく諸々の願いを結ぶ宮として崇められた。



6. 考察

明治時代以前にあっては乳児死亡率が非常に高く、半数あるいはそれ以上が亡くなっていた。古い医学では子どもたちの生命を守る力は弱く、呪術的なことや信仰によって子ども達の生命を守ろうとした³⁾とされている。安産祈願を訪れる人が戌の日に多いということからも、言い伝えやご利益にあやかろうという思いが読み取れる。さらにインタビューより、命を授かるとは医学では説明のつかないことがあることから“神頼み”に繋がり、それが現代にも続いているのではないかと考えられる。

これらの結果は、私たちが立てた「昔は現在と比べて子どもの死亡率が高かったため、神や仏の力を借りようとしていたのではないか」という仮説と相違ないものであった。

また医療技術の進歩により、現代の乳児死亡率（出生千対1.8）¹³⁾は昭和14年までの100以上と比較して著しく減少している¹⁴⁾ことに加えて、新型コロナウイルス感染症流行下でもご祈祷を訪れる人数に変化がみられないことから、出産に向けての精神的な支えとして安産祈願を行っているのではないかと考えられる。

7. まとめ

今回は日本の産育儀礼について焦点を当てて研究を行ったが、将来私たちが働くうえで関わるのは日本人だけではないため、世界ではどのような習慣があるのかも興味が湧いた。

自主カリキュラムを通して、普段とは違った角度から神社仏閣を訪問し、神主さん・住職さん・母子保健推進員さんなどからも様々なお話を聞くことができ、母子保健の座学では触れることの少ない部分を学ぶことができた。

8. 謝辞

本研究において、インタビューにお答えいただいた方々、ご指導頂いた先生に厚く御礼申し上げます。

9. 参考文献

- 1) 田口祐子：現代の産育儀礼と厄年観, 2015年3月
- 2) 戌の日とは, アカチャンホンポ 最終アクセス日 2022年2月25日
<https://www.akachan.jp/maternity/inunohicalendar/>
- 3) 宮本常一：日本の人生行事 人の一生と通過儀礼, 八坂書房, 2016年7月11日
- 4) 有安美加：アワシマ信仰 女人救済と海の修験道, 岩田書院, 2015年8月
- 5) 熊野本宮大社 最終アクセス日 2022年2月22日
<http://www.hongutaisha.jp/>
- 6) 湯川子安神社 最終アクセス日 2022年2月22日
<https://itp.ne.jp/info/303140740183741630/>
- 7) 安養寺 最終アクセス日 2022年3月7日
<http://www.arida-net.ne.jp/~anyoji>
- 8) 淡嶋神社 最終アクセス日 2022年2月22日

<http://www.kada.jp/awashima/>

9) 乳大師 最終アクセス日 2022 年 2 月 23 日

<https://www.mikumano.net/meguri/titidaisisiko.html>

1 0) 熊野川町史研究資料その 12「熊野川町の民俗 地域の行事編」, P41, 103, 平成 15 年 3 月 31 日発行

1 1) 阿須賀神社 最終アクセス日 2022 年 2 月 22 日

<https://www.shinguu.jp/spots/detail/A0003>

1 2) 熊野那智大社 最終アクセス日 2022 年 2 月 22 日

<https://kumanonachitaisha.or.jp/>

1 3) 令和 2 年 (2020) 人口動態統計 (確定数) の概況, 厚生労働省 最終アクセス日 2022 年 2 月 25 日

https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei20/dl/15_all.pdf

1 4) 人口動態統計 100 年の年次推移, 厚生労働省 最終アクセス日 2022 年 3 月 6 日

https://www.mhlw.go.jp/www1/toukei/10nengai_8/hyakunen.html

地域の高齢者に対するアドバンス・ケア・プランニング（ACP）の普及と啓発

和歌山県立医科大学 保健看護学部 4年生

尾中 杏樺 新谷 菜々 玉井 大華 土山 唯

指導教員 岡本 光代

I. はじめに

近年の人口の高齢化と多死社会の進展に伴い、住み慣れた地域で最期まで暮らせる仕組みである「地域包括ケア」の構築に対応する必要性が高まり、医療の選択肢や個人の価値観が多様化してきている。このことから、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の概念の地域への普及が重要となってきた。ACPとは、高齢者自身がどのように生き、どのような最期を迎えたいかという意味を明らかにし、その意思に基づき家族や医療・介護従事者と共に話し合う機会を日頃から持つことである。厚生労働省では、人生の最終段階を迎えた本人や家族などと医療従事者が最善の医療ケアを作り上げるためのプロセスを示すものとして「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」を策定し、推進している。

公衆衛生看護実習の実習地である紀美野町は、人口の高齢化が著しく進んでおり、特に長谷毛原地区は中心地から車で40分かかることから、医療や介護サービスが不足しがちである。そのため、長谷毛原診療所や保健師らが連携して、住民の医療や介護、福祉サービスが行き届くよう取り組まれている。一方、高齢者は、自分の望む最期を迎えたいと思いつつも、最期について話すことをためらい、家族や医療・介護従事者と話し合う機会はほとんどない。また、ACPの普及啓発は、保健師や医師、看護師であっても難しく十分に実施できていないという現状を公衆衛生看護実習で捉えた。

以上のことから、紀美野町長谷毛原地区住民が、どのような生活を望み、最期を迎えたいと思っているか、医療や保健福祉に対する思いや希望など、医療や生活のニーズを把握するとともに、高齢者が健康なうちにACPを実践する方法を検討する必要がある。また、高齢者が多い和歌山県の医療現場においてACPを実践するためには、学生のうちからACPについて学び、取り組む経験がとても重要である。

II. 目的

長谷毛原地域の高齢者の人生最終段階における医療や生活ニーズを把握し、ACPの普及啓発のあり方とその方法を学び、実践する能力を養う。

III. 方法

1) 時期：令和3年9月～12月

2) 場所：和歌山県立医科大学保健看護学部（学内）

紀美野町長谷毛原診療所・長谷毛原集会所・紀美野町総合福祉センター

3) 内容

①診療所の医師と看護師との勉強会 3回（Zoom）

（対象）保健看護学部学生、紀美野町・北山村の保健師、診療所の医師や看護師

(内容) 保健師や診療所の医師・看護師とのACPに関する勉強会

ACP普及啓発プログラム(健康教室)の企画検討、実施報告

②長谷毛原地区踏査、打ち合わせ 1回

③ACP普及啓発プログラム(健康教室)実施 1回

(対象) 毛原宮サロン参加者

(場所) 長谷毛原健康センター

(内容) 人生の最終段階における医療や生活について意思決定することの重要性を
伝え、どのような生活や医療を希望するか参加者と対話しながら検討する

IV. 結果

1. 診療所の医師と看護師との勉強会

第1回 10月13日(水)

「へき地に住む高齢者の暮らしと健康」

紀美野町と北山村の保健師、診療所医師・看護師から地域の現状や課題をお聞きし、ディスカッションを行った。

参加者:学生5名、岡本先生、長谷毛原診療所医師・看護師、紀美野町保健師1名、北山村保健師2名

<現状・事例検討>

○紀美野町の現状 (2年前のデータ)

紀美野町の総人口は8,759人、高齢化率44.6%、被保険者数4,064人、認定者数947人、認定率23.3%である。公共交通機関として1日3本のバスがあるが、交通の便が悪いため、ほとんどの人が自家用車で生活を送っている。長谷毛原地区(町の最東部に位置)は、人口466人(総人口の5.3%)、高齢化率59.07%、65歳以上267人、75歳以上188人、世帯数262世帯(1.78人)の地区である。地域サロンが4か所あり、高齢者の集いの場になっている。また、診療所は他の医療機関と連携して看取りを行っているが、独居が多く、介護保険サービスが不足している。最期まで在宅生活を望む人があるが、介護ケア力の不足のため、最終的には本人の望まないかたちになっている現状にある。本年3月、地区内のデイサービスが閉鎖になった。

○地域の現状・事例

長谷毛原診療所では、外来患者数19.5人/日、訪問件数2.2件/日という診療を行っており、在宅見取りについては国吉・長谷毛原診療所にて年間2件前後を扱っている。地域の在宅看取りに必要なことは、本人や家族の意思、家族のサポートである。しかし、医療費・介護費の制限、介護の担い手がいないこと、地域資源および利用可能なサービスの不足などが課題となっており、高齢夫妻や独居家庭では困難なケースもある。

<人生の最期に至る軌跡>

○老衰

緩やかな経過で身体機能が低下していく。本人の最期について家族と何度も意思確認する機会がある。
そのため、段階的な心の準備が必要である。

○がん終末期

比較的急速な経過であり、今後の症状が予測しやすく準備につながる。
一般的な看取りのイメージは老衰と悪性腫瘍がほとんどであると考えられる。

○心不全・腎不全など慢性臓器障害

イベントごとに段階的に悪化し、イベント発症は予測が難しい部分もある。症状出現時は急に出現する症状に平静を保ちにくく、病院受診につながりやすいため、病院での入院が少なくない。そのため、地域連携が非常に重要であり、本人・家族と意思の確認を繰り返す必要がある。

○突然死

見守る家族は気が動転することが少なくない。予期される場合であっても相当な心の準備がないと自宅での看取りは難しいため、疾患や進行度が分かっているならば、予測される変化をより具体的に家族に伝えることが重要である。

○コロナ禍における特殊な状況

高齢者やハイリスク者の高い死亡率や入院中の完全な隔離があり、新型コロナウイルスの流行により健康か否かを問わず、死を意識するきっかけになった。また、医療職においても ACP の取り組みが急務だと意識するようになった。
人生の最終段階で医療・療養を受けたい場所は、疾患によって異なり、ACP も一概に一つのゴールではない。実際の死亡場所については医療機関が多い現状であるが、できる限り希望する場所で最期を迎えられるよう支援していく必要がある。

<モシバナゲームを通しての学び>

(モシバナゲームとは、深刻な病気にかかり残りの人生が短くなった時を想定して自分の価値観や最も重要なことを話し合い共有するカードゲームのこと。)

学びとして、医療介護資源が限られているため、独居者の多い地域では、在宅見取りが容易でないと考えている人が多いという現状を知ることができた。また、死生観だけでなくその人の生き方や考え方を知る機会となり、今後どのような人生を送りたいと考えているかを意識して確認していくこと、繰り返し尋ねていくことが重要であると気づいた。

<診療所での看取りについて>

Q) 本人の最期を迎えるにあたり、家族への説明の際に意識していたことは？

A) 事例において、本人の急変時に家族がとても焦ってしまった。この機会に急変時や本人の最期についての話を今度一回考えてみることを話の流れの中で提案し、看護師主体に相談する機会を持つと試みた。多くを話しすぎず、オープンクエスチョンで尋ね、急変時をどのように考えているのか家族に

聞き、診療所でできることを伝えた。

また、良い看取りができていたか、ベストであったか、もっと援助できたのではないかなど、振り返りで疑問に思うこと、答えが出ないことが多い。地域での看取りは、家族の関係性が大きく関わるため、家族の在り方によって看取りの在り方が変わる。

Q) 地域のデイサービスが閉鎖したことで困難になったことは？

A) 人と話し交流する機会が減少し、口腔衛生状態・機能が低下、栄養面の状態悪化、精神面においても影響が出ている人もいる。デイサービスが遠くなったことで、時間がかかりかかるため、高齢者の負担になる。行き帰りが苦痛、準備が大変などの問題がある。また、地区を離れるため、環境の変化についていくのが大変という声があった。コロナ禍の影響もあり、体重減少、体力の低下の訴えが多く、その背景には、地域サロンやデイサービスなど外への活動が減少したことがあると考えられる。以前はデイサービスでの様子が把握できていたが、現在は難しくなったため、様子が分からなくなり、情報不足が現状であり、介入するタイミングが掴みにくくなった。そのため、地域の中での資源・助け合い・保健医療ケアシステムが重要である。

第2回 11月10日（水）

「へき地における ACP の取り組み」

北山村の保健師から、ACP の取り組みの現状をお聞きし、ディスカッションを行った。

参加者：学生 5 名、岡本先生、長谷毛原診療所医師・看護師、紀美野町 2 名

北山村保健師 1 名、サポートセンター看護師

<北山村で行っている ACP>

○エンディングフォト撮影会を実施した。

参加者は 21 名、自然の中で好きなポーズ・服装で、笑顔いっぱいの写真撮影を行った。

エンディングフォトの利点として、遺影に比べると抵抗感がないから、参加者が楽しめた。

この企画を行った経緯として亡くなられた家族から福祉課に写真がないか、撮ってほしいという希望があったため、事前に撮影しておく必要を感じ、事業化した。

こだわりとして、最後の写真だからプロのカメラマンに依頼（予算などの問題点あり）

スタッフに美容師と化粧品会社の人がいたため、髪の設定、化粧を実施した。

参加者の反応は好評であったため、今年も実施したいがコロナ禍で実施は難しい。

○有田圏域で作成された「もしものためのノート」を参考に、北山村独自のエンディングノートを作成中である。

○生き生きサロン健康教室を行っているので、ACP 普及啓発事業に発展させたいが、コロナ禍で実施が難しい。

○ACP を推進するうえで連携体制として、ケア会議を月 2 回（8：00～8：30）実施している。参加者は保健師、看護師、医師、ケアマネ、など 10 人ぐらい。事前に検討事例をまとめて、医療機関、保健、福祉で検討し、意見交換、情報共有している。できることや関わりの方針を確認し合うことが重要だと感じている。

第3回 12月15日（水）

「紀美野町における ACP の取り組み」

11月23日(火)に毛原宮サロンで実施した健康教育について発表した。また、グループワークで話し合った内容・アンケート結果・参加者からの感想・関係者からの声を報告し、健康教室を振り返り・全体的な学びを確認した。

参加者：学生5名、岡本先生、辻本先生、長谷毛原診療所医師・看護師、紀美野町保健師2名、北山村保健師2名、サポートセンター看護師

2. 長谷毛原地区踏査

健康教育実施前に、長谷毛原地域を訪問し、地域サロン代表者や保健師、診療所の医師、看護師と打ち合わせを行った。

<地域サロン訪問>

- ・サロンへは十数名が参加して楽しんでいることから、サロンは住民同士が集まってコミュニケーションをとる大事な場所であると考えられる。
- ・中心メンバーが周辺住民やサロン参加者にサロン開催日を周知している。参加者は70～80代の高齢者が多く、年相応の物忘れがあるため、手書きのチラシを配布して冷蔵庫など目の付く所に貼っている方もいる。しかし、当日になるとサロンを忘れてしまう場合もあるため電話をかけ、参加を促している。
- ・サロンに参加してもらうことによって参加者の安否確認が行える。サロンに参加している高齢者にとっては他のサロン参加者などに自分のことを気にかけてもらえる存在がいると自覚することで安心感を得られると感じた。
- ・サロン参加者の高齢者が地域住民とつながりを持っていると家族が知ること、家族は頻回に長谷毛原を訪れることができなくても安心できると感じた。

<診療所訪問>

- ・運営について：長谷毛原地区は台風の影響で頻繁に停電することが特徴である。新型コロナウイルスワクチンは温度管理を徹底する必要があり、国吉診療所では冷蔵庫の中に経時的に温度変化を記録できる温度計を設置し、常に冷蔵庫内の温度確認が行えるように工夫されていた。必要最低限の物資や機材は揃っているが、救急車が来るまで30分はかかる。
- ・診療所で利用しているツール：MCS（アプリ）というセキュリティが確保されているツールを利用している。グループを作り、色んな職種が入って書き込んだり、家族も参加することができる。説明が難しいことも写真を送って知らせることができる。
- ・住民の来所手段：徒歩かラクターで来所する方が多い。自力で来ることが難しい人は診療所からの迎え（200円）を利用しており、このサービスを利用する人は固定されている。無理をして車で来所する方もいるため、免許返納を説得してほしいと頼むご家族もいる。
- ・患者の特徴：自分で生活はできるが、服薬管理は難しい人が増えてきている。認知症も多く、身なりが普

段と違うことから気付くこともある。ケアマネが情報を教えてくれることもある。

- ・訪問看護との連携について：保健福祉課とは月 1 回会議をしている。地区担当保健師とは気になる住民の情報管理をし、担当ケアマネとはお互いに連絡しあっている。
- ・他病院との連携について：他病院の地域連携室と診療所医師が連絡をとっている。事前に用意しておかなければならないこともあるため、電話を駆使している。他病院で実施されている会議にも参加して、患者さんが退院する前の状態を知ってサービスが決定される前に意見を言うことで退院した後に、もっとこんなサービスが欲しかったということがないように取り組んでいる。
- ・診療所での看護のやりがいや大変さ：急性期看護を求められることもあるが、生活する上で住民に合った看護も考えることができる。その人の生活にまで入ることになるため、何が必要かを考えることが楽しいと感じている。一方、プレッシャーは凄くあり、特に薬剤調合が大変であり、医師や薬剤師に相談しながら慎重に対応している。

<往診への同行>

- ・対象者の家は山の中で坂道や曲がり道が多く、高齢者は特に移動するのが大変だと感じた。また、コロナが流行する以前は往診に行った医師や看護師におしるこをご馳走するなど、医師や看護師と関わる時間も楽しみにしていた。
- ・足が悪い方や認知症の方がいたが、関係者がそれぞれの状態を把握しているからこそ上手くコミュニケーションが取ることができ、支え合うことができていた。
- ・住民は家族と電話で連絡を取っており、週に 1 回ほど来てくれるから安心できると話されていた。またひ孫が多く、ひ孫の写真を見ることが今の楽しみであった。
- ・買い物は週に 1 回金曜日に移動販売が来てくれるため、助かっていると話されていた。
- ・住民の家を訪れ、体調確認やワクチン接種、薬剤の処方を行っていた。
- ・個人個人の家庭を往診することもあれば、住民同士が定期的に集まっている家庭に訪問することもある。

<学生の学び>

- ・往診の際は医師も看護師も笑顔で話しかけており、場の雰囲気がとても良く感じた。
それはこれまでの関わりの中で良い関係性を築かれてきたからであると思った。また、住民が不安に感じないように、預かれるものは預かっておく、家族に伝えておくねと声を掛けるなど細かな配慮がされていた。そのような小さな配慮が住民の安心感に繋がっているのだと感じた。
- ・一人で暮らしている方が多く、周辺住民との繋がりが重要となる。認知症が進行している方や高齢の方は周囲の仲間存在によって安心した生活を送ることができていると感じた。医師や看護師に対する信頼が厚く、「もう全部先生に任せてるんよ。」「先生に聞いたら安心やわ。」という声が聞かれた。訪問させていただいた場所では 2 月にぜんざいを皆で食べるなど、診療以外にも住民の生活に溶け込んでいることがわかった。僻地に住む住民が安心して生活できる環境として、診療所や訪問看護師、保健師など自分の病状を把握し、ともに健康を目指す存在がいることが大きな役割を果たしていることが考えられる。

3. 健康教室の実施

【日 時】11月23日(火) 9:30～12:00

【場 所】長谷毛原健康センター

【参加者】長谷毛原地区 毛原宮サロン参加者 21名、長谷毛原診療所医師・看護師
紀美野町保健師1名、サポートセンター看護師、岡本先生

【テーマ】人生、これから～皆さんの楽しみや幸せを分かち合いませんか～

【周知方法】毛原宮サロンのリーダーから住民にチラシを配布

【内 容】・受付、血圧測定

- ・パワーポイントを用いて ACP について説明
- ・グループごとで住民との交流
- ・メッセージノートの配布
- ・教室終了後にアンケート実施

【結果】

1) グループワーク（住民との交流）で出た意見

○大切にしていること

「健康であることを大切にしたい」と話される方が多く、中には100歳まで生きることには挑戦している方もおられた。参加者の皆さんが健康のために実施されていることは、毎日の口腔ケア、8千～1万歩のウォーキングなどが挙げられた。男性の参加者の皆さんはゲートボールに参加されている方が多く、「これからも大切にしたい活動である」と話されていた。また、長谷毛原の住民さんは自分達で野菜やお米を作っている方が多く、「自分で栽培した野菜を使って健康的な食事を意識している」と話されていた。その他、子どもの世話にならないことや家族と頻繁に連絡を取るようになっていること、地域での横の繋がりなどを大切にしたいと話される方もおられた。クヨクヨせずに前向きに、楽しく生きることを大切にしたいというような、今後どのような気持ちでいたいかを話される方もおられた。

○これからの人生

ずっと動いていたいから寝たきりにはなりたくない方や、寝たきりにならないために、ゲートボールや運動を継続したり、サロンに来たりしたいと話される方も多く、住民の皆さんには自分なりの健康法があることが分かった。他にも、「老後はどのように生活したらいいのかわからない」、「老後のイメージが難しく、自分がなってみないとわからない」など、自分の老後について不安を感じている方もおられた。「家族に迷惑をかけたくない」、「介護を受けることに抵抗がある」、「自宅で介護を受けるには設備がないから大変そう」、「一人で寝たきりになってしまったら・・・」という思いから、施設に入ることを検討されている方もおられた。

○最期に対する思い

参加者の皆さんに最期に対する思いもお聞きすることができた。家族に迷惑をかけたくないから施設に入ることを検討しているという声もある一方で、家族に迷惑がかかること等を考えなくていいのなら最期は自宅で迎えたいという声もあった。寝たきりになりたくない方や、石に転んでコロッと死にたい、ピンピンコロリが理想だと話される方もおり、苦しまずに最期を迎えたいという方が多いこ

とが分かった。今回の健康教室では、人生について主にお聞きしたが、医療のことについても話すことは抵抗はないと話される方もおられた。この背景には、家族が病気を患ったことをきっかけにお墓のことを家族で話したり、配偶者が亡くなったことで自身の最期について考える機会があったりするからであると考えた。

○自分が亡き後のこと

「息子と一緒に暮らしているが、自分が亡くなった後に1人になるのが可哀想」という声や、「子ども達が外へ出て行ってしまっているため、地域に残ってくれる人がいなくて寂しい」などの声があった。参加者の皆さんはこの町が大好きな方ばかりで、少子高齢化、過疎化していく町の存続についてとても心配されていた。このような町の存続に対する不安があることも、最後のことを考えたくないと感じる原因の1つであると考えた。ACPは1人1人が考えるものであるが、地域全体の課題とは切っても切り離せないものであると学んだ。

2) 健康教室事後アンケート結果

- ・参加者の年齢：60代3名、70代10名、80代7名、90代1名の計21名であり、70代が多かった。
- ・満足度：今回のサロンに参加して良かったかという質問に対し、参加者全員が「良かった」と回答し、満足度は高かった。
- ・「今日みんなで話したことをご家族にも話したいと思うか」の質問に対し、「思う」19名、「少し思う」2名であった。「ノートに書いてみようと思うか」の質問に対し、「思う」13名、「少し思う」8名であった。「医師や看護師ともしもことを話したいと思うか」の質問に対し、「思う」16名、「少し思う」4名、「あまり思わない」1名であった。この結果より、自分の気持ちをノートに書き込むことには抵抗があり、家族や医療スタッフと話すほうがよいと考えられる。

3) 関係者からの意見・感想（診療所の医師・看護師、保健師、その他スタッフ）

- ・住民が話したいことを話し、しっかり学生が聞いていたことが良かった。信頼関係やコミュニケーション力が土台になる。
- ・普段の診療だけでは知ることのできない住民の価値観や考え方、家族間の絆や思いを知ることができて良かった。自身の思いを話す延長線上に自分はどう生きるのか、最終段階の意思決定ができると感じた。
- ・ゲートボールなど住民が楽しみやいきがいとしていることを支えることも大切である。
- ・「地域の人々と話せて良かった」という声があった。今回の取り組みが地域に根付くように、ネットワークを活かして、地域住民が自分を支えてくれる人とACPについて話ができる町にしていきたい。
- ・普段の会話から少しずつ最期への思いを聞き、病気になる前から住民に啓発活動を行っていくことが大切である。生活の場を考えた看護、患者に寄り添った目線で実施できたことは強みであり、今後の活躍を期待している。

- ・地域に入らせて頂く姿勢が住民に伝わり、信頼を得られることに繋がった。保健・福祉・行政の繋がりによって、ACP の普及啓発が進み、地域の施策に発展させることができる。今後もこのネットワークを大切にし、へき地の保健医療に関わっていきたい。



V. まとめ

1) 健康教室について

参加者はそれぞれ会話を楽しみ、共通の関心ある話題には盛り上がり、お互いの意見を聞くことができていた。一方、あまり話されない方もいて、学生だけにそっと話をしてくれることもあった。医療者として対象と関わる際は、それぞれの性格や価値観などにも配慮することが大切である。一人一人と向き合い、対象の生活や背景を理解したコミュニケーションスキル、説明の仕方や声のトーン、話すスピードなどで相手の受け取り方や反応など、場に応じた対応力も今後身に付けていく必要がある。

高齢者の身体的特徴に配慮し、声の大きさや話すスピードに注意し、話し方の工夫を行う必要がある。また、説明を行う際は、住民の反応や表情をよく観察し、適宜理解度の確認を行い、わからないことはないか確認しながら進めていく必要がある。

参加者の反応やアンケート結果から、健康教室が楽しかったという意見や、今後の人生について前向きに捉えていこうとする姿勢がみられ、また、“もしもの時”について家族や医療関係者などに話したいと思うとの回答も多くあり、住民の方が ACP について考えるきっかけになったと考える。今後も継続して、このような話し合いの場をもち、かかりつけの医師や看護師など医療者とも ACP について考えたり、意見交換を行ったりすることが大切である。また、個別支援においては、本人だけでなく家族も交えて、エンディングノート等を活用して継続して話し合う機会を作る必要がある。

グループワークを進めていると、「〇〇さんは家族と暮らしているもんね。」「△△さんは野菜作ってるやん。」等住民同士がお互いのことについてよく知っていることが印象的であった。また、住民同士で、「一緒に運動しよう」、「サロンにもまた来てよ」などと声をかける場面も見られた。このように、住民同士気にかけて合っていること、横の繋がりを大切にされていることが、長谷毛原地区の特徴であり、強みであると感じた。地域サロンでの交流をととても楽しみにされており、人々の交流やつながりが、生きがいとなり、地域サロンは健康や生活の質を高める重要な資源であることが理解できた。この地域サロンが今後も維持、継続するよう支援することも保健師の役割である。

2) ACP の普及啓発について

ACP を普及啓発するにあたり、対象者の希望に沿う個別的な支援を行うことが重要である。そのために、まずは、その人の生活背景や今までの長い人生を反映した価値観や人生の目標に触れて、理解することが大切であると考えた。それは、本人の意思を最後まで尊重するうえでも重要なことである。

長谷毛原地区の住民は、診療所の医師や看護師、保健師をととても頼りにされていて、診療所が地域における重要な役割を担っていることを感じた。日頃から医療者が訪問診療や地域サロンを通して住民の生活に深く入ることで、地域の特徴を捉えたり、対象者の生活背景を理解したりする一助となり、納得のいく医療を提供できると考える。

また、今回の健康教育を通して、家族のことや自分のこと、本人の価値観などを尋ねることが、回りのようでも実は適切な医療・ケアの選択に重要な意味を持っていることを学ぶことができた。参加者の方々にもそのことが伝わり、たくさんの思いや考えを話してくださったのではないかと考えた。本人が価値観を表明するような「医療機器につながれるのはいややな」「最期は自宅でいたいな」というような、ふとした言葉も ACP の始まりであり、そのような何気ない会話から捉えられる本人の気持ちを汲み取ることが大切であると学んだ。また、住民が「残された家族が心配」「地域が衰退していくのが寂しい」といった発言があったように、ACP は本人の問題だけでなく、家族や地域の課題とも切り離せないものであり、地域全体で課題解決に向けて取り組む必要がある。

ACP を地域で普及していくにあたり、今後も地域で暮らす高齢者が自身の最期について気軽に話せる環境づくり、地域住民同士および地域住民と医療者との交流やネットワークを促進していくことが求められる。さらに、地域の在宅看取りに必要なことは、本人や家族の意思、家族の生活や介護のサポートである。へき地で暮らす場合、高齢夫婦や独居の家庭も多く、介護の担い手や地域資源および利用可能なサービス不足が課題である。このことから、ACP の普及啓発をするだけでなく、まず地域の不足している資源の把握など現状を把握し、ヘルスニーズを捉え、地域包括ケアシステムの中で住民や関係者とともに問題を解決、改善していくことが重要であると考えた。そのためには、住民や地域のために取り組もうとする熱意をもち、前向きに実践してみること、住民や関係者間で情報や課題を共有し、ネットワークを構築することが大切であることを学んだ。

最後に、学生自主カリキュラムに応募し、健康教育を企画、実施したことで、チーム医療に必要なコミュニケーションスキルや、関係者相互の信頼関係の構築、学習する姿勢、リーダーシップなど多くを学ぶことができた。今後、病院や市町村で働く際、多職種連携によってよりよい活動ができるよう、今回の経験や学びを活かしていきたい。

今回学生の学習のためにご協力、ご支援くださいました長谷毛原地区住民の皆様、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

VI. 文献

- 1) 厚生労働省, 「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」, 改訂 平成 30 年 3 月

<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10800000-Iseikyoku/0000197721.pdf>

最終閲覧日 : 5 月 31 日

- 2) 本橋豊, 金子善博, 藤田幸司 (2009).

【高齢者のこころの健康と地域社会の創造】

高齢者の 130 こころの健康と地域づくり.

老年精神医学雑誌, 20 (5)

最終閲覧日 : 2021 年 5 月 28 日

- 3) アドバンス・ケア・プランニング (ACP) ―人生会議―

<https://www.tokyo.med.or.jp/citizen/acp> 最終閲覧日 : 2021 年 5 月 25 日

- 4) メッセージノート～人生のゴールまで自分らしく生きるために～

那賀圏域医療と介護の連携推進協議会～家に帰ろう実行委員会～

(那賀医師会、公立那賀病院、訪問看護ステーション代表、介護支援専門員代表、介護保険施設代表、
紀の川市、岩出市、岩出保健所、(医) 共栄会 名手病院 (在宅医療連携拠点事業))

発行日 : 2016 年 2 月 改訂第 2 版発行

最終閲覧日 : 2021 年 5 月 28 日

令和3年度事業実績

薬学部

開催した委員会一覧

FD委員会

第1回

開催日時：令和3年4月22日（木）14：00

- 議 事：1. 令和3年度FD委員会委員長、副委員長の選出
2. 令和3年度FD委員会活動方針とスケジュールについて
3. 学生（入学時）アンケートについて

第2回

開催日時：令和3年5月21日（金）メール会議

- 議 事：1. 6月活動内容の変更について

第3回

開催日時：令和3年6月29日（火）17：30

- 議 事：1. 9、10、11、12月の活動計画

第4回

開催日時：令和3年7月28日（水）17：30

- 議 事：1. 授業評価アンケートについて

第5回

開催日時：令和3年9月14日（火）17：00

- 議 事：1. 授業評価アンケートの結果について
2. 11月のワークショップについて

第6回

開催日時：令和3年10月12日（火）17：00

- 議 事：1. 10月のFDについて
2. 11月のFDについて

第7回

開催日時：令和3年11月16日（火）17：00

- 議 事：1. 11月25日開催のFDワークショップについて

第8回

開催日時：令和4年1月18日（火）17：00

- 議 事：1. ワークショップについて意見交換
2. 1月FDについて
3. 2月FDについて
4. 来年度の予定について

第9回

開催日時：令和4年3月8日（火）15：00

- 議 事：1. 授業評価アンケート結果と公開について
2. 令和4年度FD年間スケジュールについて
3. 担任アンケートについて

FD委員会名簿

委員長—須野 学

副委員長—安原 智久

委員—赤池 昭紀、田中 千晶、山下 琢也、福田 達也、難波 寿明、森 祐紀

開催したFD一覧

第1回

1 開催日時：令和3年5月27日（木） 15：00

演 題：FD員会について、FDとは何かについて

演 者：FD委員長 須野 学

第2回

開催日時：令和3年6月24日（木） 15：00

演 題：薬学部入学に関するアンケート調査結果について

演 者：FD委員長 須野 学

第3回

開催日時：令和3年7月29日（木） 15：00

演 題：薬学教育評価機構による薬学教育第三者評価について

演 者：薬学部副学部長 平田 収正

第4回

開催日時：令和3年9月30日（木） 15：00

演 題：成績評価について

演 者：FD委員長 須野 学

第5回

開催日時：令和3年10月28日（木） 15：00

演 題：薬学教育モデル・コアカリキュラムの改訂について及び医療人養成のための薬学教育カリキュラムの在り方について

演 者：薬学部副学部長 平田 収正

第6回

開催日時：令和3年11月25日（木） 15：00

演 題：和医大薬学部の発展、教育と研究のためにー
ーKJ法を用いたグループワーク、発表

参 加：薬学部教職員（教員26名/31名、事務5名/10名）

第7回

開催日時：令和4年1月27日（木） 15：00

演 題：薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会について

演 者：薬学部副学部長 赤池 昭紀

感染症医療人材養成事業

(文部科学省 令和2年度第3次補正予算)

「感染症医療人材養成事業」への取組み

●「感染症医療人材養成事業」とは ～文部科学省 HP より～

【概要】

(現状・課題)

○ 今般の新型コロナウイルス等、感染症対応において、院内感染を防止しながら持続的に高度医療を提供することが求められることから、感染症部門に留まらず、医療に従事するあらゆる職種において、感染症及び感染症医療に関する知識・スキルを向上させる必要があるという教訓が得られた。

○ 医学部生等に対しては現在、感染症に関する一般的な概要等の教育は行われているが、今後は感染症の診断や感染症の特色を踏まえた対処法等、より専門的な教育・実習を教育カリキュラムに取り入れ、感染症に関する高度な知識を身につけた医療人材の養成が必要である。

(対応)

○ 感染症の診断や感染症の特色を踏まえた対処法等に関する教育プログラムを新たに導入し、その一環として、新たな教育の課程で必要となる医療用シミュレータや音声・映像録画機器等の実習用周辺機器を整備し、感染症に関するより高度な知識を養う。

【支援の考え方】

令和3年度から感染症を意識した教育カリキュラムを実施できるよう、今年度中に教育・実習体制を整備する大学に対し必要となる機材や実習に係る人材費などを支援

・ 感染症医療を意識した教育カリキュラムの導入が図られる大学：30 大学

・ 1.25 億円 × 30 大学(国公立) = 37.5 億円

●本校の取り組み

【補助事業の目的・必要性】

新型感染症（特に COVID-19）では、呼吸器以外に脳や心臓などにも多臓器障害が出現するなどこれまでの感染症の対応とかなり異なる。そのため新型感染症患者の知識や技能修得は、学生の時期から早期から行う必要があり、疾患の診断・治療を迅速かつ適切に行える医療従事者の育成が急務である。

本学では、医学部医学科の学生においては、1～4年生のカリキュラムに新規感染症を想定した講義を新たに追加し、4～6年生では臨床実習前および臨床実習中に感染防御や感染症患者の全身管理の技能習得を行う。保健看護学部学生においても、感染症についての講義および実習での感染防御、感染症患者への演習を行う。附属病院に所属する研修医や看護師さらに臨床検査技師、臨床工学技士、理学療法士などコメディカルにも能率的に重症感染症患者対応できる能力を教授する必要がある。特に対象患者が感染症であるため、実際の症例での技術習得が困難であり、各種シミュレータや ICT を活用した方法が必要となる。

【本年度の補助事業実施計画】

- ① COVID-19 感染者における心血管病は多彩で複雑であり、ST 上昇を伴う疾患は ST-Segment Elevation Myocardial Infarction(STEMI)のみならず、心筋炎、たこつぼ心筋症、冠攣縮性狭心症あるいは原因のはっきりしない心筋障害がある。本年度は、緊急性のある心病変を心臓シミュレータであるイチローを用いて再現し、臨床実習で診察法を学ばせる。
- ② 本学の SP(Simulated Patient)と共同して COVID-19 感染者患者のシナリオを作成し、医療面接の手技を学ぶ。
- ③ 電子端末の iPad で本学救急外来を受診した COVID-19 感染者の診察や治療の過程を撮影し、ポータブル型合成収録ライブエンコーダで動画作成する。この画像を OSCE 研修室 AV システムを用いて、OSCE 研修室に配信し、救急対応の仕方を StudentDoctor に指導する。
- ④ 保健看護学部スキルラボにて、OSCE 研修室 AV システムを用いて医学部から配信された動画をもとに COVID-19 の病態や治療法を学ぶ。
- ⑤ N95 マスクやガウンを実際に着用し吸引シミュレータ Q ちゃんや採血・静脈シミュレータシンジョーIIIにて COVID-19 感染者からの採血方法を学ぶ。
- ⑥ 保健看護学部スキルラボのフィジカルアセスメントモデル フィジコや万能型看護実習モデル八重を用いて COVID-19 感染者のフィジカルアセスメントを看護学生に行う。
- ⑦ ナーシングアン+ASL5000 を用いて人工呼吸器を装着した COVID-19 感染者の病態を再現し患者ケアの手技を学ぶ。
- ⑧ 現有の乳児シミュレータを保育器インキュ iSpo2 付に入れて、保育器に隔離された新生児の観察とケアのシミュレーション教育を実施する。

- ⑨ レサシアンシミュレータ Plus+SimPad Plus を用いて、COVID-19 感染者の各種病態を再現し救急全身管理の方法を ICU 勤務前、勤務中に学習する。
- ⑩ OSCE 研修室 AV システムを用いて、感染制御部の感染症専門医が定期的にリアルタイム、オンデマンドにて配信する感染症に関する講義を視聴し、新しい感染症専門医の養成に努める。
- ⑪ CVC 穿刺挿入シミュレータ II や末梢挿入中心静脈カテーテル PICC シミュレータを用いて重症 COVID-19 感染者への中心動脈確保の練習する医師の介助方法を学習する。
- ⑫ 院内の臨床検査技師を対象に鼻腔・咽頭拭い液採取モデルを用いて全員最低 1 度は PCR 検体採取の方法を体験する。
- ⑬ OSCE 研修室 AV システムを用いて、医学部附属病院薬剤師による個別化医療の講義を薬学部 OSCE 研修室と双方向通信で行う。

●令和2年度第3次補正予算「感染症医療人材養成事業」の選定結果について

令和3年3月15日 文部科学省 高等教育局医学教育課より

1. 公募の状況について 医学部医学科を有する81大学を対象に公募を行ったところ、
78大学（※）からの応募がありました。

※ 内訳 国立：41大学、公立：7大学、私立：30大学

2. 選定結果について 文部科学省において、有識者の意見を踏まえた審査を実施し、
以下の38大学を選定しました。

【国立（21大学）】

秋田大学、群馬大学、千葉大学、東京大学、新潟大学、富山大学、金沢大学、福井大学、信州大学、
浜松医科大学、三重大学、岡山大学、広島大学、山口大学、徳島大学、
愛媛大学、九州大学、佐賀大学、長崎大学、熊本大学、鹿児島大学

【公立（5大学）】

名古屋市立大学、京都府立医科大学、大阪市立大学、
奈良県立医科大学、和歌山県立医科大学

【私立（12大学）】

岩手医科大学、埼玉医科大学、杏林大学、順天堂大学、昭和大学、帝京大学、
東京慈恵会医科大学、東邦大学、北里大学、金沢医科大学、愛知医科大学、福岡大学

●感染症医療人材育成事業 購入シミュレータ



血圧測定シミュレータ 4台



頸部リンパ節・甲状腺触診モデル 5台



腹部アセスメントモデル 5台



呼吸音聴診シミュレータ ラングII 4台



心臓病診察シミュレータ イチローIIA 1台



ナーシングアン+ASL5000・専用ベッド一式



CVC 穿刺挿入シミュレータⅡ 3台



動脈採血シミュレータ 3台



装着式上腕筋肉注射シミュレータ 2台



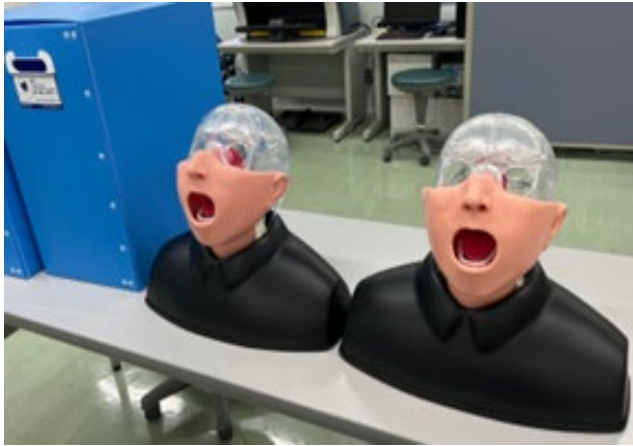
輪状甲状間膜切開モデル 1台



末梢挿入中心静脈カテーテル PICC シミュレータ 3台



皮内注射シミュレータ 2台



鼻腔・咽頭拭い液採取モデル 2台



新生児蘇生モデルアドバンス 1台



フィジカルアセスメントモデル フィジコ 2台



モデル収納ケース AL アルミフレーム製 (2体用) 1台



レサシアンシミュレータ PLUS+SimPad PLUS 1台

●感染症医療人材育成事業 購入 AV 設備



モニター室



OSCE 室 天井カメラ

ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる

医療人材育成事業

(文部科学省 令和3年度第1次補正予算)

「ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材育成事業」への取組み

●「ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材育成事業」とは

～文部科学省 HP より～

【背景・目的】

○背景

今般、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために外出制限等が行われたこと等の影響により、国民の医療機関の受診機会及び検査機会が減少し、健康状態の悪化が懸念されることから、医師によるオンライン診療や薬剤師によるオンライン服薬指導等を適切に普及・促進することが求められています。また、今般の新型コロナウイルス感染拡大下において医療人材養成課程の教育（特に患者を対象とする実習）が変化を余儀なくされたことを踏まえ、今後、再び、新興・再興感染症が流行した場合であっても、実践的で質の高い教育が行えるよう、医師等の養成課程における実習をはじめとした実技科目に新たな教育手法を導入するような見直しが必要となっています。

○目的

オンラインによる遠隔医療など新たな医療に対応できる人材を迅速に輩出することを目指すとともに、臨地での実習時間の通減（代替措置による実施）が恒常的となり、医療人材養成課程における教育の質の低下が懸念される中、CADや3Dプリンタ等を活用したデジタル医療教育用の機器や、臨床実習に際しての能力を高めるシミュレータ、感染対策関連設備等を整備し、従来の実習を通じて学生が修得する能力はもとより、デジタルトランスフォーメーション（DX）等の手法を活用することにより従来の実習では獲得できなかった能力を修得させる教育プランを構築し、即戦力となり得る実践的な知識を身に付けた医療人材養成を行うことを目的としています。

【補助の内容】

医療系学部を有する国公立大学（※）に対し定額を補助します。具体的には以下の通りです。

※医師養成課程を置く学部学科（以下「医学部」という。）、歯科医師養成課程を置く学部学科（以下「歯学部」という。）、臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とする薬剤師養成課程を置く学部学科（以下「薬学部」という。）、文部科学大臣が指定する看護師学校を持つ大学等の養成課程（以下「看護学部」という。）のいずれかを有する大学。

○募集する事業の内容

（メニュー１）医師によるオンライン診療や薬剤師によるオンライン服薬指導に関する教育プログラムを開発し、必修化を行う取組

（メニュー２）ＣＡＤや３Ｄプリンタ等を活用したデジタル医療教育用のＤＸ機器や、臨床実習に際しての能力を高めるシミュレータなどの機器等を整備・活用し、従来の実習を通じて学生が修得する能力はもとより、従来の実習等では獲得できなかった能力を修得させる教育プランを開発・実施する取組（Ａ）、及び、実際の実習を円滑に実施するために、感染症対策機器を整備し、近隣の自治体に所在する大学に在籍する者を含む学生・教職員等に対して定期的な検査等を行い、学修の機会を確保する取組（Ｂ）

○助上限額

補助上限額については、以下のとおり、各メニューや養成課程で教育内容を検討いただく際に必要とされる備品等を考慮し、それぞれ個別の金額を設定しています。

（メニュー１）

- 医学部 １５百万円（上限額）
- 薬学部 １５百万円（上限額）

（メニュー２）

Ａ 実習等に資するシミュレータ等のＤＸ設備整備

- 医学部 ２５百万円（上限額）
- 歯学部 ２０百万円（上限額）
- 薬学部 １０百万円（上限額）

■看護学部 10百万円（上限額）

B 感染症対策関連機器の導入

■学部問わず 200百万円（上限額）

○選定件数

（メニュー1）

■医学部 10件程度

■薬学部 10件程度

（メニュー2）

A 実習等に資するシミュレータ等のDX設備整備

■医学部 35件程度

■歯学部 12件程度

■薬学部 35件程度

■看護学部 130件程度

B 感染症対策関連機器の導入

■学部問わず 4件程度

●本校の取組み

【補助事業の目的・必要性】

COVID-19 感染拡大に伴い、本学でも臨床実習の一部をシミュレータや遠隔型実習で代替せざるをえず、学生による患者の直接診察や患者・家族との医療面接の機会は大幅に減少した。「患者接触」というリアルさの欠如は、学生の自発的な興味に基づく細やかな観察力や臨床での実践的能力の育成の妨げとなる。そこで「和歌山県立医科大学の特色ある医療人育成教育」として、①実際に臨床現場にいらなくても現場感が擬似体験できる VR 教育システムや VR/AR (拡張現実) によるクルズス型講義システム ②臨場感のある双方向遠隔中継システムを考案し、制限された環境下でも、臨床現場同様の状況を再現し、学生達が真摯に学べる教育環境を構築した。これらのシステムは、ポストコロナ時代においても現地で参加が難しい僻地医療教育や、災害時等の特殊環境下での医学・薬学教育にも応用可能である。通常の医療環境では体験できない学びを提供することにより、高度な問題解決能力を有する学生の育成を目指す。

【具大的な事業内容】

- ① VR 臨床実習システムによる医療現場の擬似体験を実施する【メニュー 2 A 医】
- ② VR/AR プラットフォームによる 3D モデルを用いた 3 次元空間での人体解剖学習を実施する【メニュー 2 A 医】
- ③ ZOOM、iPad、ノートパソコンを導入し、遠隔服薬指導のファーストステップとなる基本スキル取得の演習を実施する（1 年次、早期体験学習、社会薬学Ⅰ）【メニュー 1 薬】
- ④ ZOOM、iPad、ノートパソコンを導入し、入院患者持参薬チェックのスキル取得の演習を実施する（1 年次、早期体験学習）【メニュー 1 薬】
- ⑤ 視線追跡装置、ZOOM、iPad、ノートパソコンを導入し、シナリオを用いた入院時初回問診の演習を実施する（2 年次、社会薬学演習Ⅱ）【メニュー 1 薬】
- ⑥ 視線追跡装置、ZOOM、iPad、ノートパソコンを導入し、シナリオを用いた持参薬チェックとアドヒアランスおよびコンプライアンス聞き取り演習を実施する（2 年次、社会薬学演習）【メニュー 1 薬】
- ⑦ 視線追跡装置、ZOOM、iPad、ノートパソコンを導入し、シナリオを用いた遠隔服薬指導演習を実施する（4 年次、事前学習）【メニュー 1 薬】

- ⑧ 壁一面に中継映像を投影し空間がつながったような体験を提供する壁面投影型中継システムを導入し、目の前の患者を意識し、自らの態度、振る舞いを学ぶ、患者－学生が双方向に対話・関りが持てるオンライン臨床体験の実施（薬学部 1 年次）【メニュー 2 A 薬】
- ⑨ 壁面投影型中継システムを導入し、高度なプロフェッショナリズムを養成するための、医療職が連携して行う防災訓練への疑似参加を行う災害医療教育の準備（令和 5 年度薬学部 3 年次で実施予定）【メニュー 2 A 薬】
- ⑩ VR 型体験装置を導入し、自発的学習意欲と観察力醸成のための、調剤、注射薬混合、カンファレンスの疑似体験プログラムの整備と 1 年次への実施と高次学年での展開の準備（薬学部 1～4 年次で実施予定）【メニュー 2 A 薬】
- ⑪ VR 型体験装置を導入し、特殊な環境での問題抽出・解決力醸成のための、避難所運営を疑似体験する災害医療教育の準備（令和 5 年度薬学部 3 年次で実施予定）【メニュー 2 A 薬】

【本年度の補助事業実施計画】

- ① 学生の立ち入りが制限される医療現場に 360 度カメラを設置し診察や処置風景を撮影した動画をサーバーにアップする。学生は、収録動画やリアル配信動画を専用 VR ゴーグルで視聴する。動画コンテンツは、教員のタブレットにてリモート管理が可能で、視聴中の画像に文字などを加えることができる。遠隔会議システムを併用すれば自宅でも双方向講義が可能となる。動画コンテンツは、本学オリジナルの作成以外に、COVID-19 感染患者の診察風景、ECOMO の使用方法、救急室での救命措置等が多数アップされている。【メニュー 2 A 医】
- ② ワークステーションで作成した CT や MRI のポリゴンデータを専用サーバーにアップし、3D 構成された人体構造の教育素材を作成する。学生は教育素材をダウンロードし、スマートフォンを使った簡易 AR ゴーグルや VR ゴーグルで視聴する。本システムでは、仮想空間内で教員・学生がアバターを使い、学外の環境下でもリアルタイムでの双方向教育が可能となる。【メニュー 2 A 医】
- ③ ZOOM、iPad、ノートパソコンを導入し、遠隔服薬指導のファーストステップとなる基本スキル取得の演習を実施する（1 年次、早期体験学習、社会薬学 I）【メニュー 1 薬】
- ④ ZOOM、iPad、ノートパソコンを導入し、入院患者持参薬チェックのスキル取得の演習を実施する（1 年次、早期体験学習）【メニュー 1 薬】
- ⑤ 視線追跡装置、ZOOM、iPad、ノートパソコンを導入し、シナリオを用いた入院時初回問診の演習を実施する（2 年次、社会薬学演習 II）【メニュー 1 薬】

- ⑥ 視線追跡装置、ZOOM、iPad、ノートパソコンを導入し、シナリオを用いた持参薬チェックとアドヒアランスおよびコンプライアンス聞き取り演習を実施する（2年次、社会薬学演習）【メニュー1薬】
- ⑦ 壁面投影型中継システムの選定と導入。中継する医療機関へのシステムの導入を行い実験的接続を経て、1年次学生に対して医療従事者、患者とのヴァーチャルな対面による臨床体験を実施する。【メニュー2A薬】
- ⑧ 医療職が連携して行う防災訓練と連携して、壁面投影型中継システムでオンデマンド体験が可能なコンテンツを作成し、試験的な実施を行う。【メニュー2A薬】
- ⑨ VR型体験システムの選定と導入。コンテンツ作成のため、薬剤師による調剤、注射薬混合、カンファレンスの疑似体験コンテンツの作成と1年次学生への実施。【メニュー2A薬】
- ⑩ VR型体験装置を導入し、特殊な環境での問題抽出・解決力醸成のための、避難所運営を疑似体験するコンテンツの開発と試験的な実施。【メニュー2A薬】

●「ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材育成事業」選定結果

～文部科学省 HP より～

(メニュー1 薬学部)

申請大学：26 大学 選定大学：14 大学

No	国公私	大学名
1	国	富山大学
2	国	金沢大学
3	国	大阪大学
4	国	長崎大学
5	公	名古屋市立大学
6	公	和歌山県立医科大学
7	公	山陽小野田市立山口東京理科大学
8	私	帝京平成大学
9	私	東京理科大学
10	私	北里大学
11	私	名城大学
12	私	大阪医科薬科大学
13	私	就実大学
14	私	安田女子大学

(メニュー 2 A 医)

申請大学:73 大学 選定大学:39 大学

N o	国公私	大学名
1	国	北海道大学
2	国	東北大学
3	国	秋田大学
4	国	山形大学
5	国	筑波大学
6	国	群馬大学
7	国	千葉大学
8	国	東京医科歯科大学
9	国	新潟大学
10	国	岐阜大学
11	国	浜松医科大学
12	国	京都大学
13	国	神戸大学
14	国	鳥取大学
15	国	島根大学
16	国	広島大学
17	国	山口大学
18	国	香川大学
19	国	高知大学
20	国	大分大学
21	国	宮崎大学
22	公	札幌医科大学
23	公	横浜市立大学
24	公	和歌山県立医科大学
25	私	岩手医科大学

N o	国公私	大学名
26	私	国際医療福祉大学
27	私	東京医科大学
28	私	東京慈恵会医科大学
29	私	東京女子医科大学
30	私	東邦大学
31	私	日本医科大学
32	私	北里大学
33	私	慶應義塾大学
34	私	聖マリアンナ医科大学
35	私	昭和大学
36	私	近畿大学
37	私	兵庫医科大学
38	私	川崎医科大学
39	私	産業医科大学

(メニュー2A 薬学部)

申請件数:56 件 選定件数:37 件

N o	国公私	大学名
1	国	北海道大学
2	国	東北大学
3	国	千葉大学
4	国	富山大学
5	国	京都大学
6	国	大阪大学
7	国	広島大学
8	国	徳島大学
9	国	九州大学
10	国	熊本大学
11	公	静岡県立大学
12	公	名古屋市立大学
13	公	和歌山県立医科大学
14	公	山陽小野田市立山口東京理科大学
15	私	北海道医療大学
16	私	北海道科学大学
17	私	東北医科薬科大学
18	私	国際医療福祉大学
19	私	高崎健康福祉大学
20	私	昭和薬科大学
21	私	帝京大学
22	私	東京薬科大学
23	私	東京理科大学
24	私	東邦大学

N o	国公私	大学名
26	私	明治薬科大学
27	私	北里大学
28	私	慶應義塾大学
29	私	昭和大学
30	私	名城大学
31	私	同志社女子大学
32	私	立命館大学
33	私	大阪医科薬科大学
34	私	大阪大谷大学
35	私	神戸薬科大学
36	私	広島国際大学
37	私	長崎国際大学

臨床技能研修センター

和歌山県立医科大学臨床技能研修センター設置及び管理・運営規程

制 定 平成18年11月14日和医大規程第 313 号

最終改正 平成 26 年 3 月 28 日和医大規程第 76 号

(趣旨)

第 1 条 この規程は、和歌山県立医科大学内に設置する臨床技能研修センターの使用に関して、必要な事項を定めるもので、施設・備品の円滑かつ良好な管理・運営を図ることにある。

(設置)

第 2 条 和歌山県立医科大学内に臨床技能研修センターを設置する。

2 臨床技能研修センターには、次の研修室を設置する。

- (1) 基本的手技研修室
- (2) 外科的手技研修室
- (3) B L S ・ A C L S 研修室
- (4) 模擬病室

(目的)

第 3 条 臨床技能研修センターは、和歌山県立医科大学の学生、同附属病院の研修医をはじめとする教職員、さらには地域医療支援のため、地域医療機関等の医療従事者の臨床技能の習得・向上及び安全管理の確立を図ることを目的に設置するものである。

(審議)

第 4 条 臨床技能研修センターの管理・運営に関する重要事項については、教育研究開発センターの臨床技能教育部会で審議する。

(管理者の設置)

第 5 条 臨床技能研修センターの管理・運営及び教育支援を行う管理者をおく。

- 2 管理者は、教育研究開発センター長をもって充てる。
- 3 臨床技能研修センターに関する事務は、教育研究開発センターが所管する。

(管理者の業務)

第 6 条 臨床技能研修センターの管理者の業務は、次のとおりとする。

- (1) 臨床技能研修センターの使用の管理
- (2) 臨床技能研修センターの施設・備品の管理
- (3) 使用者への技術指導
- (4) 使用対象者への広報活動
- (5) 教育研究開発センター臨床技能教育部会への管理・運営報告
- (6) その他、臨床技能研修センターの管理・運営に必要な業務

(使用対象者)

第7条 臨床技能研修センターを使用できる者は、次のとおりとする。

- (1) 和歌山県立医科大学に在籍する学生、大学院生、研究生、研修生、大学院研究生及び博士研究員
- (2) 和歌山県立医科大学及び同附属病院に所属する研修医及び教職員
- (3) 教育研究開発センター、卒後臨床研修センター等、学内組織が主催講習会に参加する者
- (4) 地域医療機関の医療従事者
- (5) その他、管理者が適当と認めた者

(使用内容)

第8条 臨床技能研修センターの使用内容は、次のとおりとする。

- (1) 学生対象の臨床実習準備教育
- (2) 学生対象の臨床実習中の臨床技能教育
- (3) 研修医対象の卒後研修中の臨床技能研修
- (4) 院内・外の医療従事者等対象の臨床技能講習
- (5) 学生、研修医、医師、看護師、救命救急士、市民等対象のBLS・ACLS講習
- (6) 院内の研修医及び教職員対象の安全管理教育
- (7) 第1号から第3号に係る予習・復習等の自己訓練
- (8) その他、管理者が必要と認めた場合

(使用日時)

第9条 臨床技能研修センターを使用できる日は、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める休日、年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）及び本学創立記念日を除く日とする。ただし、管理者が特に必要と認めるときは、この限りではない。

2 臨床技能研修センターを使用できる時間は、原則として午前9時から午後5時までとする。ただし、管理者が特に必要と認めるときは、この限りではない。

(使用申込)

第10条 臨床技能研修センターを使用するときは、使用予定日の1か月前から前日までに、臨床技能研修センター使用承認申請書（別紙様式1又は別紙様式2）を管理者に提出し、承認を得なければならない。

2 使用の承認を受けた者が、承認された使用日時等を変更するときは、事前に管理者の承認を得なければならない。

3 使用の承認を受けた者が、使用を中止しようとするときは、速やかに管理者に届け出なければならない。

(使用承認)

第11条 使用の承認は原則として予約先着順とする。ただし、第8条第1号から第6号までに規定するものについては、優先して使用させることができる。

- 2 予約の重複については、教育研究開発センターにて調整を実施し、管理者が決定を行う。

(使用承認の取り消し等)

第12条 使用の承認を受けた者が、次の各号のいずれかに該当するときは、使用承認を取り消すことがある。

- (1) 使用承認の目的に反したとき。
- (2) 目的以外の使用又は又貸しをしたとき。
- (3) 本規程の取り決めに違反したとき。
- (4) 管理・運営上の支障が生じたとき。

- 2 大学において実習の実施等緊急に必要なが生じたときは、使用承認の取り消し、又は使用の条件変更を行うことがある。

(使用方法)

第13条 臨床技能研修センターの使用にあたって、教育研究開発センターの事務取扱時間内のときは、使用時間直前に、同センター係員に身分証明書を提示し、使用承認の確認を受けたうえで使用すること。

- 2 臨床技能研修センターの使用にあたって、教育研究開発センターの事務取扱時間外のときは、事務取扱時間内に、同センター係員に身分証明書を提示し、使用承認の確認を受けたうえで、鍵（カード）の貸し出しを受け、使用者が解錠すること。
- 3 事務取扱時間外に臨床技能研修センターを使用した者は、使用を終え次第、戸締まりの確認をしたうえで、鍵を閉めて、速やかに鍵（カード）を教育研究開発センターに返却するものとする。

(自己責任)

第14条 臨床技能研修センターの使用にあたっては、実習指導教員の指導のもとに行うよう努めるものとする。

- 2 臨床技能研修センターの備品を使用する者は、事前に使用方法を理解・習熟していなければならない。なお、使用方法については、教育研究開発センターが適宜、講習会、ビデオ、説明書などを用いて研修を実施するものとする。
- 3 臨床技能研修センターの使用者に、万が一事故が生じたときの責任は、使用者本人が負うものとする。

(遵守事項)

第15条 臨床技能研修センターの使用者は、次の事項を遵守するとともに、管理者及び教育研究開発センター係員の指示に従わなければならない。

- (1) 常に良識ある行動をとり、秩序・風紀の維持及び設備・備品の保全に努めること。
- (2) 使用目的以外の用途には使用しないこと。
- (3) 設備・備品を断りなく改変しないこと。
- (4) 設備・備品を断りなく室外に移動しないこと。

- (5) 常に整理整頓に努めること。
- (6) 使用を終了したときは、設備・備品を使用前の状態に戻すこと。
- (7) 使用済みの注射針等の医療系廃棄物は、所定の容器に廃棄すること。
- (8) 設備・備品を損傷、汚損、紛失しないこと。
- (9) ごみは各自持ち帰ること。
- (10) 飲食・喫煙をしないこと。
- (11) 火気を使用しないこと。
- (12) 使用時間を厳守すること。
- (13) 使用を終えたときは、消灯、空調機器の停止、窓の戸締まりを行うこと。
- (14) 金銭等の貴重品は各自が責任をもって管理すること。
- (15) 設備・備品の取扱いは、各自が責任をもって行うこと。

(備品の使用と報告)

第16条 臨床技能研修センターの備品のうち、保管している消耗品等の使用を予定している者は、使用承認申請書にその旨を記載し、承認を得たうえで、教育研究開発センターの事務取扱時間中に同センター係員に申し出て、立ち会いのうえ、借り受けるものとする。また、使用後も同センター係員立ち会いのうえ、消耗品等の使用済数及び残数を確認のうえで、使用済分は破棄し、未使用分を返却するものとする。なお、使用終了が教育研究開発センターの事務取扱時間外のときは、日を改めて、事務取扱時間中に同センター係員に残数の確認を受け、未使用分を返却するものとする。

- 2 備品のうち、注射針等については、原則として教育研究開発センターの事務取扱時間外には、使用することができない。ただし、実習指導教員の指導のもとで使用するときは、この限りではない。

(貸し出し)

第17条 臨床技能研修センター外で備品の使用を希望する者は、事前に教育研究開発センターに申し出て、所定の手続きを行うものとする。ただし、同センター外で備品を使用できるのは、教育研究開発センター、卒後臨床研修センター等、学内組織が主催または共催する講習会等を実施するときに限る。

(費用負担)

第18条 臨床技能研修センターを使用するときは、使用料の費用負担を求めるものとする。ただし、第7条第1号から第3号に掲げる者は除く。

- 2 臨床技能研修センターにおいて使用した消耗品及び施設・備品の使用料は、公立大学法人和歌山県立医科大学諸料金規程（和医大規程第31号平成18年4月1日制定）及び別表によるものとする。

(損傷等の措置)

第19条 臨床技能研修センターの利用者が故意又は重大な過失によって、施設又は設備・備品等を損傷又は紛失したときは、直ちに教育研究開発センターに届け出て、その指示

を受けなければならない。また、これによって生じた損害又はその原状回復に必要な経費を弁償しなければならない。

- 2 臨床技能研修センターの利用者は、利用した備品等に不具合があったときは、直ちに教育研究開発センターに届け出るものとする。

(雑則)

第20条 この規程に定めるもののほか、管理・運営に関して必要な事項は、管理者が別に定めるものとする。

附 則

この規程は、平成18年11月14日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

臨床技能研修センターの利用方法

原則として月曜～金曜（祝日を除く）の午前9時から午後5時にご利用いただけます。
（上記以外でご利用される場合は、教育研究開発センターにご連絡ください。）

<予約方法>

使用予定日の1か月前から前日までに、使用を申請してください。ご使用には管理者の承認が必要です。

※予約方法は主催者が学内者である場合と、学外者である場合とで異なります。

◆ 学内の方

(1)利用予約フォームからオンライン上での申し込みが出来ます。

または、使用承認申請書をダウンロードしていただき、

(2)スキルスラボ事務室へ直接提出

(3)学内便で教育研究開発センターへ提出

(4)FAX で送信

(5)メールに添付いただき送付（mail：cerd@wakayama-med.ac.jp）

◆ 学外の方

学外者の方は使用料金をいただきます。

また、申請内容について、電話にて事前に打ち合わせをさせていただきます。

使用承認申請書をダウンロードしていただき、

申請内容をご記入の上、下記のいずれかの方法で提出ください。

(1)スキルスラボ事務室へ直接提出

(2)郵送

(3)FAX で送信

(4)メールに添付いただき送付（mail：cerd@wakayama-med.ac.jp）

The image shows a screenshot of the '臨床技能研修センター利用予約フォーム' (Clinical Skills Training Center Reservation Form) on the website of Wakayama Medical University. The page has a green header with the university's name and logo. The main content area is white with a green sidebar on the left containing a 'Contents' menu. The form itself is titled '臨床技能研修センター利用予約フォーム' and includes instructions for users. It contains several sections for input: '利用目的' (Purpose of Use) with checkboxes for 'BL&A/CL&L' and '基本科手術研修' (Basic Surgery Training); '使用施設' (Facility) with checkboxes for '1F 手術室' and '2F 手術室'; '使用期間' (Usage Period) with a date range selector from 2000 to 2000; '利用人数' (Number of Users) with a dropdown menu; and '連絡先' (Contact Information) with fields for name and phone number. There are also checkboxes for '承認' (Approval) and 'キャンセル' (Cancellation).

臨床技能研修センターHP 利用予約フォーム画像

臨床技能研修センター使用承認申請書

年 月 日

和歌山県立医科大学臨床技能研修センター管理者
教育研究開発センター長 様

所属部署 または 学年
申請者（使用責任者）氏名
連絡先（電話番号）

以下のとおり、使用の承認を申請いたします。

1. 使用の目的

2. 使用室名 使用を希望する部屋名にチェック☑をして下さい。

☐BLS・ACLS 研修室① ☐BLS・ACLS 研修室②
☐基本的手技研修室 ☐外科的手技研修室 ☐模擬病室

3. 使用物品

4. 期間 年 月 日 時 分 から 年 月 日 時 分まで

5. 利用者数：約 人

利用者の内訳

団体名	学外者	学内者
	人	人
	人	人
	人	人

6. 使用する消耗品

物品名	数量
	個
	個
	個

7. 物品を施設外に持ち出して使用する場合

持ち出し場所	
返却責任者	

臨床技能研修センター使用承認申請書

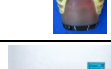
<予約状況の確認>

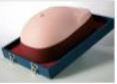
予約日程表（<http://www.wakayama-med.ac.jp/clinical/schedule/index.php>）で予約状況を確認してから申請してください。

申請後2～3日で承認作業を行います。予約が確定したことを予約日程表で確認してください（原則として予約先着順となります）。

臨床技能研修センター 備品一覧

項目	写真	シミュレータ名	メーカー	数量	用途	備考
【COVID-19下でのOSCE教材】						
・全身状態とバイタルサイン		血圧測定シミュレータⅡ	BT(日本ラ イトサービ ス)	7	聴診、触診、聴診+触診の3パターンでの血圧測定	
・頭頸部		頭部リンパ節・甲状腺触診モデル	京都科学	5	・腫大したリンパ節や耳下腺、正常な顎舌腺、疾患を持つ甲状腺を表現 ・触診や視診時に求められるツバを飲み込む嚥下動作の再現	
・胸部		心臓病診療シミュレータ イチローⅡA	京都科学	2	頸動脈の視診/心尖拍動の触診/動脈の触診/心音の聴診 呼吸音・腹部の動き/心電図・心音図・脈波の表示	
・胸部		呼吸音聴診シミュレータ ラングⅡ	京都科学	4	胸部・背部からの呼吸音聴診	
・腹部		腹部アセスメントモデル	京都科学	5	腹部診察(触診/聴診/打診/視診)	
【COVID-19下での臨床実習代替教材】						
＜一般手技＞						
・静脈採血手技・抹消静脈の血管確保		採血・静注シミュレータ シンジョーⅢ	京都科学	5	解剖理解(神経/血管の走行)/真空管採血/血管の触知 静脈内注射/逆血の確認/点滴静脈注射/シリンジ採血	
・中心静脈カテーテル挿入		CVC穿刺挿入シミュレータ・シュミレータⅡ	京都科学	5	鎖骨下静脈/経鎖骨上鎖骨下静脈/内頸静脈でのCVC穿刺挿入	
・中心静脈カテーテル挿入		末梢挿入中心静脈カテーテル PICCシミュレータ	京都科学	3	手技時のポジショニング/穿刺部位の選定/超音波ガイド下での穿刺 ガイドワイヤー・ダイレーターの挿入 シース・イントロデューサーの挿入/カテーテル挿入	
・動脈血採血		動脈採血シミュレータ	京都科学	3	橈骨動脈の穿刺・動脈採血/動脈ラインの留置	
・注射(皮内)		皮内注射シミュレータ	京都科学	3	皮内注射	
・注射(筋肉)		装着式上腕筋肉注射シミュレータ	京都科学	3	上腕筋肉注射実習/触診(三角筋/肩峰突起の感触による部位の確認)	
＜検査手技＞						
・12誘導心電図		フィジカルアセスメントモデル フィジコ	京都科学	5	問診/瞳孔反射:4症例/血圧測定/心音聴診:17症例 脈診(頸動脈/橈骨動脈)/呼吸音聴診:8症例/腸音聴診:5症例 心電図の字修:10症例	
＜救急処置＞						
・二次救命処置		レサシアンシミュレータPLUS+SimPad PLUS	レールダル	1	声門気道デバイスを使用した気道管理/自発呼吸/血圧の聴診 現場での除細動と同期されたECG/IV挿入/脈拍のモニタリング 呼吸音聴診/心音聴診	

【呼吸ケアソリューション】					
・人工呼吸器対応		ナーシングアン+ASL5000	レールダル	1	人工呼吸器管理 / 自発呼吸トライアル / 気管カニューレ吸引、交換 各種聴診(呼吸音、心音、血圧、腹部音/導尿/中心静脈カテーテル管理 薬剤投与管理 / 胃管挿入、胃ろう管理 / 瞳孔観察 / 人工肛門管理
【感染症対策教材】					
・PCR検査		鼻腔・咽頭拭い液採取モデル	京都科学	5	鼻腔・咽頭への挿入・検体採取の技術習得(PCR検査など)
・輪状甲状間膜切開		輪状甲状間膜切開モデル	京都科学	1	輪状甲状靱帯の穿孔・切開
・手技		小児の手背静脈穿刺シミュレーター	京都科学	1	小児の手背部静脈内持続点滴における固定法(乳児・幼児)
・手技		採血静注シミュレーター“シンジョー”(1セットに腕2本)	京都科学	6	静脈採血手技 / 静脈内点滴手技 / 静脈内注射手技
・手技		点滴静注シミュレーター “Vライン”	京都科学	3	静脈留置針を使用した末梢静脈路確保手技 / 前腕正中皮静脈、手背静脈(背側中手静脈)の2か所の部位から行うことができる
◎硬膜外麻酔 ◎腰椎麻酔		腰椎穿刺シミュレーター	京都科学	1	腰椎・硬膜外穿刺 / 腰椎穿刺(髄液採取・髄圧測定)
胸部		胸腔ドレナージ・胸腔穿刺シミュレーター	京都科学	1	胸腔ドレナージのトレーニング / 胸腔穿刺のトレーニング
ダヴィンチトレーナー(dV-Trainer)		ダヴィンチトレーナー(dV-Trainer)		1	内視鏡手術支援ロボット“da Vinci”(ダヴィンチ)のトレーニング用シミュレーター
腹部		消化器内視鏡シミュレーター“アキュタッチ”		1	3D 画像での上部・下部内視鏡のシミュレーションでのトレーニング
手洗い		手洗いチェッカー“グリッター・バグ”	京都科学	4	専用のクリームで正しく手洗いができているかをチェックできる
エコー		エコー		1	エコー手技
超音波診断		超音波診断ファントムー上腹部病変付モデル“ABDFAN”		1	上腹部にエコー値の異なる病変を表現した超音波診断モデル / 臓器内病変の腹部スクリーニング
胸部		胸部診察トレーニングシステム“イチロー & Lung”	京都科学	1	胸部診察 / 心音・肺音聴取
頭頸部		眼底診察シミュレーター	京都科学	5	正常眼底・単純型糖尿病網膜症・急性乳頭浮腫・網膜静脈・分枝閉塞症の新鮮例・トキシプラズマ網脈絡膜炎・高血圧性眼・慢性乳頭浮腫・緑内障性視神経萎縮・網膜静脈分枝閉塞症の網膜光凝固後陳旧例・加齢黄斑変性の網膜下出血
頭頸部		耳の診察シミュレーター	京都科学	5	症例一覧・正常鼓膜・正常鼓膜(外耳道が太い)・中耳炎(漿液性)・中耳炎(粘性)・中耳炎(急性化膿性)・真珠腫・鼓室硬化症・外傷性鼓膜穿孔・耳垢閉塞
腹部		直腸診シミュレーター	京都科学	4	正常×1、がん(大)×1、がん(小)×1、ポリープ×1(有茎・無茎ポリープ)、男性 指診用前立腺×1 個(正常)、女性 指診用子宮頸部×1 個(正常)
導尿・浣腸		男性導尿・浣腸シミュレーター	京都科学	4	導尿・浣腸

導尿・浣腸		女性導尿・浣腸シミュレーター	京都科学	1	導尿・浣腸	
腹部		前立腺触診シミュレーター	京都科学	5	症例ユニット：正常、肥大症、前立腺炎、局所的がん、全体的がん	
胸部		乳癌検診モデル	京都科学	4	症例：えくぼ症候を伴う癌、皮膚陥凹を伴う癌、線維腺腫、乳腺症	
腹部		婦人科診察トレーナー	高研	4	基礎的な婦人科診察の実技指導が可能なモデル ① 正常子宮② 妊娠初期子宮③ 子宮筋腫Ⅰ(筋層内)④ 子宮筋腫Ⅱ(嚢下)⑤ 卵巣嚢腫Ⅰ(ピンポン玉大)⑥ 卵巣嚢腫Ⅱ(テニスボール大)⑦ 卵管嚢水腫⑧ エアーポンプ	
腹部		産科シミュレーター“ソフィー”	日本ライトサービス	1	正常分娩、骨盤位分娩、肩甲難産等のシミュレーション	
救急		レサシアン(半身タイプ)	レールダル	17	人工呼吸・胸骨圧迫・AEDの使用	
救急		レサシアン(全身タイプ)	レールダル	1	人工呼吸・胸骨圧迫・AEDの使用	
救急		ベビーアン	レールダル	30	乳児の人工呼吸・胸骨圧迫・AEDの使用・異物除去	
救急		Ambu BABY	レールダル	1	乳児の人工呼吸・胸骨圧迫・AEDの使用・異物除去	
救急		バックバルブマスク(成人用)	レールダル	34	BLS練習	
看護		看護シミュレーター“ナーシングアン”	レールダル	5	患者ケアトレーニングが可能です。(産後ケア・呼吸管理・輸液管理・栄養管理・排泄管理・創傷ケア・術後管理・乳房触診等)	
看護		万能型成人実習モデル さくらⅡ “SAKURA”	京都科学	1	経鼻胃カテーテル挿入・胃ろうケア・導尿・排便・清拭部分浴・中心静脈栄養ケア・直腸与薬・皮下・筋肉注射	
救急		人工呼吸器		1		
救急		新生児蘇生装置(レサシフロー)		1		
救急		生体情報モニタ		1	救急ケアシミュレーター、SimMan3G、ナーシングアン、SimNewBに使用可能	
救急		CPS実習ユニット		1	病室のベッドサイドを模した移動式パネル	
救急		輸液ポンプ		4		
救急		シリンジポンプ		1		
救急		大型吸引器		2		
救急		救急カート		3		

救急		SimMan3G	レールダル	1	シナリオ作成可能。挿管・BLS可。	
救急		レサシアン シミュレータ SimPad版	レールダル	3	トレーニング内容:人工呼吸・胸骨圧迫・AEDの使用方法、気道管理、血圧測定、心音・肺音の聴診など	
救急		除細動器	日本光電	4		
救急		除細動器(ペースング機能なし)	日本光電	1		
救急		レサシアン with QCPR	レールダル	9	トレーニング内容:人工呼吸・胸骨圧迫・AEDの使用方法	
救急		リトルジュニア	レールダル	7	トレーニング内容:人工呼吸・胸骨圧迫・AEDの使用方法	
救急		チョーキングチャーリー	レールダル	5	誤嚥時対応練習/ハイムリッヒ法、突き上げ法	
救急		AEDトレーナー(レールダル)	レールダル	27		
救急		AEDトレーナー(メドトロニック)	メドトロニック	5		
救急		AEDトレーナー(日本光電)	日本光電	5		
救急		バックバルブマスク(小児用)	レールダル	10		
救急		バックバルブマスク(新生児用)	レールダル	3		
救急		挿管セット(成人)		5	挿管セット 成人.JPGG喉頭鏡 ハンドル、喉頭鏡 ブレード、挿管チューブ、スタイレット、バイトブロック、カフ用シリンジ、マギール鉗子、救急用はさみ、止血鉗子、固定テープ	
救急		挿管セット(新生児)		2	挿管セット 小児.JPGG喉頭鏡 ハンドル、喉頭鏡 ブレード、挿管チューブ、スタイレット、バイトブロック、カフ用シリンジ、マギール鉗子、救急用はさみ、止血鉗子、固定テープ	
救急		ビデオ喉頭鏡		1	専用ブレード付きビデオ喉頭鏡	
救急		気道管理トレーナー	レールダル	2	気管挿管	
救急		DAMシミュレーター	レールダル	1	気管挿管	
救急		エアウェイトトレーニングシステム	日本ライトサービス	2	気管挿管	
救急		新生児気道管理トレーナー	レールダル	4	新生児の気管挿管	
救急		新生児挿管モデル	高研	1	新生児の気管挿管	

救急		Neonatal Resuscitation Baby	レールダル	3	新生児蘇生トレーニング用マネキンです。臍動脈カテーテルと臍静脈カテーテル挿入の練習ができます。気管、食道、胃を備えており、気管内挿管、吸引が可能です。胃チューブの挿入・拔去ができます。	
救急		New Born Anne	レールダル	1	マニュアル操作で臍帯拍動の再現が可能です。臍帯は交換可能で、臍帯動脈/臍帯静脈へのアクセス、および薬剤投与が可能です。解剖学的に正確な気道構造を持ち、挿管、各種エアウェイの使用、片肺換気、バグバルブマスク換気、セリック法、吸引、胃チューブの挿入など、様々な気道管理トレーニングに対応します。胸腔穿刺のトレーニングが行えます。両足で骨髄穿刺トレーニングが行えます。	
救急		バイタルサインベビーⅡ	京都科学	1		
救急		吸引シミュレーター“Qちゃん”	京都科学	2	吸引器を用いての吸引の手法練習が可能です。付属の模擬痰を使用	
救急		吸引モデルⅡ型	京都科学	2	看護・介護分野での鼻腔内、口腔内、気管切開部の吸引カテーテル挿入と吸引の手法ができます。食道まで経鼻胃チューブを挿入する手法の演習が行えます。顔面部を正中で2つに分割することができ、実際の吸引カテーテル及び経鼻胃チューブの挿入状態が確認できる構造になっています。また鼻腔、口腔、頸部の解剖学的な面も学ぶことができるモデルです。	
救急		携帯用小型吸引器		2	吸引シミュレーターQちゃん、ナースングアンなどに使用可能	
救急		口腔ケアモデル“セイクツくん”	京都科学	5	口腔内清潔手技	
救急		血圧測定シミュレーター	日本ライトサービス	3	血圧測定の練習ができます。触診法／聴診法／触診法→聴診法の3パターン設定できます。(旧タイプ)	
救急		ポケットマスク(成人用)	レールダル	20		
救急		ポケットマスク(小児用)	レールダル	40		
診察		浮腫触診モデル	京都科学	1	正常な状態と圧痕の深さによる4段階の症状を再現	

数	物品名	数	物品名
10	長テーブル（キャン	5	診察台
28	長テーブル（キャン	4	ベッド
55	キャスター付き丸机	15	衝立
40	キャスター無し丸机	3	床頭台
5	ホワイトボード	9	ストレッチャー
4	プロジェクター	8	点滴用支柱台
1	プロジェクター投影	5	点滴棒
3	スクリーン	7	車椅子
2	マイク＆スピーカー	40	B L S 訓練用マット
8	テレビモニター	3	ワゴン
15	折畳診察台（器材庫	5	折畳式ワゴン

使用開始日時	使用終了日時	使用団体名	使用目的	使用物品	使用者数・内訳		合計	使用者職種	使用室・使用場所名										備考
					学内	学外			4部屋 (外・基・ 模・BLS)	3部屋 (外・基・ 模)	外科の手 技研修室	基本の手 技研修室	模擬病室	BLS室	病棟	学内	学外(持ち 出し)		
4月1日(木) 9:00	5月14日(金)16:00	ICU	練習	Vライン②	5		5	看護師							1				
4月2日(金) 15:00	4月2日(金)16:30	産婦人科	ポリクリ	ソフィー	6		6	学生			1								
4月2日(金) 17:00	4月2日(金)20:00	教育研究開発センター	卒業生・在校生ディスカッション	なし	20		20	学生		1									
4月5日(月) 9:00	4月5日(月)17:00	卒研	研修医感染管理オリエンテーション	シンジョー-5、PC、プロジェクター・スクリーン、スピーカー	65		65	医師	1										
4月6日(火) 13:00	4月6日(火)15:30	消化器内科	練習	内視鏡シュミレーターアキュタツチ	4		4	医師			1								
4月7日(水) 15:00	4月7日(水)16:30	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	6		6	医師			1								
4月8日(木) 13:00	4月8日(木)13:30	卒研	練習	Vライン	2		2	医師			1								
4月8日(木) 0:00	4月9日(金)0:00	地域医療支援センター	研修医BLS	リトルアンQCPR12、ベビーアン12、リトルジュニア12、AED12、BLSマット12、BVM(成人・小児)12、ポケットマスク(小児)12、HDMI分配器、AEDパッド、電池、手袋、アル綿	20		20	医師	1										
4月10日(土) 7:00	4月10日(土)19:00	和歌山医大JMECC	JMECC講習会	レサシアン(半身タイプ)4、バッグバルブマスク(成人用)7、救急カード2、レサシアン シミュレータ SimPad版2、除細動器2、AEDトレーナー(レールダル)4、ハートシム(人形&ノートパソコン)1、気道管理トレーナー1、エアウェイトレーニングシステム1、長テーブル(キャスター無)8、長テーブル(キャスター有)5、キャスター付き丸椅子18、ホワイトボード4、プロジェクター1、スクリーン1、テレビモニター1、診察台1、ストレッチャー1、点滴用支柱台1、点滴棒1、BLS訓練用マット6、ワゴン1、聴診器2、排管セット(成人)2、ストップウォッチ2、メトロノーム2	12		12	医師	1										
4月12日(月) 9:00	5月21日(金)12:00	CCU	練習	レサシアンSimPad③、モニター	15		15	看護師							1				
4月12日(月) 13:00	4月12日(月)18:00	看護キャリア開発センター	講習会	プロジェクター・スクリーン、マイク&スピーカー	10		10	看護師		1									
4月13日(火) 13:00	4月13日(火)16:00	消化器内科	練習	内視鏡シュミレーターアキュタツチ	4		4	医師			1								
4月15日(木) 9:00	4月16日(金)16:30	琴の浦リハセンター	新人研修	ナーシングアン	5		5	看護師								1	琴の浦リハセンター		
4月20日(火) 9:00	4月22日(木)16:30	10東	練習	レサシアンSimPad②	5		5	看護師						1					
4月20日(火) 18:30	4月20日(火)20:00	卒研	練習	C Vシュミレータ	5		5	医師			1								
4月23日(金) 15:30	4月23日(金)16:30	卒研	練習	内視鏡シュミレーターアキュタツチ	3		3	医師			1								
4月16日(金) 8:45	4月27日(火)17:30	看護キャリア開発センター	新人看護職員看護技術研修	採血静注シュミレータ(4)点滴用支柱台(8)長テーブルキャスター付き(8)	90		90	看護師		1									
4月28日(水) 12:00	4月28日(水)13:00	卒研	練習	内視鏡シュミレーターアキュタツチ	1		1	医師			1								
4月28日(水) 10:00	4月30日(金)19:30	第二内科	練習	内視鏡シュミレーターアキュタツチ	1		1	医師			1								
4月30日(金) 15:20	4月30日(金)16:30	第二内科	練習	内視鏡シュミレーターアキュタツチ	1		1	医師			1								
5月6日(木) 12:00	5月6日(木)18:00	保健看護部	研修	なし	10		10	看護学生		1									
5月7日(金) 0:00	5月7日(金)20:00	卒後臨床研修センター	令和2年度研修医BLS	リトルアンQCPR10、ベビーアン10、リトルジュニア10、AED10、BLSマット10、BVM(成人・小児)10、ポケットマスク(小児)10、HDMI分配器、AEDパッド、電池、手袋、アル綿	10		10	医師	1										
5月7日(金) 18:00	5月9日(日)21:00	卒後臨床研修センター	練習	C Vシュミレータ・C Vカテーテル	4		4	医師			1								
5月6日(木) 13:00	5月18日(火)13:00	助産学専攻科	内診技術練習	プロンプト	13		13	看護学生							1				
5月7日(金) 13:00	5月7日(金)15:00	卒後臨床研修センター	練習	内視鏡シュミレーターアキュタツチ	3		3	医師			1								
5月8日(土) 15:00	5月8日(土)17:00	卒後臨床研修センター	練習	内視鏡シュミレーターアキュタツチ	1		1	医師			1								
5月13日(木) 10:00	5月27日(木)13:00	8東	練習	Vライン②	6		6	看護師						1		</			

7月7日(水) 14:00	7月7日(水)19:30	看護部	看護技術習得支援	"尿道カテーテル：ナースングアン（4体：男2 女2） 男性 導入・洗腸シミュレーター1台 ストレッチャー4台（アンの勝 腕に水を入れる）吸引：吸引シミュレーター「Qちゃん」1台 吸引モデルII型1台 気管カニューレ 吸引器2台 筋肉注射：上腕筋肉シミュレーター1台 模擬筋肉針捨て容器2 個（黄色）気管内挿管：DAMシミュレーター1台 エアウェイ トレーニングシステム1台 気管内挿管セット2BVM、聴診器2 本ワゴン6台	15		15	看護師		1								
7月8日(木) 17:00	7月8日(木)19:30	看護キャリア開発センター	研修	なし	10		10	看護師		1								
7月9日(金) 14:00	7月9日(金)15:00	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	6		6	学生		1								
7月9日(金) 15:00	7月9日(金)16:30	産婦人科	ポリクリ	ソフィー	6		6	学生		1								
7月9日(金) 18:30	7月9日(金)20:00	卒後臨床研修センター	練習	CVシミュレータ、CVカテーテル	3		3	医師		1								
7月10日(土) 7:00	7月10日(土)18:00	和医大JMECC	JMECC講習会	レサシアン(半身タイプ)4、バッグバルブマスク(成人用)7、救急 カート2、レサシアン シミュレータ SimPad版2、除細動器2、 AEDトレーナー(レールダル)4、気道管理トレーナー2、長テ ープル(キャスト無)8、長テープル(キャスト有)5、キャスト 付き丸椅子18、ホワイトボード2、プロジェクター1、スクリー ン1、テレビモニター1、診察台1、ストレッチャー1、点滴用支 柱台1、点滴棒1、BLS訓練用マット6、ワゴン1、聴診器2、挿管 セット(成人)2、ストップウォッチ2、メトロノーム2	12		12	看護師		1								
7月12日(月) 9:00	7月13日(火)16:30	6東	練習	Vライン②	2		2	看護師							1			
7月12日(月) 15:00	7月12日(月)16:00	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	6		6	学生		1								
7月13日(火) 17:00	7月13日(火)19:30	看護キャリア開発センター	研修	なし	10		10	看護師		1								
7月15日(木) 14:00	7月6日(火)19:30	看護部	看護技術習得支援	吸引：吸引シミュレーター「Qちゃん」1台 吸引モデルII型1台 気管カニューレ 吸引器2台 筋肉注射：上腕筋肉シミュレーター1台 模擬筋肉針捨て容器2 個（黄色）気管内挿管：DAMシミュレーター1台 エアウェイ トレーニングシステム1台 気管内挿管セット2BVM、聴診器2 本ワゴン6台	15		15	看護師		1								
7月15日(木) 16:00	7月15日(木)17:00	皮膚科	治療	ベビーアン	1		1	医師						1				
7月16日(金) 17:00	7月16日(金)21:00	卒後臨床研修センター	練習	内視鏡シミュレーターアキュタッチ	1		1	医師		1								
7月19日(月) 15:00	7月21日(水)15:00	皮膚科	治療	ベビーアン	1		1	医師		1								
7月20日(火) 15:00	7月20日(火)17:00	HCU	練習	レサシアン、AED	5		5	看護師				1						
7月21日(水) 9:00	8月10日(火)16:30	ICU	練習	挿管セット、エアウェイトレーニングシステム	5		5	看護師						1				
7月28日(水) 9:00	8月2日(月)16:30	9東	練習	レサシアン、AED、BVM	5		5	看護師						1				
7月31日(土) 8:00	7月31日(土)19:00	看護キャリア開発センター	特定行為OSCE	ベッド、シミュレータ、疼痛モデル	5	9	14	看護師		1								
8月1日(日) 12:00	8月1日(日)21:00	卒後臨床研修センター	練習	エコー、CVシミュレータ、CVカテーテル	6		6	医師		1								
8月3日(火) 9:00	9月2日(木)16:30	CCU	練習	レサシアンSimPad③、挿管セット、SimPad用PCモニター	10		20	看護師						1				
8月6日(金) 12:00	8月7日(土)20:00	経理課	研修	スクリーン、プロジェクター、ホワイトボード	20		20	職員		1								
8月10日(火) 13:30	8月24日(火)13:30	11西	試験	シンジョー	10		10	看護師						1				
8月10日(火) 8:45	8月10日(火)17:30	看護キャリア開発センター	看護技術習得支援	支柱台 5	80		80	看護師		1	1							
8月12日(木) 16:00	8月12日(木)19:30	看護部	シュミレーション学習会	【共通】 SimMan3G1体(PC) ベッド1台 流量計2 ベッドサイドモ ニター1 支柱台2 床頭台1 ホワイトボード3 ワゴン3 机3 椅子8 CPS実習ユニット1 輸液ポンプ1 【出棟】 支柱棒1 ジャクソンリリースバッグ1 BVM1 救急カート1 尿 器1	10		10	看護師		1								
8月13日(金) 16:00	8月13日(金)19:00	看護部	看護技術習得支援	"ナースングアン 2体(膀胱付け替え) 男性導尿・洗腸シミュ レーター 1台DAMシミュレーター 1台、挿管セット(成 人) 1、バックバルブマスク(成人) 2、レサシアンSim Pad版 1体、レサシアン(半身) 1体、ベッド1台、足台 1"	12		12	看護師		1								
8月16日(月) 16:00	8月16日(月)19:30	看護部	シュミレーション学習会	SimMan3G1体(PC) ベッド1台 流量計2 ベッドサイドモ ニター1 支柱台2 床頭台1 ホワイトボード3 ワゴン3 机3 椅子8 CPS実習ユニット1 輸液ポンプ1	10		10	看護師		1								
8月17日(火) 8:45	8月17日(火)19:30	看護キャリア開発センター	看護技術習得支援	支柱台 5	80		80	看護師		1	1							
8月19日(木) 16:00	8月19日(木)19:00	看護部	看護技術習得支援	DAMシミュレーター 1台 気管内挿管セット 1バックバルブ マスク 1車椅子 2台 支柱台 2本 ベッド 2台	10		10	看護師		1								
8月30日(月) 12:00	9月1日(水)16:30	9東	練習	レサシアン、AED、BVM	5		5	看護師						1				

9月3日(金) 17:00	9月5日(日)17:00	救急集中治療医学講座	ACLS研修	レサシアンSimPad①②③、ハートシム、足台2、除細動器2、 レサシアン5、マット5、プロジェクター・スクリーン	20		20	医師	1									
9月6日(月) 14:00	9月6日(月)15:00	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	5		5	学生			1							
9月7日(火) 14:00	9月7日(火)16:30	循環器内科	ポリクリ	イチロー2	6		6	学生				1						
9月7日(火) 16:00	9月7日(火)19:30	看護部	シュミレーション学習会	SimMan3G1体(PC) ベッド1台 流量計2 ベッドサイドモ ニター1 支柱台2 床頭台1 ホワイトボード3 ワゴン3 机3 椅子8 CPS実習ユニット1 輸液ポンプ1 【出棟】 支柱棒1 ジャクソンリリースバッグ1 BVM1 救急カート1 尿 器1	10		10	看護師		1								
9月10日(金) 15:00	9月10日(金)16:30	産婦人科	ポリクリ	ソファイ	6		6	学生			1							
9月10日(金) 16:00	9月10日(金)19:00	感染制御部	研修	マイク・スピーカー、スクリーン	30		30	医師		1								
9月13日(月) 13:00	9月13日(月)15:00	卒後臨床研修センター	内視鏡練習	内視鏡	7		7	医師			1							
9月13日(月) 13:00	9月15日(水)16:30	ICU	練習	C Vシュミレータ	5		5	医師							1			
9月13日(月) 16:00	9月13日(月)19:00	感染制御部	清掃研修	マイク・スピーカー、スクリーン	30		30	医師		1								
9月13日(月) 14:30	10月22日(金)14:30	10東	BLS練習	レサシアンQCPR、BVM、AED	10		10	看護師						1				
9月14日(火) 14:00	9月14日(火)16:30	循環器内科	ポリクリ	イチロー	6		6	学生			1							
9月14日(火) 16:00	9月14日(火)19:30	看護部	シュミレーション学習会	【共通】 SimMan3G1体(PC) ベッド1台 流量計2 ベッド サイドモニター1 支柱台2 床頭台1 ホワイトボード3 ワゴ ン3 机3 椅子8 CPS実習ユニット1 輸液ポンプ1 【挿管】 D AMシュミレーター1 気道管理トレーナー1 気管内挿管セッ ト3 BVM3 ジャクソンリリースバッグ1 救急カート1	10		10	看護師		1								
9月15日(水) 9:00	9月15日(水)17:00	教育研究開発センター	物品納品	フィジコ2、イチロー1、ラング4、ナースिंगアン1、レサ シアンSimPad1、ライブエンコーダ1	5		5	職員		1								
9月15日(水) 12:00	9月16日(木)12:00	10西	練習	レサシアンSimPad②、専用モニター、BVM、気道管理トレー ナー、挿管セット、救急カート	6		6	看護師						1				
9月16日(木) 9:00	9月16日(木)11:00	産婦人科	練習	ダヴィンチ	2		2	医師			1							
9月16日(木) 9:00	10月29日(金)16:30	7東	練習	エアウェイトレーニングシステム、挿管セット。BVM	5		5	看護師						1				
9月16日(木) 15:30	9月16日(木)19:00	看護部	技術習得支援	車椅子2台(支柱棒装着可能なもの) ベッド2台 支柱台2本 支柱棒2本	10		10	看護師		1								
9月17日(金) 15:00	9月17日(金)17:00	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	5		5	学生			1							
9月18日(土) 7:00	9月18日(土)18:00	和医大JMECC	JMECC講習会	レサシアン(半身タイプ)7、バッグバルブマスク(成人用)14、救 急カート3、レサシアン シミュレータ SimPad版3、除細動器2、 AEDトレーナー(レールダル)7、ハートシム(人形&ノートパソコ ン)1、気道管理トレーナー2、長テーブル(キャスター無)8、長 テーブル(キャスター有)6、キャスター付き丸椅子24、ホワイト ボード4、プロジェクター1、スクリーン1、テレビモニター2、 診察台2、ストレッチャー2、点滴用支柱台2、点滴棒2、BLS訓 練用マット12、ワゴン2、聴診器4、挿管セット(成人)4、ストッ プウォッチ4、メトロノーム2	24		24	医師	1									
9月21日(火) 9:00	9月30日(木)16:30	HCU	練習	C Vシュミレータ	5		5	看護師						1				
9月21日(火) 14:00	9月21日(火)16:30	循環器内科	ポリクリ	イチロー	6		6	学生				1						
9月21日(火) 16:00	9月21日(火)19:30	看護部	シュミレーション学習会	【共通】 SimMan3G1体(PC) ベッド1台 流量計2 ベッド サイドモニター1 支柱台2 床頭台1 ホワイトボード3 ワゴ ン3 机3 椅子8 CPS実習ユニット1 輸液ポンプ1 【挿管】 D AMシュミレーター1 気道管理トレーナー1 気管内挿管セッ ト3 BVM3 ジャクソンリリースバッグ1 救急カート1	10		10	看護師		1								
9月23日(木) 12:00	9月23日(木)19:00	卒後臨床研修センター	練習	エコー	5		5	医師			1							
9月22日(水) 8:45	9月24日(金)20:00	卒後臨床研修センター	BLS	リトルアンQCPR12、AED12、BVM(成人・小児)12、小 児ポケットマスク12、リトルジュニア12、BLSマット12、ベ ビアン12、プロジェクター4、スクリーン3、HDMI分配 器、RGBケーブル、ゴージョー、アル綿、手袋	15	15	30	医師	1									
9月27日(月) 10:00	9月27日(月)12:30	産婦人科	練習	ダヴィンチ	1		1	医師			1							
9月27日(月) 11:00	10月4日(月)16:30	10西	練習	Vライン①	5		5	看護師						1				
9月27日(月) 14:00	9月27日(月)15:00	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	6		6	学生			1							
9月27日(月) 16:00	9月27日(月)19:30	看護部	看護技術習得支援	"DAMシュミレーター1台 エアウェイトレーニングシステム1台 気管内挿管セット2 BVM2 聴診器2"	10		10	看護師		1								
9月28日(火) 10:00	9月28日(火)12:00	産婦人科	3年生講義	ソファイ	110		110	学生								1		
9月28日(火) 14:00	9月28日(火)16:30	循環器内科	ポリクリ	イチロー	5		5	学生						1				

9月28日(火) 13:00	10月1日(金)19:00	看護部	フィジカルアセスメントⅠ研修	レサシアンシミュレーターSimPad版 3体ナースングアン (パ イタルシム) 2体 SimMan3G 1体 ベッド・ストレッ チャー 計6台スクリーン 3プロジェクター 2マイク 1ワゴ ン 6ホワイトボード 6血圧計 6	80		80	看護師	1									
9月29日(水) 18:00	9月29日(水)19:00	10西	練習	レサシアンSimPad①、レサシアン専用モニター、挿管セット	5		5	看護師	1									
9月30日(木) 11:00	10月15日(金)16:30	11東	練習	Vライン②	3		3	看護師							1			
10月4日(月) 12:00	10月18日(月)16:00	9西	練習	Vライン③	5		5	看護師							1			
10月4日(月) 9:00	10月29日(金)16:30	CCU	練習	レサシアンSinPad③、モニター、挿管セット	6		6	看護師							1			
10月5日(火) 9:00	10月12日(火)16:30	7西	練習	Vライン④	5		5	看護師							1			
10月5日(火) 14:00	10月5日(火)16:30	循環器内科	ポリクリ	イチロー	6		6	学生			1							
10月5日(火) 16:00	10月5日(火)19:30	看護部	シュミレーション学習会	【共通】 SimMan3G1体 (PC) ベッド1台 流量計2 ベッド サイドモニター1 支柱台2 床頭台1 ホワイトボード3 ワゴ ン3 机3 椅子8 CPS実習ユニット1 輸液ポンプ1 【挿管】 D AMシミュレーター1 気道管理トレーナー1 気管内挿管セッ ト3 BVM3 ジャクソンリースバッグ1 救急カート1	10		10	看護部	1									
10月6日(水) 8:45	10月7日(木)20:00	卒後臨床研修センター	BLS研修	リトルアンQCPR12、AED12、BVM(成人・小児)12、小 児ポケットマスク12、リトルジュニア12、BLSマット12、ベ ビーアン12、プロジェクター4、スクリーン3、HDMI分配 器、RGBケーブル、ゴーグル、アル綿、手袋	15	15	30	医師	1									
10月8日(金) 14:00	10月8日(金)15:00	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	6		6	学生			1							
10月11日(月) 10:00	10月11日(月)16:30	循環器内科	ポリクリ	イチロー	6		6	学生			1							
10月11日(月) 14:00	10月11日(月)15:00	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	6		6	学生			1							
10月13日(水) 9:00	10月29日(金)16:30	12東	練習	Vライン④	5		5	看護師							1			
10月14日(木) 16:00	10月14日(木)19:30	看護部	シュミレーション学習会	【共通】 SimMan3G1体 (PC) ベッド1台 流量計2 ベッド サイドモニター1 支柱台2 床頭台1 ホワイトボード3 ワゴ ン3 机3 椅子8 CPS実習ユニット1 輸液ポンプ1 【挿管】 D AMシミュレーター1 気道管理トレーナー1 気管内挿管セッ ト3 BVM3 ジャクソンリースバッグ1 救急カート1	10		10	看護師	1									
10月15日(金) 16:00	10月15日(金)18:00	HCU	練習	レサシアンSimPad①	6		6	看護師							1			
10月15日(金) 17:30	10月15日(金)18:30	10西	練習	レサシアンSimPad①、挿管セット、生体モニター	6		6	看護師			1							
10月16日(土) 10:30	10月16日(土)17:00	救急集中治療医学講座	AHA-BLS-HCPコース	レサシアンQCPR4、リトルジュニア4、ベビーアン4、BVM成 人8、BVM小児8、ポケットマスク8、AED・タオル8、AED パッド、BLSマットレス8、ワゴン2、PC1、スクリーン・プ ロジェクター3、HDMI分配器、HDMIケーブル、マイク・ス ピーカー、アルコール消毒、電池、机、椅子	10	10	20	医師	1									
10月18日(月) 9:00	10月29日(金)16:30	7東	練習	Vライン②	5		5	看護師							1			
10月18日(月) 10:00	10月18日(月)12:00	循環器内科	ポリクリ	イチロー	6		6	学生			1							
10月19日(火) 9:00	10月21日(木)16:30	NICU	練習	Vライン③	5		5	看護師							1			
10月19日(火) 10:00	10月29日(金)16:30	8東	練習	Vライン⑤	5		5	看護師							1			
10月19日(火) 16:00	10月19日(火)19:30	看護部	シュミレーション学習会	" 【共通】 SimMan3G1体 (PC) ベッド1台 流量計2 ベッドサイドモ ニター1 支柱台2 床頭台1 ホワイトボード3 ワゴン3 机3 椅子8 CPS実習ユニット1 輸液ポンプ1 【出棟】 支柱棒1 ジャクソンリースバッグ1 BVM1 救急カート1 尿 器1 【挿管】 DAMシミュレーター1 気道管理トレーナー1 気管内挿管 セット3 BVM3 ジャクソンリースバッグ1 救急カート1 "	10		10	看護師							1			
10月20日(水) 13:00	10月20日(水)16:30	ICU	練習	C Vシュミレータ	5		5	医師			1							
10月20日(水) 13:45	10月20日(水)14:30	卒後臨床研修センター	練習	内視鏡	1		1	医師			1							
10月21日(木) 9:00	11月5日(金)16:30	6西	練習	ソフィー	10		10	看護師							1			

10月21日(木) 10:00	10月21日(木)18:00	看護部	看護部継続教育フィジカルアセスメントⅡ	レサシアンシミュレーターSimPad3 3体、ベッド3、除細動器3、生体情報モニター1、cps実習ユニット1、救急カート3、大型吸引機2、長テールキャスター有5、キャスター付き丸椅子20、ホワイトボード5+ホワイトマーカー3種類、衛立4、床頭台3、支柱台3、ワゴン3、血圧計3、聴診器6、酸素3、SPO2モニター3、心電図1	30	30	看護師	1											
10月22日(金) 9:00	11月4日(木)16:30	CCU	練習	Vライン④	10	10	看護師								1				
10月22日(金) 14:00	10月22日(金)15:00	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	5	5	学生			1									
10月22日(金) 15:00	10月22日(金)16:30	産婦人科	ポリクリ	ソフィー	6	6	学生			1									
10月25日(月) 9:00	20021/11/1 16:30	6東	練習	Vライン③	8	8	看護師									1			
10月25日(月) 10:00	10月25日(月)12:00	循環器内科	ポリクリ	イチロー	6	6	学生				1								
10月25日(月) 14:00	10月25日(月)15:00	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	6	6	学生			1									
10月27日(水) 10:00	10月28日(木)18:00	看護部	BLS研修	リトルアンQCPR10、ベビーアン10、リトルジュニア10、AED10、BLSマット10、BVM(成人・小児)10、ポケットマスク(小児)10、HDMI分配器、AEDパッド、電池、手袋、アル綿	24	24	看護師	1											
10月28日(木) 18:00	10月28日(木)19:00	10西	練習	レサシアンSimPad①、モニター、排管セット	6	6	看護師				1								
10月29日(金) 11:30	10月29日(金)12:30	卒後臨床研修センター	練習	内視鏡シミュレーター	1	1	医師			1									
10月30日(土) 7:00	10月30日(土)18:00	和医大JMECC	JMECC講習会	レサシアン(半身タイプ)7、バグバルブマスク(成人用)14、救急カート3、レサシアンシミュレーター SimPad版3、除細動器2、AEDトレーナー(レールダル)7、ハートシム(人形&ノートパソコン)1、気道管理トレーナー2、長テール(キャスター無)8、長テール(キャスター有)6、キャスター付き丸椅子24、ホワイトボード4、プロジェクター1、スクリーン1、テレビモニター2、診察台2、ストレッチャー2、点滴用支柱台2、点滴棒2、BLS訓練用マット12、ワゴン2、聴診器4、排管セット(成人)4、ストップウォッチ4、メトロノーム2	24	24	医師	1											
11月1日(月) 16:00	11月1日(月)19:00	看護部	研修	"DAMシミュレーター1台 気管内排管セット2 BVM2 聴診器2"	5	5	看護師				1	1							
11月1日(月) 9:00	11月15日(月)16:30	9東	練習	Vライン②	5	5	看護師									1			
11月1日(月) 9:00	11月15日(月)16:30	9東	練習	Vライン①	5	5	看護師									1			
11月1日(月) 9:00	11月19日(金)15:00	10東	練習	気道管理トレーナー、排管セット、気管チューブ7・7.5	6	6	看護師									1			
11月2日(火) 9:00	11月10日(木)16:30	CCU	練習	レサシアンSimPad③、モニター、排管セット	6	6	看護師									1			
11月2日(火) 10:00	11月4日(木)18:30	看護部	BLS研修	リトルアンQCPR10、ベビーアン10、リトルジュニア10、AED10、BLSマット10、BVM(成人・小児)10、ポケットマスク(小児)10、HDMI分配器、AEDパッド、電池、手袋、アル綿	10	10	看護師	1											
11月5日(金) 13:00	11月5日(金)14:00	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	6	6	学生			1									
11月5日(金) 15:00	11月5日(金)16:30	産婦人科	ポリクリ	ソフィー	6	6	学生			1									
11月5日(金) 16:00	11月5日(金)19:30	看護部	看護キャリア実習プログラム シナリオシミュレーション②第2巻	SimMan3G1体(PC) ベッド1台 流量計2 ベッドサイドモニター1 支柱台2 床頭台1 ホワイトボード3 ワゴン3 机 キャスター有3 椅子8 CPS実習ユニット1 輸液ポンプ1 聴診器2 気管内排管セット1 BVM1 ジャクソンリリースバッグ1 救急カート1	10	10	看護師	1											
11月8日(月) 9:00	11月15日(月)16:30	ICU	練習	Vライン③	5	5	看護師									1			
11月8日(月) 14:00	11月8日(月)15:00	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	6	6	学生			1									
11月8日(月) 15:00	11月8日(月)18:00	総務課	BLS研修	レサシアンQCPR9、レサシアン、AED10、日本光電AED5、BVM10、BLSマット10、マイク・スピーカー、プロジェクター・スクリーン	15	15	職員	1											
11月8日(月) 9:00	11月8日(月)12:00	循環器内科	ポリクリ	イチロー	6	6	学生				1								
11月9日(火) 14:00	11月9日(火)17:00	総務課	BLS研修	レサシアンQCPR9、レサシアン、AED10、日本光電AED5、BVM10、BLSマット10、マイク・スピーカー、プロジェクター・スクリーン	15	15	職員	1											
11月10日(水) 8:45	11月11日(木)20:00	卒後臨床研修センター	BLS研修	リトルアンQCPR12、AED12、BVM(成人・小児)12、小児ポケットマスク12、リトルジュニア12、BLSマット12、ベビーアン12、プロジェクター4、スクリーン3、HDMI分配器、RGBケーブル、ゴージョー、アル綿、手袋	15	15	30	医師	1										
11月12日(金) 14:00	11月12日(金)17:00	総務課	BLS研修	レサシアンQCPR9、レサシアン、AED10、日本光電AED5、BVM10、BLSマット10、マイク・スピーカー、プロジェクター・スクリーン	15	15	職員		1										

11月12日(金) 17:00	11月16日(火)17:00	麻酔科・医療安全推進部	指導教材作成	吸引モデルII型、DAMシミュレーター、エアウェイトレーニングシステム 1セット、バックバルブマスク(成人用) 1セット、排管セット(成人) 1セット、救急カート 1台	5	5	医師							1		
11月12日(金) 17:00	11月13日(土)19:00	救急集中治療医学講座	ACLS研修	レサシアンSimPad 3、ハートシム、レサシアン5、マット5、プロジェクター・スクリーン、足台2、除細動器2	2	2	医師	1								
11月14日(日) 17:00	11月14日(日)23:00	卒後臨床研修センター	練習	内視鏡	1	1	医師		1							
11月15日(月) 9:00	11月30日(火)16:30	8東	練習	Vライン④、レサシアン、BVM、AED	5	5	看護師							1		
11月15日(月) 10:00	11月15日(月)18:00	看護部	フィジカルアセスメントⅡ	レサシアンシミュレーターSimPad 3 体、ベッド3、除細動器3、生体情報モニター1、cps実習ユニット1、救急カート3、大型吸引機2、長テーブルキャスター有5、キャスター付き丸椅子20、ホワイトボード5+ホワイトマーカー3種類、衛立4、床頭台3、支柱台3、ワゴン3、血圧計3、聴診器6、酸素3、SPO2モニター3、心電図1	30	30	看護師		1							
11月17日(水) 12:00	11月18日(木)18:00	看護部	フィジカルアセスメントⅢ	SimMan3G1体(PC) ベッド1台 中央配管酸素 流量計2 生体情報モニター1 人工呼吸器1 除細動器1 排管セット1(成人) 心電図1 吸引機1 支柱台2 床頭台1 ホワイトボード3 ワゴン3 輸液ポンプ1 ジャクソンリリースバッグ1 BVM1 救急カート1 尿器1 PC1台 長テーブル(キャスター有) キャスター付き丸椅子10 テレビモニター1台	20	20	看護師	1								
11月17日(水) 8:45	11月18日(木)18:00	看護キャリア開発センター	看護部継続教育フィジカルアセスメントⅢ		30	30	看護師	1								
11月17日(水) 13:00	11月17日(水)16:00	皮膚科	治療	ベビーアーン	1	1	医師							1		
11月17日(水) 9:00	11月30日(火)16:30	10東	練習	レサシアンQ CPR、BVM、AED	10	10	看護師							1		
11月17日(水) 9:00	11月19日(金)12:00	CCU	練習	レサシアンSimPad②、排管セット、モニター	10	10	看護師							1		
11月19日(金) 9:00	11月22日(月)16:30	患者支援センター	患者説明	乳房検診モデル	3	3	看護師							1		
11月19日(金) 14:00	11月19日(金)15:00	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	6	6	学生		1							
11月19日(金) 15:00	11月19日(金)16:30	産婦人科	ポリクリ	ソフィー	6	6	学生		1							
11月19日(金) 17:00	11月20日(土)18:00	麻酔科	研修	動脈穿刺シミュレーター3、Vライン4、スクリーン、SimMan、気道管理トレーナー、DAMシミュレータ、エアウェイトレーニングシステム2、サーフロー-20G、22G、針捨てBOX	27	27	医師	1								
2021/11/21 /7:00	11月21日(日)19:00	和医大JMECC	JMECC講習会	レサシアン(半身タイプ)4、バッグバルブマスク(成人用)7、救急カート2、レサシアンシミュレータ SimPad版2、除細動器2、AEDトレーナー(レールダル)4、ハートシム(人形&ノートパソコン)1、気道管理トレーナー1、エアウェイトレーニングシステム1、長テーブル(キャスター無)8、長テーブル(キャスター有)5、キャスター付き丸椅子18、ホワイトボード4、プロジェクター1、スクリーン1、テレビモニター1、診察台1、ストレッチャー1、点滴用支柱台1、点滴棒1、BLS訓練用マット6、ワゴン1、聴診器2、排管セット(成人)2、ストップウォッチ2、メトロノーム2	12	12	医師	1								
11月22日(月) 9:00	11月26日(金)12:00	CCU	練習	レサシアンSimPad②、排管セット、モニター	6	6	看護師							1		
11月22日(月) 9:00	12月6日(月)15:30	9西	練習	Vライン②	6	6	看護師							1		
11月22日(月) 9:00	12月20日(月)12:00	ICU	練習	Vライン③	6	6	看護師							1		
11月22日(月) 9:00	11月26日(金)13:00	6東	練習	レサシアン、救急カート	5	5	看護師							1		
11月22日(月) 14:00	11月22日(月)15:00	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	6	6	学生		1							
11月22日(月) 17:00	11月22日(月)18:00	10西	練習	レサシアンSimPad①、モニター、排管セット	6	6	看護師			1						
11月23日(火) 12:00	11月23日(火)18:00	NICU	新生児蘇生講習会	新生児蘇生人形、新生児気道管理トレーナー、大型・小型吸引器、レサシフロー、新生児蘇生モデルアドバンス、スクリーン、プロジェクター	10	10	医師		1							
11月24日(水) 11:00	12月21日(火)11:00	10東	練習	気道管理トレーナー、排管セット	5	5	看護師							1		
11月24日(水) 9:00	12月1日(水)16:00	5西	練習	Vライン①	6	6	看護師							1		
11月24日(水) 9:00	12月1日(水)16:30	8西	練習	男女導尿シミュレータ	6	6	看護師							1		
11月24日(水) 10:00	12月13日(月)16:30	HCU	練習	除細動器、モニター、レサシアンSimPad③	5	5	看護師							1		
11月24日(水) 10:00	2021/11/25 18:30	看護部	BLS研修	リトランQ CPR10、ベビーアーン10、リトルジュニア10、BVM10、AED10、ボケマ10、BLSマット10、アル綿、手袋、プロジェクター、スクリーン、ゴージョー、電池・パッド	15	15	看護師	1								
11月25日(木) 9:00	11月29日(月)16:30	7東	練習	レサシアン①、BVM	10	10	看護師							1		
11月26日(金) 15:00	1月17日(日)16:00	6西	練習	ソフィー	20	20	看護師							1		
11月26日(金) 16:00	11月26日(金)19:00	看護部	研修	【気管内排管の介助】DAMシミュレーター1台気管内排管セット2 BVM2 聴診器2【心臓マッサージ】レサシアンSimPad版3体ベッド3台BVM3AED3救急カート3台足台3	10	10	看護師		1							

11月27日(土) 12:00	11月27日(土)18:00	循環器内科	研修	なし	10		10	医師	1									
11月29日(月) 14:00	11月29日(月)15:00	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	6		6	学生			1							
11月29日(月) 16:00	12月3日(金)18:00	看護キャリア開発センター	看護師特定行為研修	打鍵器 7音又 7ペンライト 7聴診器 7パット 7舌圧子 3 5、 フィジコ、イチロー、ラング	5	6	11	看護師		1								
12月1日(水) 9:00	12月20日(月)16:30	CCU	練習	レサシアンSimPad②	10		10	看護師							1			
12月1日(水) 14:00	12月14日(火)14:00	10東	静脈注射技術試験	Vライン②	6		6	看護師							1			
12月3日(金) 15:00	12月3日(金)16:30	産婦人科	ポリクリ	ソフィー	6		6	学生			1							
12月3日(金) 16:00	12月3日(金)21:00	第一外科	wet labo	なし	7	2	9	医師			1							
12月4日(土) 9:00	12月4日(土)11:30	卒後臨床研修センター	練習	エコー	4		4	医師				1						
12月4日(土) 12:00	12月4日(土)18:00	NICU	新生児蘇生講習会	新生児蘇生人形、新生児気道管理トレーナー、大型・小型吸引器、レサシフロー、新生児蘇生モデルアドバンス、スクリーン、プロジェクター	10		10	医師		1								
12月6日(月) 9:00	12月13日(月)16:30	8西	練習	エアウェイトトレーニングシステム、挿管セット。BVM、レサシアン	10		10	看護師							1			
12月6日(月) 12:00	12月17日(金)18:00	4年生	臨床実習入門	イチロー3、ラング5、フィジコ3、乳房検診モデル4、男性導尿シュミレーター4、女性骨盤モデル4、前立腺触診モデル4、直腸診モデル4、目の診察モデル4、耳の診察モデル4、腹部診察モデル4、シンジョー6、手術の手洗い台、頭部触診モデル4、	107		107	学生	1									
12月19日(日) 12:00	12月19日(日)18:00	NICU	新生児蘇生講習会	新生児蘇生人形、新生児気道管理トレーナー、大型・小型吸引器、レサシフロー、新生児蘇生モデルアドバンス、スクリーン、プロジェクター	6		6	看護師		1								
12月20日(月) 10:00	12月20日(月)12:00	循環器内科	ポリクリ	イチロー	6		6	学生				1						
12月20日(月) 14:00	12月20日(月)15:00	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	6		6	学生			1							
12月20日(月) 16:30	12月20日(月)19:30	看護部	看護部キャリア支援プログラム シナリオシミュレーション①出棟	“SimMan3G1体 (PC) ベッド1台 流量計2 ベッドサイドモニター1 支柱台2 床頭台1 ホワイトボード3 ワゴン3 机3 椅子8 CPS実習ユニット1 輸液ポンプ1 【出棟】 支柱棒1 ジャクソンリースバッグ1 BVM1 救急カート1 尿器1	10		10	看護師		1								
12月21日(火) 9:00	12月24日(金)16:30	10西	練習	レサシアンSimPad①、挿管セット、P Cモニター、生体モニター、除細動器	6		6	看護師			1							
12月21日(火) 13:00	12月21日(火)16:00	総務課	BLS研修	レサシアンQCPR9、レサシアン、AED1 0、日本光電AED5、BVM10,BLSマット1 0、マイク・スピーカー、プロジェクター・スクリーン	15		15	職員		1								
12月21日(火) 16:00	12月21日(火)19:30	看護部	看護部キャリア支援プログラム シナリオシミュレーション②挿管	“SimMan3G1体 (PC) ベッド1台 流量計2 ベッドサイドモニター1 支柱台2 床頭台1 ホワイトボード3 ワゴン3 机3 椅子8 CPS実習ユニット1 輸液ポンプ1 聴診器 2 D A Mシミュレーター1 気道管理トレーナー1 気管内挿管セット1 BVM3 ジャクソンリースバッグ1 救急カート1	10		10	看護師		1								
12月22日(水) 10:00	12月23日(木)18:30	看護部	BLS研修	リトルアンQCPR10、ベビーアン10、リトルジュニア10、BVM成人・小児10、AED10、ポケットマスク10、BLSマット10、アルコール綿、手袋、プロジェクター・スクリーン、ゴージョー、電池、パッド	15		15	看護師	1									
12月24日(金) 7:00	12月14日(火)18:30	卒後臨床研修センター	BLS研修	リトルアンQCPR10、ベビーアン10、リトルジュニア10、BVM成人・小児10、AED10、ポケットマスク10、BLSマット10、アルコール綿、手袋、プロジェクター・スクリーン、ゴージョー、電池、パッド	15		15	医師	1									
12月24日(金) 19:00	12月26日(日)18:00	4年生	OSCE前自習	イチロー3、ラング5、フィジコ3、乳房検診モデル4、男性導尿シュミレーター4、女性骨盤モデル4、前立腺触診モデル4、直腸診モデル4、目の診察モデル4、耳の診察モデル4、腹部診察モデル4、シンジョー6、手術の手洗い台、頭部触診モデル4、	107		107	学生	1									
12月27日(月) 10:00	12月27日(月)12:00	循環器内科	ポリクリ	イチロー	6		6	学生				1						
1月4日(火) 9:00	1月11日(火)18:00	4年生	Pre CC OSCE 練習	イチロー3、ラング5、フィジコ3、乳房検診モデル4、男性導尿シュミレーター4、女性骨盤モデル4、前立腺触診モデル4、直腸診モデル4、目の診察モデル4、耳の診察モデル4、腹部診察モデル4、シンジョー6、手術の手洗い台、頭部触診モデル4、	107		107	学生	1									
1月11日(火) 16:30	1月11日(火)19:30	看護キャリア開発センター	研修	D A Mシミュレーター 1台 気管内挿管セット 1バックバルブマスク3 救急カート1	10		10	看護師		1								

1月12日(水) 7:00	1月13日(木)18:00	教育研究開発センター	Pre CC OSCE	机	120		120	学生	1									
1月14日(金) 9:00	1月14日(金)11:30	内科学第2講座	内視鏡実習	上部消化管内視鏡	7		7	医師		1								
1月14日(金) 17:00	1月16日(日)17:00	救急集中治療医学講座	ACLS研修	レサシアンSimPad①②③、ハートシム、足台2、除細動器2、 レサシアン5、BLSマット5、プロジェクター・スクリーン	10		10	医師	1									
1月17日(月) 16:30	1月27日(木)16:30	5東	看護実践教育	さくら、車いす1	10		10	看護師							1			
1月22日(土) 9:00	1月23日(日)20:00	救急集中治療医学講座	PEMEC	レッツノート2、ホワイトボード6	18	18	36	医師	1									
1月24日(月) 9:00	2月7日(月)16:30	リハビリテーション部	練習	吸引モデルII型2	20		20	看護師							1			
1月24日(月) 11:00	1月31日(月)16:30	9西	練習	レサシアン、BVM、AED、エアウェイトレーニングシステム、 挿管セット	10		10	看護師							1			
1月26日(水) 17:00	1月26日(水)20:00	卒後臨床研修センター	練習	C Vシュミレータ	3		3	医師		1								
1月26日(水) 9:00	2月24日(木)16:30	8東	練習	Vライン②	10		10	看護師							1			
1月28日(金) 13:30	1月31日(月)14:00	12東	練習	レサシアンSimPad①、挿管セット	10		10	看護師							1			
1月28日(金) 9:00	1月28日(金)11:30	内科学第二講座	内視鏡実習	上部消化管内視鏡	7		7	医師		1								
2月5日(土) 8:00	2月6日(日)20:00	救急集中治療医学講座	ACLS研修	レサシアンSimPad2、リトルアンQCPR、AED3、BVM2、除 細動器、BLSマット6、プロジェクター1、スクリーン1、支 柱台1、モニター2、HDMIケーブル3、ホワイトボード3、タ ブレット、レッツノート1	15		15	医師	1									
2月7日(月) 13:20	2月14日(月)13:20	7東	研修	Vライン③	4		4	看護師							1			
2月8日(火) 9:00	2月8日(火)17:00	NICU	研修動画撮影	さくら、車いす1	5		5	看護師							1			
2月8日(火) 9:00	2月8日(火)16:00	医事課	動画撮影	なし	5	2	7	職員		1								
2月9日(水) 9:00	2月9日(水)21:00	医事課	動画撮影	なし	5	3	8	職員		1								
2月10日(木) 19:30	2月13日(日)21:00	学生課	推薦入試	なし	10		10	職員	1									
2月14日(月) 21:00	2月24日(木)0:00	7東	練習	レサシアン、BVM、挿管セット	10		10	看護師							1			
2月14日(月) 14:00	2月24日(木)14:00	11西	練習	シンジュー①	4		4	看護師							1			
2月14日(月) 14:00	2月28日(月)14:00	10東	試験	Vライン④	4		4	看護師							1			
2月14日(月) 15:00	3月15日(火)15:00	5東	教育	Vライン⑤	5		5	看護師							1			
2月14日(月) 14:00	2月14日(月)15:00	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	6		6	医師		1								
2月14日(月) 17:30	2月14日(月)19:00	10西	練習	レサシアンSimPad②、除細動器、生体モニター、挿管セット、 救急カート	5		5	看護師			1							
2月14日(月) 9:00	3月10日(木)15:00	6西	練習	ソフィー	10		10	看護師							1			
2月14日(月) 9:00	3月1日(火)15:00	12西	研修	Vライン①、レサシアン、BVM、AED	6		6	看護師							1			
2月15日(火) 9:00	2月15日(火)21:00	医事課	動画撮影	なし	5	3	8	職員		1								
2月18日(金) 9:00	2月18日(金)11:00	第二内科	内視鏡シュミレーター使用	内視鏡シュミレーター	4		4	医師										
2月18日(金) 11:00	2月25日(金)16:30	7西	練習	Vライン	5		5	看護師		1					1			
2月21日(月) 10:00	2月21日(月)12:00	循環器内科	ポリクリ	イチロー	6		6	学生			1							
2月22日(火) 13:00	2月18日(金)15:00	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	6		6	学生		1								
2月22日(火) 17:30	2月22日(火)19:00	10西	練習	レサシアンSimPad①、除細動器、生体モニター、挿管セット、 救急カート	7		7	看護師			1							
2月24日(木) 9:00	2月26日(土)22:00	学生課	一般入試		6		6	職員	1									
2月25日(金) 9:00	2月28日(月)9:00	NICU	静脈注射技術試験	Vライン②	3		3	看護師							1			
2月28日(月) 9:00	3月7日(月)16:30	中央手術部	練習	Vライン②	6		6	看護師							1			
2月28日(月) 14:00	2月28日(月)15:00	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	6		6	医師		1								
2月28日(月) 16:00	2月28日(月)17:00	循環器内科	ラゴ見学	なし	1	3	4	医師		1								
3月1日(火)13:00	2022/3/1 15:00	消化器内科	内視鏡シュミレーター使用	内視鏡	4		4	医師		1								
3月2日(水)9:00	2022/3/7 17:00	救急集中治療医学講座	ALS教育	レサシアンSimPad①、レッツノート	5	5	10	医師									1	和歌山県消防学校
3月2日(水) 9:00	3月4日(金)15:30	CCU	練習	レサシアンSimPad③、挿管セット、モニター	5		5	看護師							1			
3月2日(水) 13:00	3月2日(水)14:00	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	5		5	学生		1								
3月2日(水) 14:00	3月2日(水)16:00	循内	ポリクリ	イチロー	6		6	学生			1							
3月3日(木) 15:00	3月3日(木)16:00	循内	ポリクリ	イチロー	6		6	学生			1							
3月4日(金) 9:00	3月5日(土)22:00	学生課	追試		5		5	職員	1									
3月7日(月) 9:00	3月14日(月)16:00	6東	練習	Vライン①	3		3	看護師							1			
3月7日(月) 12:00	3月9日(水)16:30	HCU	練習	レサシアンSimPad③、モニター、除細動	5		5	看護師							1			
3月7日(月) 9:00	3月11日(金)16:30	10西	練習	シンジュー①	5		5	看護師							1			
3月7日(月)17:30	3月7日(月)19:30	卒後臨床研修センター	練習	C Vシュミレータ	2		2	医師		1								
3月10日(木) 12:00	3月11日(金)16:30	12東	練習	SimPad③	7		7	看護師							1			
3月10日(木) 15:00	3月11日(金)16:00	循内	ポリクリ	イチロー	6		6	学生			1							
3月11日(金) 14:00	3月11日(金)16:00	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	6		6	学生		1								
3月12日(土) 8:00	3月12日(土)20:00	救急集中治療医学講座	エクモ講習会	モニター3、ホワイトボード1、人工呼吸器1、ベッド2、レサ シアン3	10	5	15	医師	1									
3月14日(月) 9:00	3月18日(金)16:30	ICU	練習	Vライン③	5		5	看護師							1			
3月15日(火) 13:00	3月15日(火)15:00	消化器内科	内視鏡シュミレーター使用	内視鏡	4		4	医師		1								

3月16日(水) 10:00	3月31日(木)16:30	9東	練習	Vライン①	5		5	看護師							1			
3月16日(水) 9:00	3月31日(木)16:30	5西	練習	気道管理トレーナー、挿管セット	6		6	看護師							1			
3月19日(土) 12:00	3月19日(土)18:00	循環器内科	セミナー		2	30	32	医師	1									
3月22日(火) 8:00	3月23日(水)18:00	医療安全推進部	講習会	HDMIケーブル2、HDMI分配器	10		10	医師								1		
3月22日(火) 9:00	3月23日(水)16:30	HCU	練習	シンジヨー①	2		2	看護師							1			
3月23日(水) 15:00	3月23日(水)16:00	泌尿器科	ポリクリ	ダヴィンチ	6		6	学生			1							
3月24日(木) 15:00	3月24日(木)16:00	循環器内科	ポリクリ	イチロー	6		6	学生				1						
3月24日(木) 16:00	3月31日(木)16:30	9西	練習	吸引モデルII型	3		3	看護師							1			
3月25日(金) 9:00	3月25日(金)17:00	医事課	臓器移植デモ	レサシアンSimPad③、ベッド、モニター、輸液ポンプ、支柱台、人工呼吸器、ホワイトボード2、椅子20、机12、挿管セット・チューブ、聴診器、マイク・スピーカー、ピンマイク	30		30	職員	1									
3月25日(金) 14:00	3月29日(火)16:30	患者支援センター	練習	シンジヨー①	1		1	看護師							1			
3月26日(土) 12:00	3月26日(土)18:00	循環器内科	セミナー	プロジェクター・スクリーン	2	30	32	医師	1									
3月29日(火) 10:00	4月1日(金)16:30	中央手術部	練習	Vライン②	5		5	看護師							1			
3月29日(火) 13:00	3月29日(火)15:00	消化器内科	ポリクリ	上部内視鏡	4		4	医師			1							
3月30日(水) 9:00	3月31日(木)16:30	12西	練習	AED,レサシアン、除細動器	5		5	看護師							1			
				合計	3144	212	3356		42	54	71	25	3	3	86	7	3	

ホームページについて

教育研究開発センターでは下記のホームページの運営、管理を行っています。

- 教育研究開発センターホームページ
- 臨床技能研修センターホームページ

教育研究開発センター ホームページ

- 教育研究開発センタートップページ
 - ◆ 教育研究開発センター概要
 - ◆ 教育研究開発センター規程
 - ◆ 組織図
 - ◆ 運営委員会委員
 - ◆ 運営委員会規程
 - ◆ 部会・委員会
 - ◆ 教育評価部会
 - ◆ 入試制度検討部会
 - ◆ カリキュラム専門部会
 - ◆ 臨床技能教育部会
 - ◆ FD 部会
 - ◆ 和歌山 SP の会
 - ◆ 自己評価委員会
 - ◆ 活動報告
 - ◆ 規程
 - ◆ 自己評価書
 - ◆ その他の事項
 - ◆ 掲示板
 - ◆ 投書箱
 - ◆ リンク



臨床技能研修センター ホームページ

- 臨床技能研修センタートップページ
 - ◆ 臨床技能研修センターの紹介
 - ◆ アクセス
 - ◆ 施設案内
 - ◆ 設置及び管理・運営規程
 - ◆ シミュレーター教育の取組
 - ◆ 利用状況
 - ◆ シミュレーター教育についてのページ
 - ◆ シミュレーター教育の内容
 - ◆ シミュレーター一覧表
 - ◆ 臨床手技の解説
 - ◆ 臨床技能研修センターの利用予約
 - ◆ 利用予約日程表
 - ◆ 利用予約フォーム
 - ◆ 臨床手技の解説
 - ◆ わりんぎの活動



令和 5 年 3 月 発行

和歌山県立医科大学 教育研究開発センター

〒641-8509

和歌山市紀三井寺 811 番地 1

電 話 : 073-441-0813(0815)

F A X : 073-441-0814

ホームページ <http://www.wakayama-med.ac.jp/med/develop/index.html>

e - m a i l cerd@wakayama-med.ac.jp



Center for **E**ducational **R**esearch and **D**evelopment